

## 第1章

# 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査



# I 調査の概要

## 1 調査目的

本調査は、高齢者の方々の生活状況や健康状態などの傾向を把握し、今後区が取り組むべき高齢者施策の検討に活用するための基礎資料とする目的として、厚生労働省の調査手法に基づき実施しました。

## 2 調査実施概要

調査対象	65歳以上の高齢者（要介護1以上の認定を受けている方を除く）
対象者数	2,500人（無作為により抽出）
調査方法	郵送配付・郵送回収
調査期間	令和6（2024）年7月3日（水）～8月5日（月）

## 3 回収結果

配付数	回収数	有効回答数
2,500人	1,645人 （回答率 65.8%）	1,645人 （回答率 65.8%）

## 4 報告書の内容に関する留意点

- 回答項目の比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。端数調整はしていないため、合計が100.0%にならない場合があります。また、複数回答については、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中の「回答者数=1,645人」及び(1,645)は、集計対象者数を示しています。質問によっては、該当する条件の人のみが回答しているため、1,645人より少ない集計対象者数となり、条件によって集計対象者数は異なります。
- 複数回答は、高い割合の項目がわかりやすいようにすべて割合の高い回答から記載しています。ただし、「その他」や「わからない」など、具体的な内容を含まない選択肢は下に記載しています。
- 図表の記載にあたっては、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化して掲載している場合があります。簡略化していない選択肢は、第3章 調査票をご参照ください。
- 本報告書は厚生労働省が示す介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引きに基づき作成しており、「運動器について」「転倒について」「閉じこもりについて」「低栄養状態について」「口腔機能について」「認知機能について」「うつ傾向について」の7つのリスクに該当する回答者の割合を算出し、認定状況別・日常生活圏域別に分析しています。

## Ⅱ 調査結果

### 1 調査対象者本人について

#### (1) 回答者

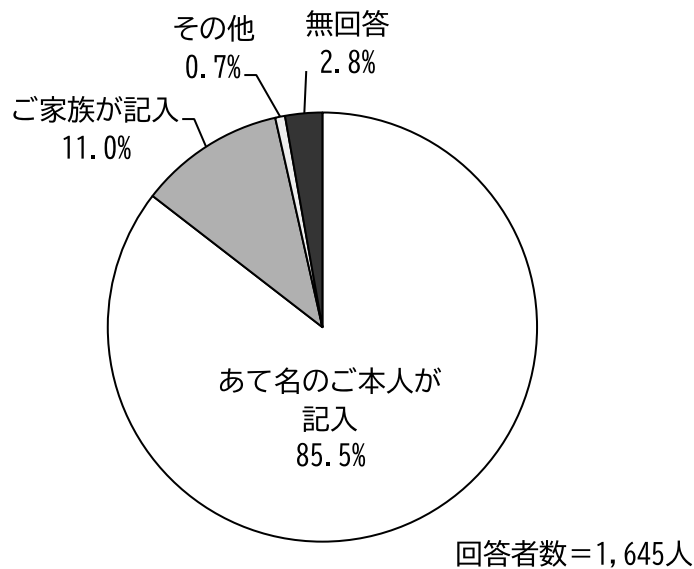
調査票を記入されたのはどなたですか（1つを選択）

回答者は、全体では「あて名のご本人が記入」85.5%、「ご家族が記入」11.0%、「その他」0.7%となっています。

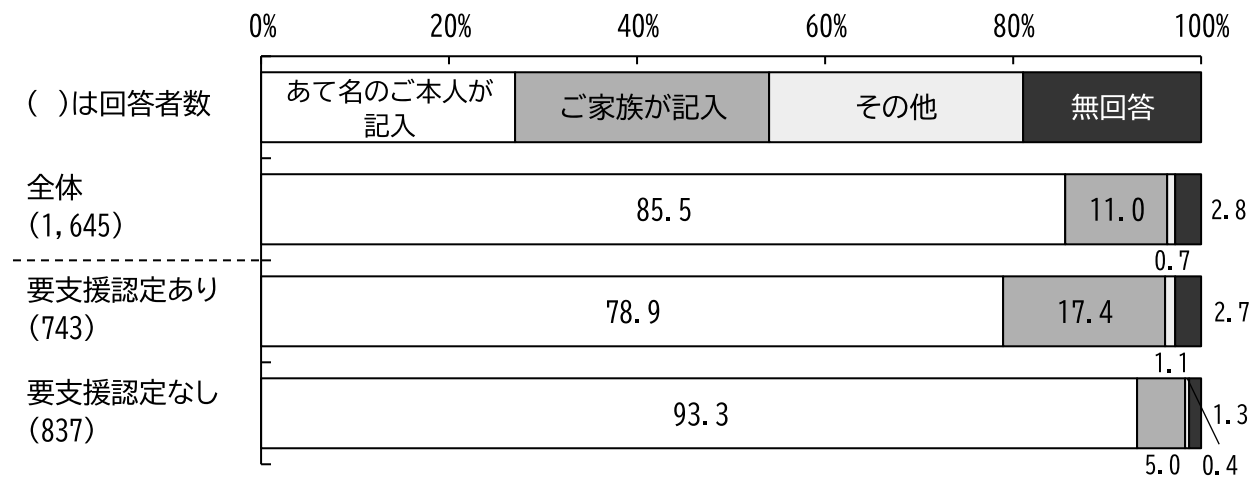
要支援認定あり(7 ページ)では、「あて名のご本人が記入」78.9%、「ご家族が記入」17.4%となっています。

要支援認定なしでは、「あて名のご本人が記入」93.3%、「ご家族が記入」5.0%となっています。「あて名のご本人が記入」は、要支援認定ありに比べ 14.4 ポイント高くなっています。

図表 1-1 回答者



図表 1-2 回答者【認定状況別】



## (2) 性別

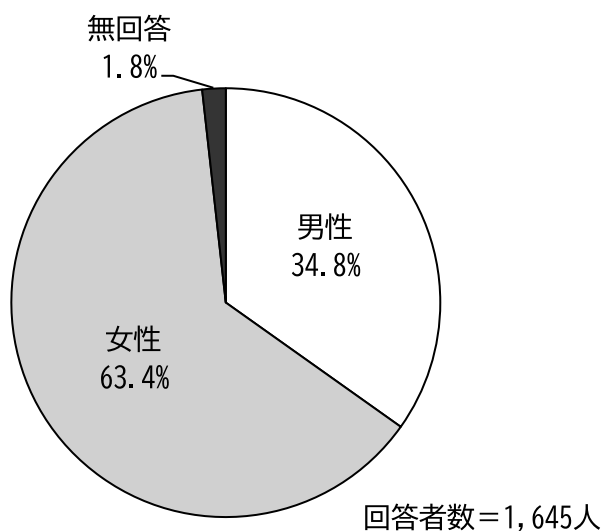
あなたの性別をお答えください（1つを選択）

性別は、全体では「男性」34.8%、「女性」63.4%です。

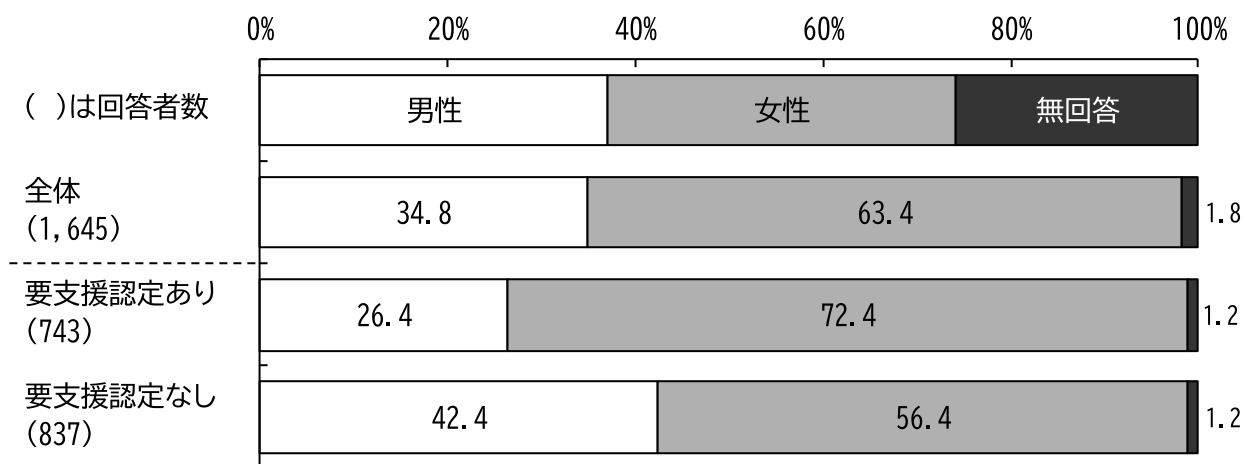
要支援認定ありでは、「男性」26.4%、「女性」72.4%となっています。

要支援認定なしでは、「男性」42.4%、「女性」56.4%となっています。

図表 1-3 性別



図表 1-4 性別【認定状況別】



### (3) 年齢

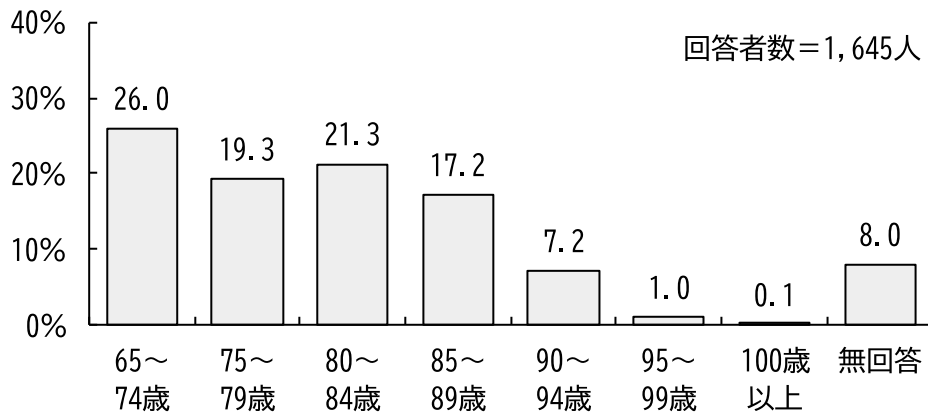
あなたの令和6年7月1日現在の年齢をお答えください（記述）

年齢は、全体では「65～74 歳」26.0%が最も高く、次いで「80～84 歳」21.3%、「75～79 歳」19.3%、「85～89 歳」17.2%が続いています。

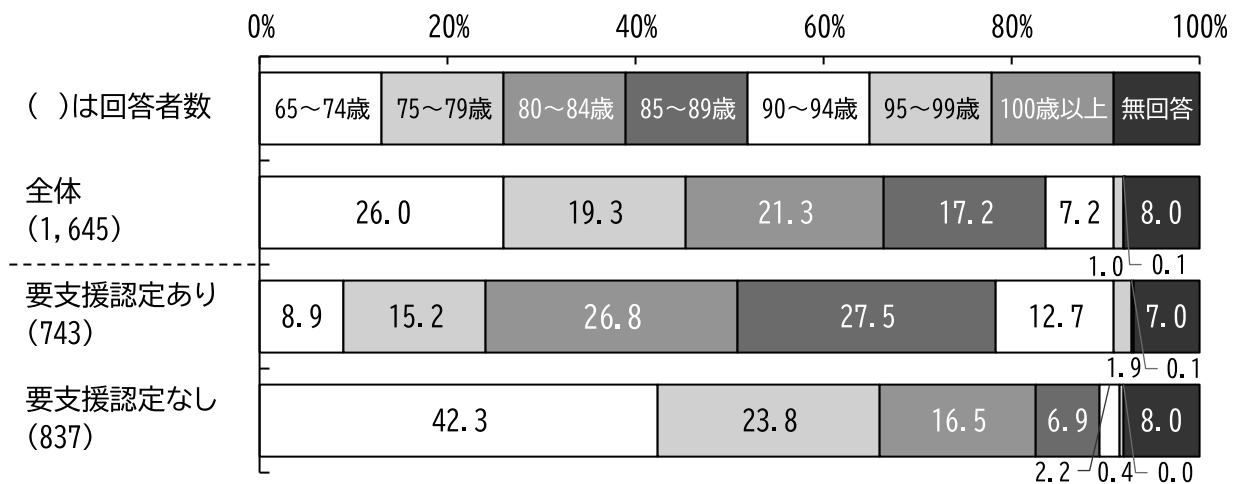
要支援認定ありでは、「85～89 歳」27.5%が最も高く、次いで「80～84 歳」26.8%、「75～79 歳」15.2%が続いています。

要支援認定なしでは、「65～74 歳」42.3%が最も高く、次いで「75～79 歳」23.8%、「80～84 歳」16.5%が続き、年齢が高くなるほど割合が低くなっています。

図表 1-5 年齢



図表 1-6 年齢【認定状況別】



## (4) 認定状況

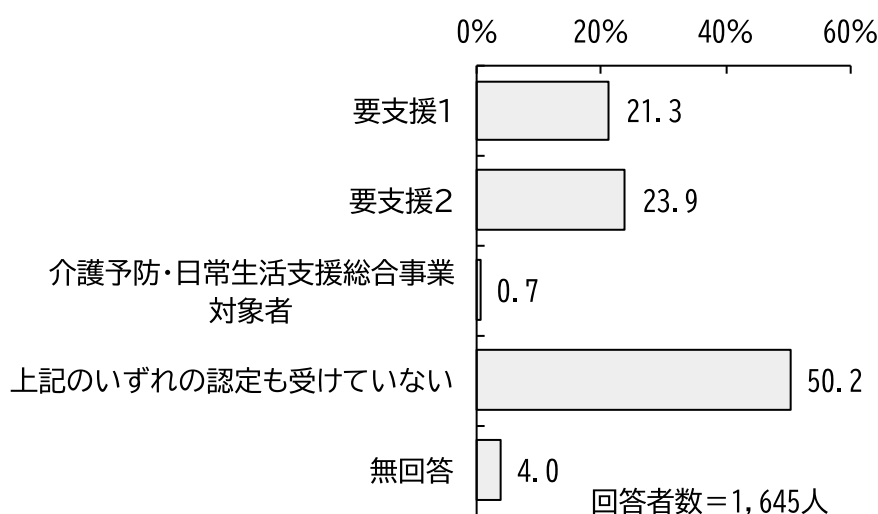
あなたの要介護認定の状況をお答えください（1つを選択）

認定状況は、全体では「要支援1」21.3%、「要支援2」23.9%、「介護予防・日常生活支援総合事業対象者(※)」0.7%であり、これらは合わせて 45.9%です。「上記のいずれの認定も受けていない」は最も高い 50.2%となっています。

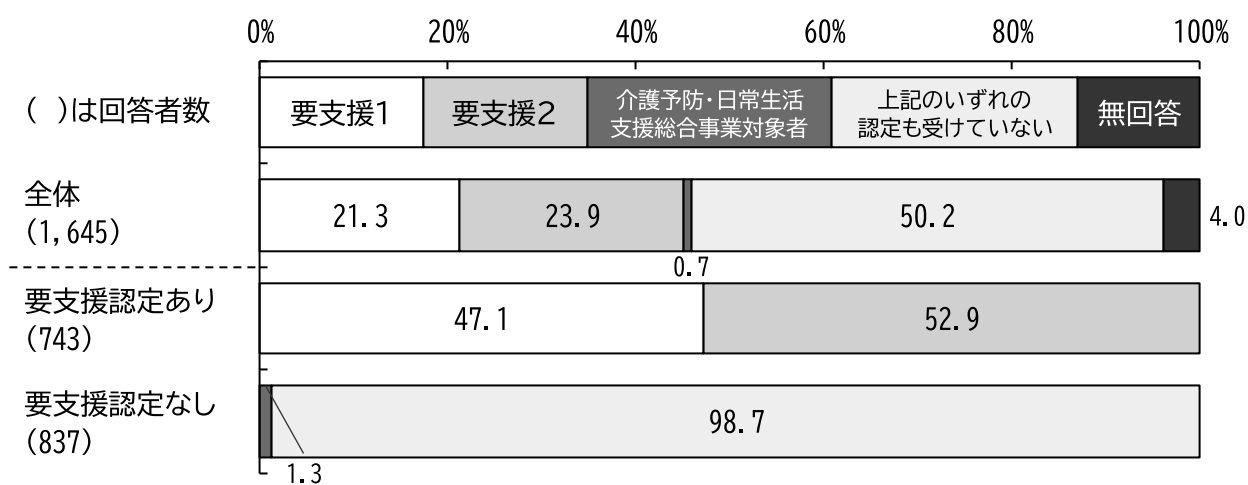
要支援認定ありでは、「要支援1」47.1%、「要支援2」52.9%となっています。

※高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)で「65歳からのいきいき元気度チェック(基本チェックリスト)」を受け、介護予防の支援が必要と判断された方です。

図表 1-7 認定状況



図表 1-8 認定状況(詳細)【認定状況別】



## 2 家族や生活状況

### (1) 家族構成

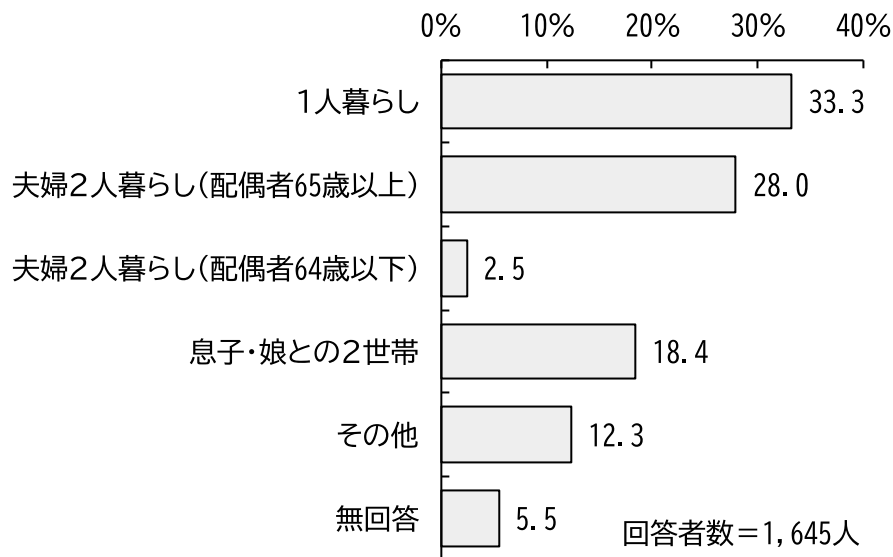
問1 (1) 家族構成をお教えてください (1つを選択)

家族構成は、「1人暮らし」33.3%が最も高く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)」28.0%、「息子・娘との2世帯」18.4%、「夫婦2人暮らし(配偶者 64 歳以下)」2.5%となっています。

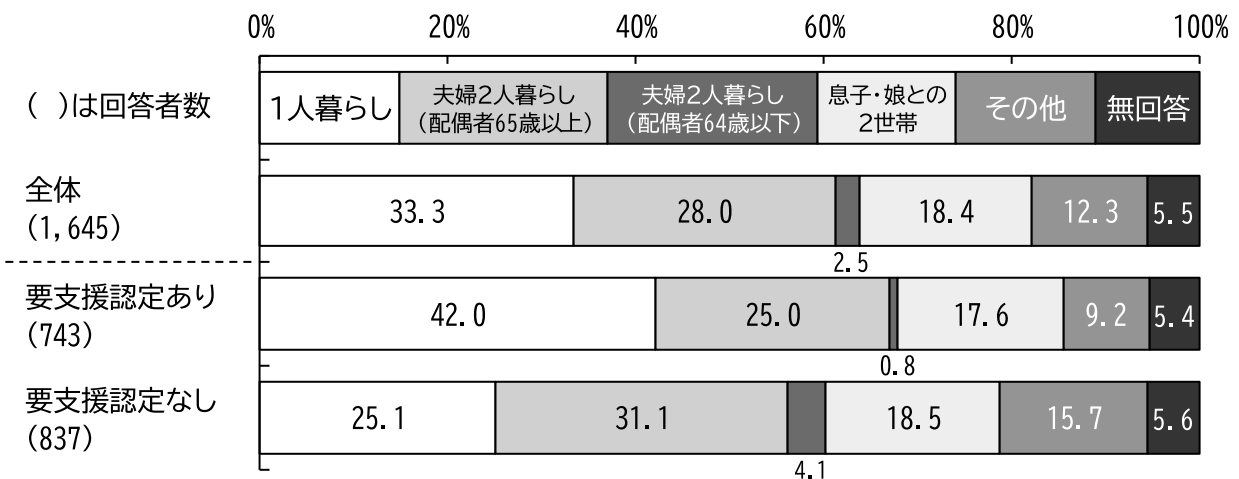
要支援認定ありでは、「1人暮らし」42.0%が最も高く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)」25.0%、「息子・娘との2世帯」17.6%が続いています。

要支援認定なしでは、「夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)」31.1%が最も高く、次いで「1人暮らし」25.1%、「息子・娘との2世帯」18.5%が続いています。

図表 1-9 家族構成



図表 1-10 家族構成【認定状況別】





## (2) 介護・介助の必要性

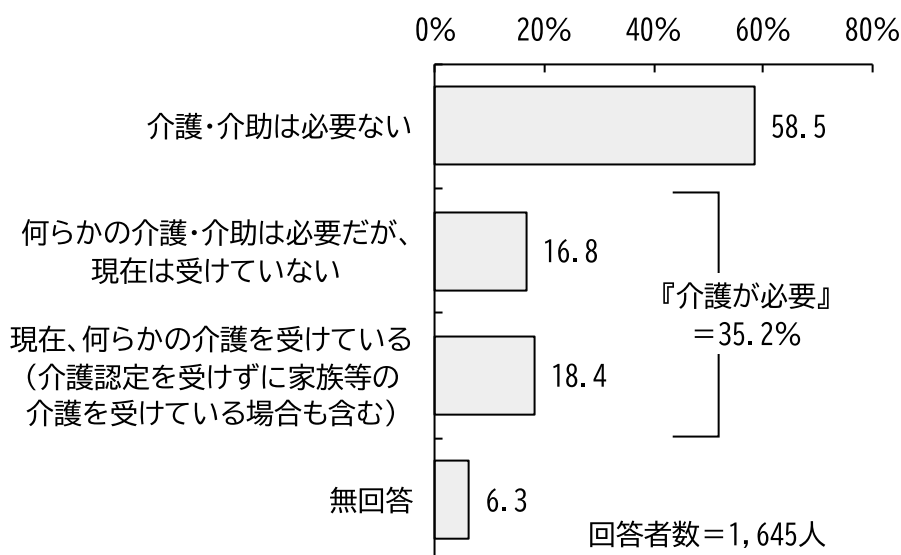
問1(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか(1つを選択)

介護・介助の必要性は、全体では「介護・介助は必要ない」58.5%が最も高く、一方、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族等の介護を受けている場合も含む)」18.4%と「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」16.8%を合わせた『介護が必要』35.2%となっています。

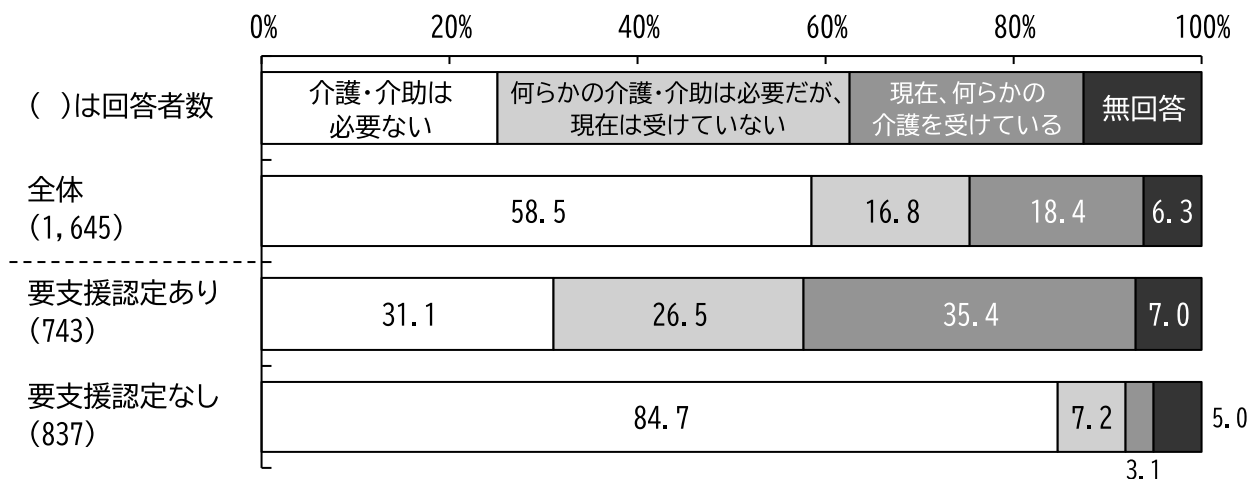
要支援認定ありでは、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族等の介護を受けている場合も含む)」35.4%が最も高く、「介護・介助は必要ない」31.1%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」26.5%となっています。

要支援認定なしでは、「介護・介助は必要ない」84.7%が最も高くなっています。

図表 1-11 介護・介助の必要性



図表 1-12 介護・介助の必要性【認定状況別】



## ① 介護・介助が必要になった主な原因

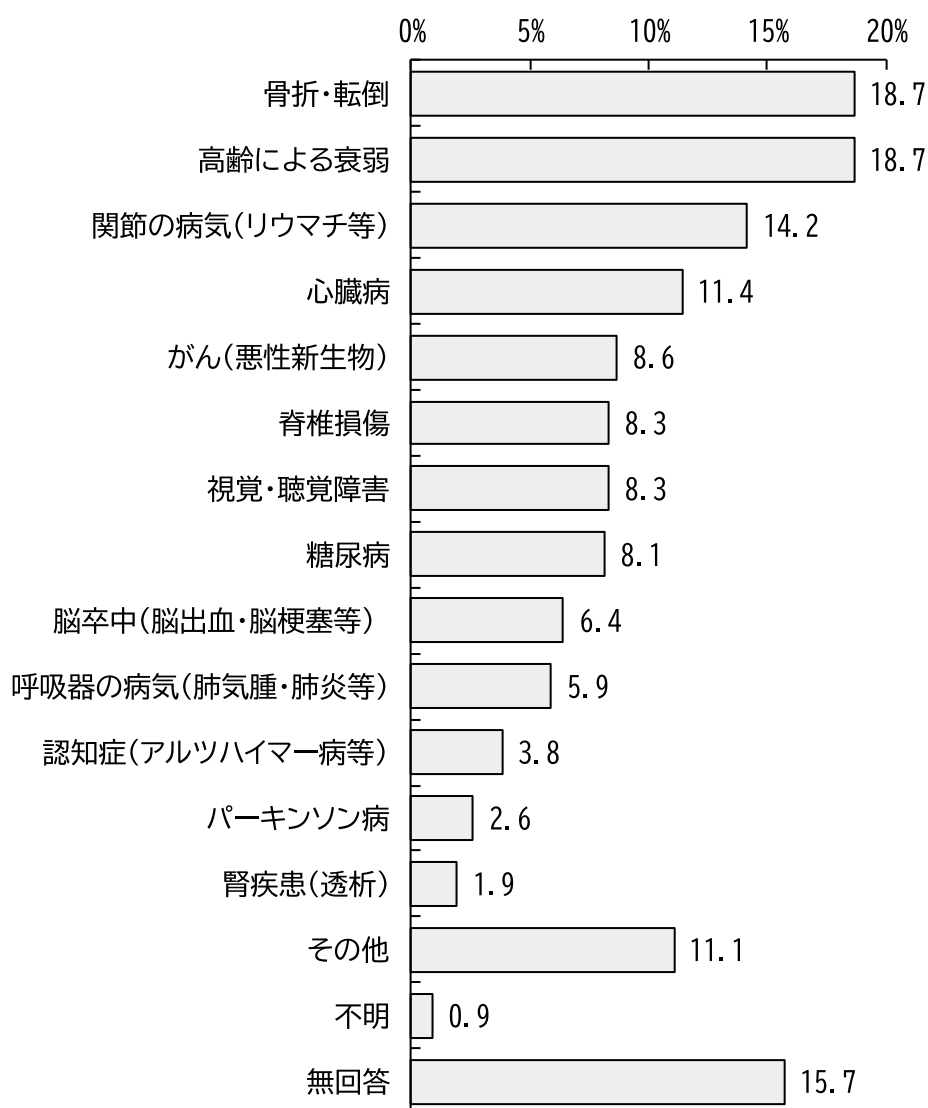
問1 (2) ① 【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】  
 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (いくつでも)

介護・介助が必要になった主な原因は、全体では「骨折・転倒」「高齢による衰弱」がともに18.7%で最も高く、次いで「関節の病気(リウマチ等)」14.2%、「心臓病」11.4%が続いています。

要支援認定ありでは、「骨折・転倒」「高齢による衰弱」がともに20.0%、「関節の病気(リウマチ等)」15.9%が上位3位となっています。

要支援認定なしでは、「高齢による衰弱」15.1%、「骨折・転倒」14.0%、「呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)」12.8%が上位3位となっています。

図表 1-13 介護・介助が必要になった主な原因 (複数回答)



回答者数=579人

図表 1-14 介護・介助が必要になった主な原因【認定状況別】

		回答者数	骨折・転倒	高齢による衰弱	関節の病気 (リウマチ等)	心臓病	がん (悪性新生物)	脊椎損傷	視覚・聴覚障害	糖尿病
全体		579 100.0	108 18.7	108 18.7	82 14.2	66 11.4	50 8.6	48 8.3	48 8.3	47 8.1
認定 状況 別	要支援認定 あり	460 100.0	92 20.0	92 20.0	73 15.9	55 12.0	40 8.7	40 8.7	44 9.6	35 7.6
	要支援認定 なし	86 100.0	12 14.0	13 15.1	7 8.1	5 5.8	10 11.6	5 5.8	4 4.7	8 9.3

		回答者数	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	呼吸器の病気 (肺炎腫・肺炎等)	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	腎疾患 (透析)	その他	不明	無回答
全体		579 100.0	37 6.4	34 5.9	22 3.8	15 2.6	11 1.9	64 11.1	5 0.9	91 15.7
認定 状況 別	要支援認定 あり	460 100.0	28 6.1	19 4.1	13 2.8	14 3.0	8 1.7	53 11.5	4 0.9	59 12.8
	要支援認定 なし	86 100.0	4 4.7	11 12.8	7 8.1	0 0.0	3 3.5	8 9.3	1 1.2	23 26.7

※上段：回答者数（人）、下段：割合（%）  
 ※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

② 主な介護者・介助者

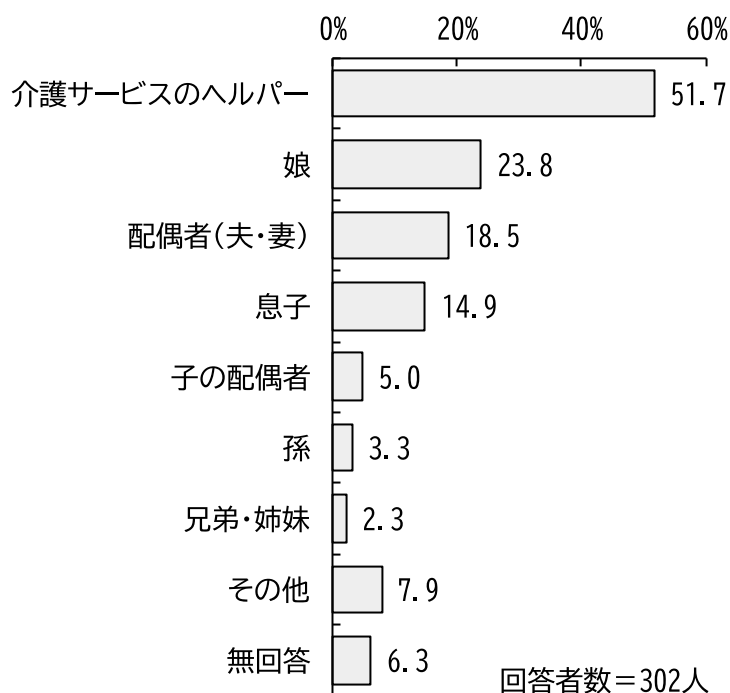
問1 (2) ②【(2)において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】  
主にどなたの介護、介助を受けていますか（いくつでも）

主な介護者・介助者は、全体では「介護サービスのヘルパー」51.7%が最も高く、次いで「娘」23.8%、「配偶者(夫・妻)」18.5%、「息子」14.9%が続いています。

要支援認定ありでは、「介護サービスのヘルパー」54.8%、「娘」24.3%、「配偶者(夫・妻)」17.1%が上位3位となっています。

要支援認定なしでは、「娘」26.9%、「配偶者(夫・妻)」23.1%、「介護サービスのヘルパー」19.2%が上位3位となっています。

図表 1-15 主な介護者・介助者（複数回答）



図表 1-16 主な介護者・介助者【認定状況別】

		回答者数	介護サービスのヘルパー	娘	配偶者(夫・妻)	息子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
全体		302	156	72	56	45	15	10	7	24	19
		100.0	51.7	23.8	18.5	14.9	5.0	3.3	2.3	7.9	6.3
認定状況別	要支援認定あり	263	144	64	45	43	13	9	5	20	14
		100.0	54.8	24.3	17.1	16.3	4.9	3.4	1.9	7.6	5.3
	要支援認定なし	26	5	7	6	1	2	1	1	2	5
		100.0	19.2	26.9	23.1	3.8	7.7	3.8	3.8	7.7	19.2

※上段：回答者数（人）、下段：割合（%）

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

### (3) 経済状況

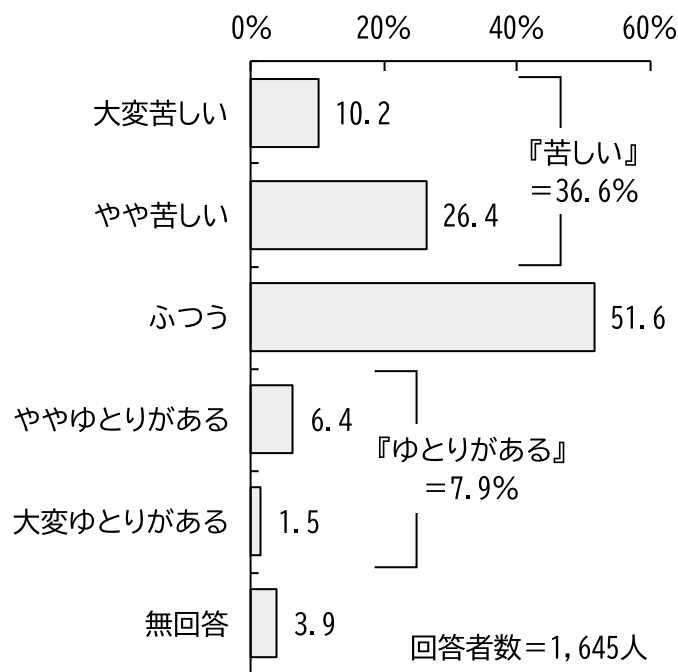
問1 (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (1つを選択)

経済状況は、全体では「ふつう」51.6%が最も高く、次いで「やや苦しい」26.4%と「大変苦しい」10.2%を合わせた『苦しい』が 36.6%となっています。また、「ややゆとりがある」6.4%と「大変ゆとりがある」1.5%を合わせた『ゆとりがある』が 7.9%となっています。

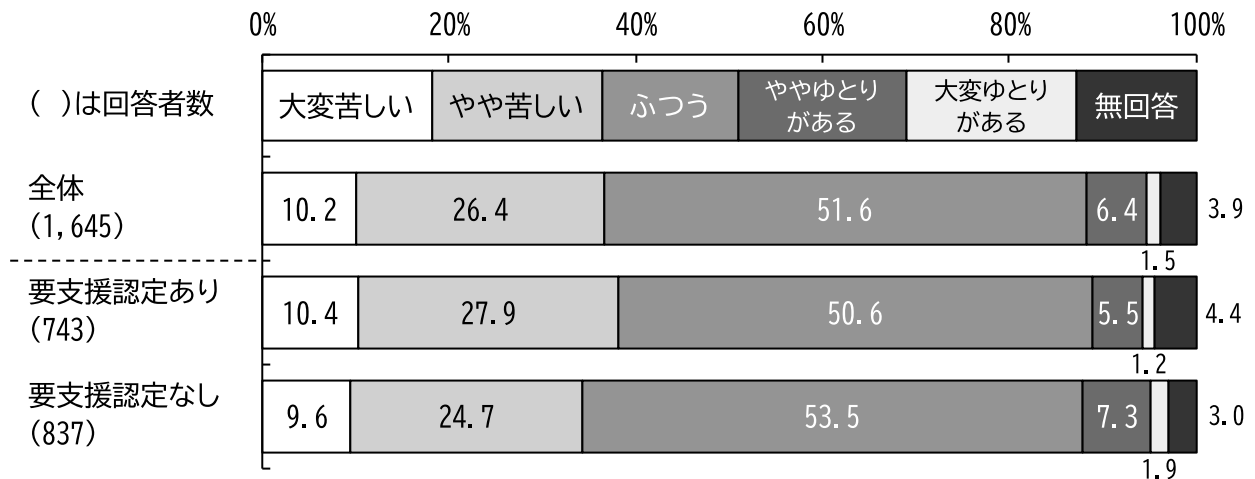
要支援認定ありでは、「ふつう」50.6%が最も高く、「やや苦しい」27.9%、「大変苦しい」10.4%が続いています。

要支援認定なしでは、「ふつう」53.5%が最も高く、「やや苦しい」24.7%、「大変苦しい」9.6%が続いています。

図表 1-17 経済状況



図表 1-18 経済状況【認定状況別】



#### (4) 住まい

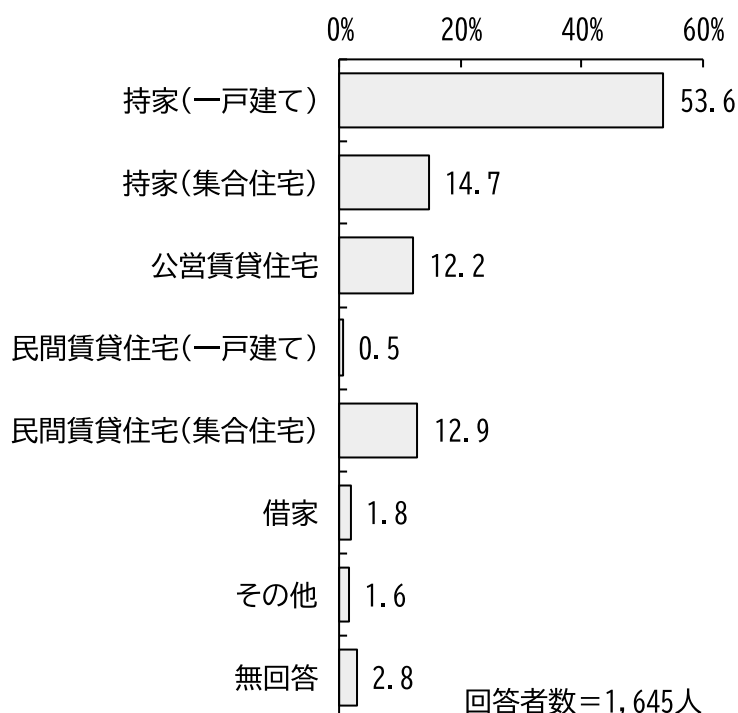
問1 (4) お住まいは一戸建て、又は集合住宅のどちらですか (1つを選択)

住まいは、全体では「持家(一戸建て)」53.6%が最も高く、次いで「持家(集合住宅)」14.7%、「民間賃貸住宅(集合住宅)」12.9%、「公営賃貸住宅」12.2%が続いています。

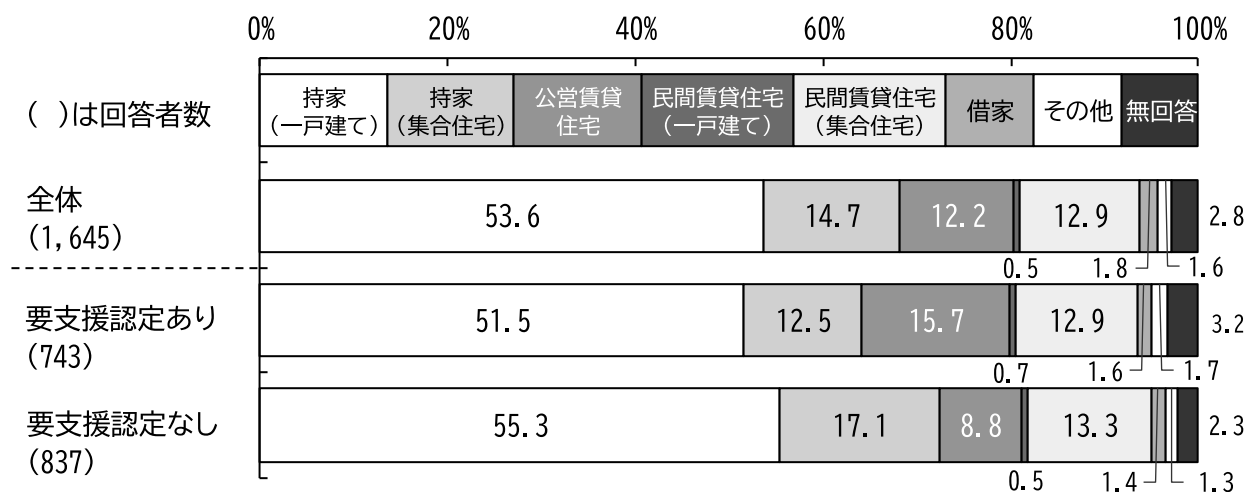
要支援認定ありでは、「持家(一戸建て)」51.5%が最も高く、次いで「公営賃貸住宅」15.7%、「民間賃貸住宅(集合住宅)」12.9%が続いています。

要支援認定なしでは、「持家(一戸建て)」55.3%が最も高く、次いで「持家(集合住宅)」17.1%、「民間賃貸住宅(集合住宅)」13.3%が続いています。

図表 1-19 住まい



図表 1-20 住まい【認定状況別】



### 3 からだを動かすこと

#### (1) 階段を昇る

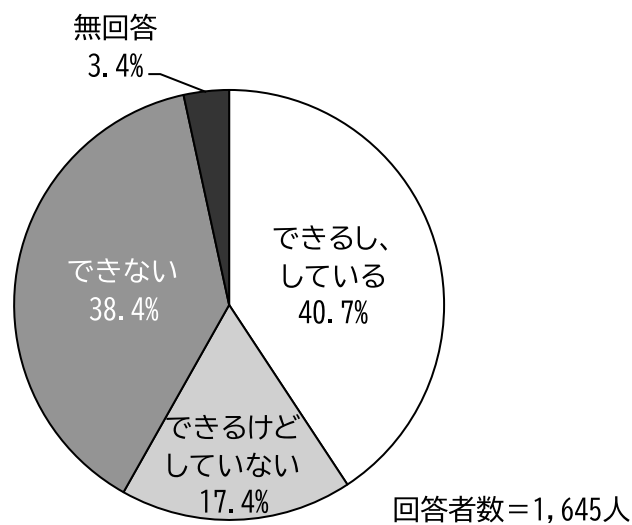
問2 (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (1つを選択)

階段を昇る動作は、全体では「できるし、している」40.7%が最も高く、次いで「できない」38.4%、「できるけどしていない」17.4%となっています。

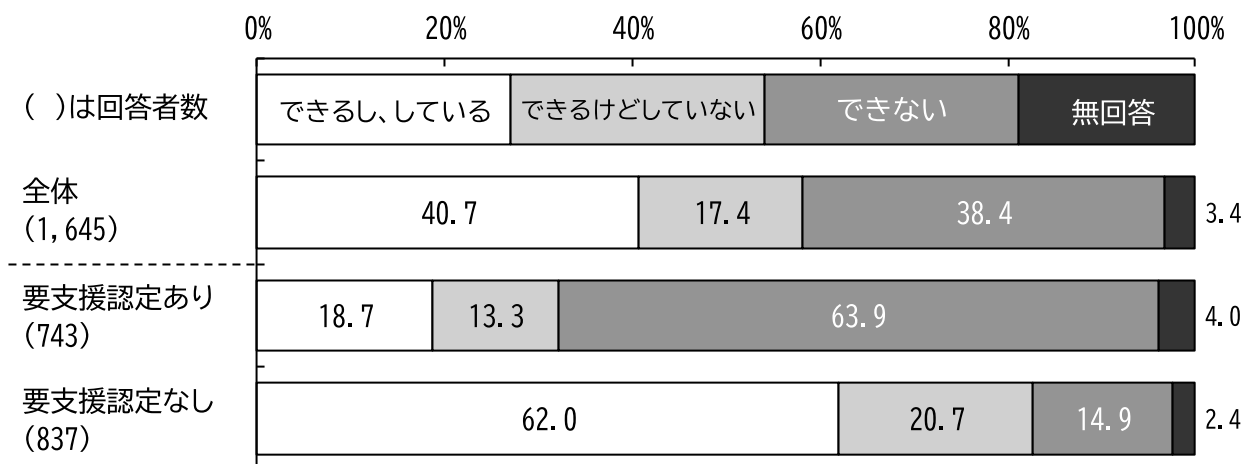
要支援認定ありでは、「できない」63.9%が最も高い割合になっています。

要支援認定なしでは、「できるし、している」62.0%が最も高い割合になっています。

図表 1-21 階段を昇る



図表 1-22 階段を昇る【認定状況別】



## (2) 椅子からの立ち上がり

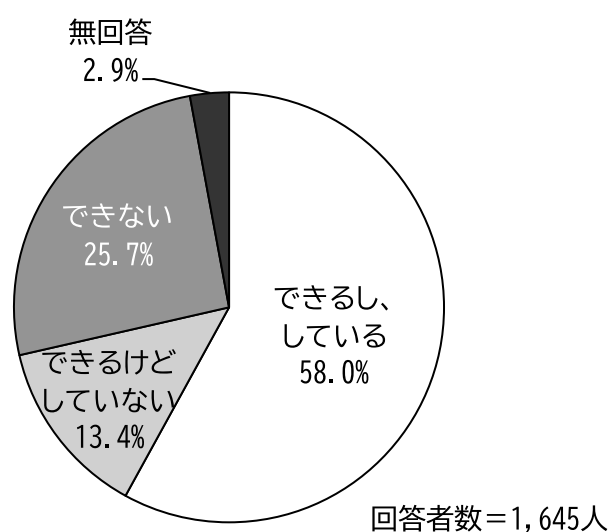
問2 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか  
(1つを選択)

椅子からの立ち上がりの動作は、全体では「できるし、している」58.0%が最も高く、次いで「できない」25.7%、「できるけどしていない」13.4%となっています。

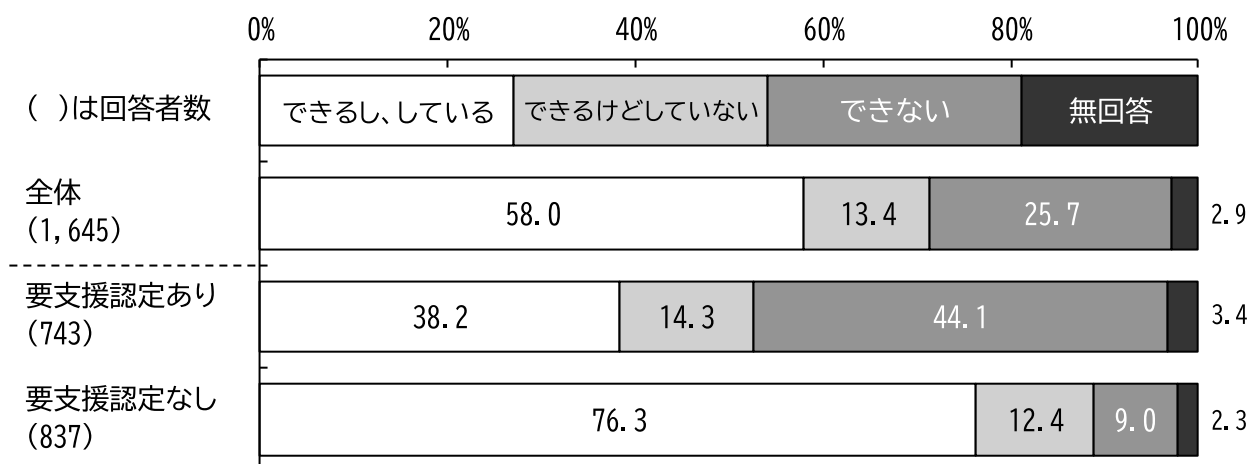
要支援認定ありでは、「できない」44.1%が最も高い割合になっています。

要支援認定なしでは、「できるし、している」76.3%が最も高い割合になっています。

図表 1-23 椅子からの立ち上がり



図表 1-24 椅子からの立ち上がり【認定状況別】





### (3) 15分続けて歩く

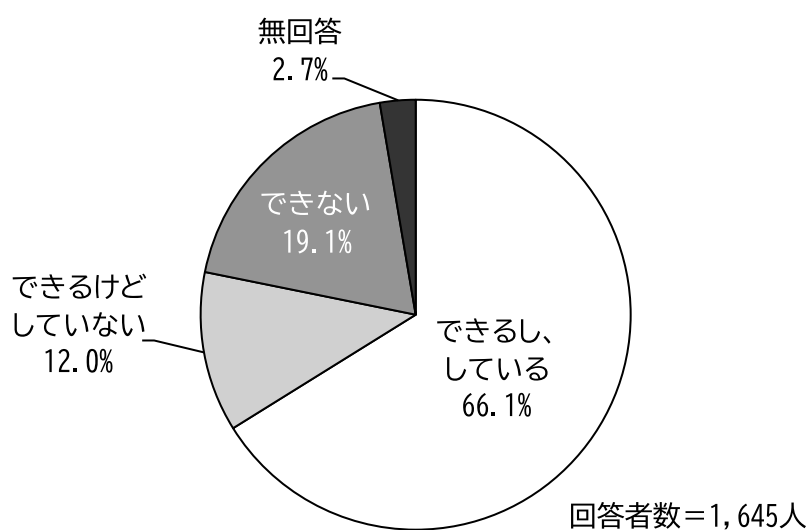
問2 (3) 15分くらい続けて歩いていますか (1つを選択)

15分続けて歩く動作は、全体では「できるし、している」66.1%が最も高く、次いで「できない」19.1%、「できるけどしていない」12.0%となっています。

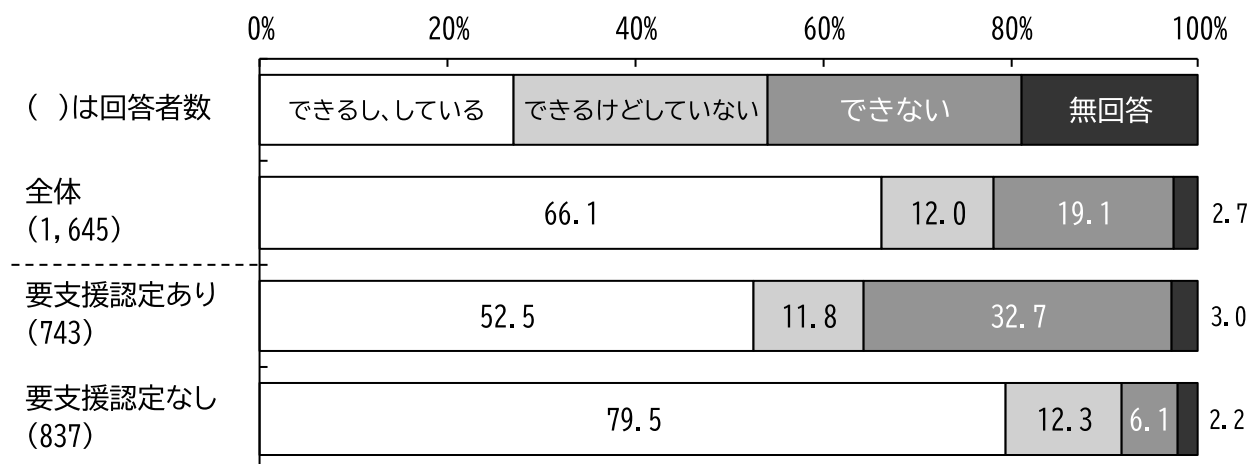
要支援認定ありでは、「できるし、している」52.5%、「できない」32.7%となっています。

要支援認定なしでは、「できるし、している」79.5%、「できるけどしていない」12.3%となっています。

図表 1-25 15分続けて歩く



図表 1-26 15分続けて歩く【認定状況別】



#### (4) 転んだ経験

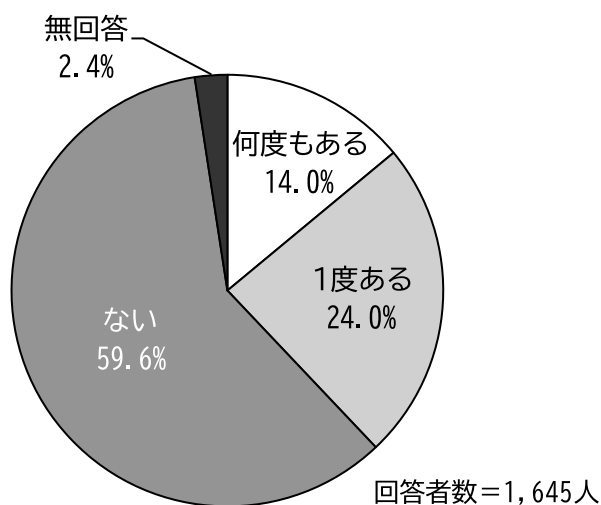
問2 (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (1つを選択)

転んだ経験は、全体では「ない」59.6%が最も高く、次いで「1度ある」24.0%、「何度もある」14.0%となっています。

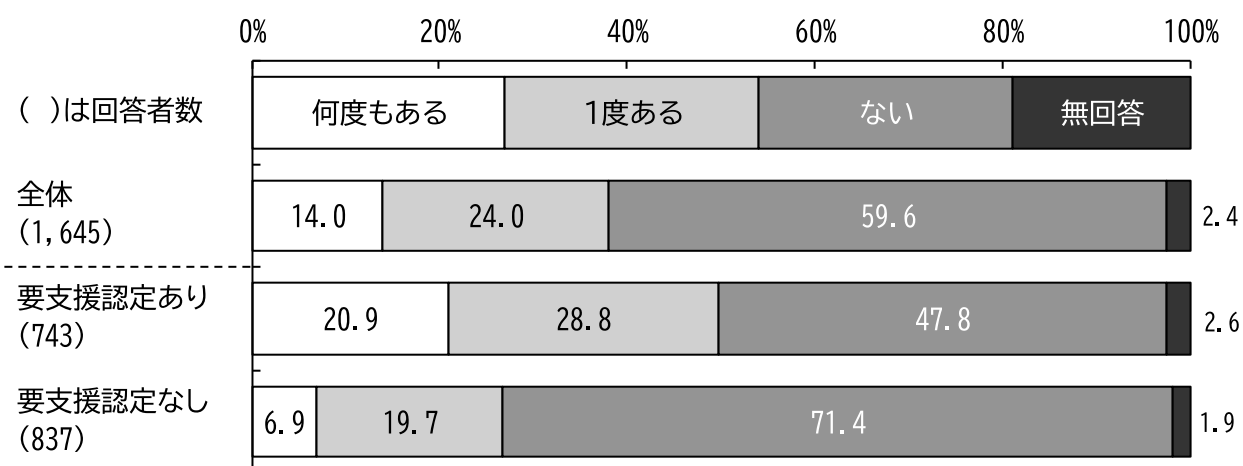
要支援認定ありでは、「ない」47.8%が最も高いものの、「何度もある」「1度ある」を合わせると49.7%となっています。

要支援認定なしでは、「ない」71.4%が最も高い割合となっています。

図表 1-27 転んだ経験



図表 1-28 転んだ経験【認定状況別】



## (5) 転倒に対する不安

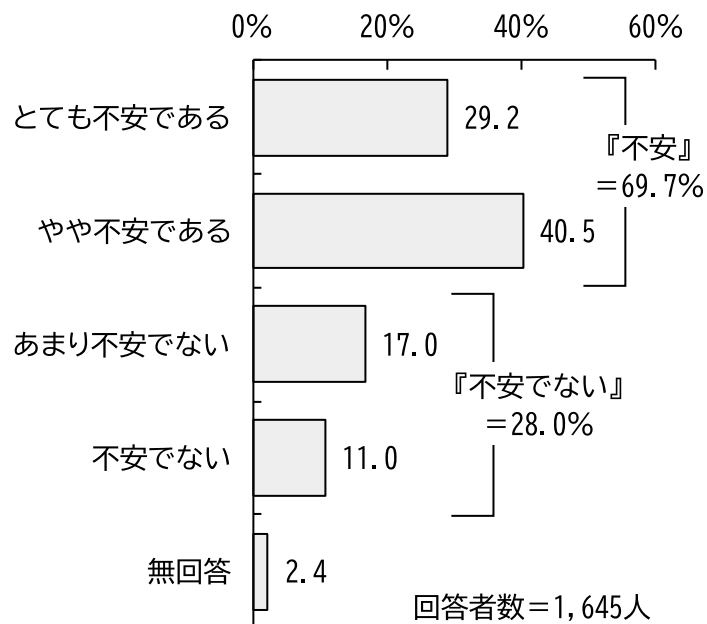
問2 (5) 転倒に対する不安は大きいですか (1つを選択)

転倒に対する不安は、全体では「やや不安である」40.5%が最も高く、次いで「とても不安である」29.2%、「あまり不安でない」17.0%、「不安でない」11.0%となっています。

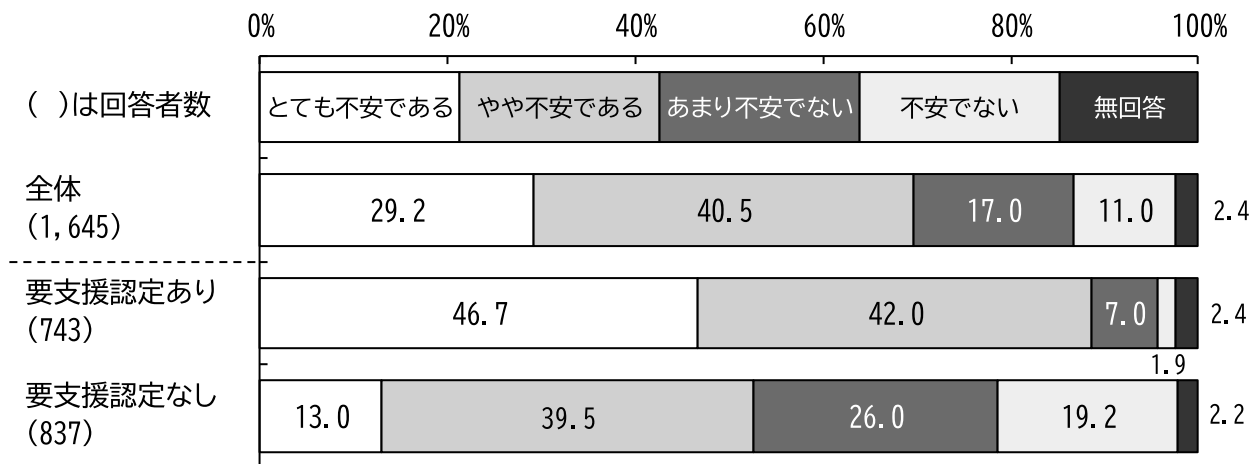
要支援認定ありでは、「とても不安である」46.7%が最も高く、「やや不安である」42.0%を合わせると88.7%で9割近くが不安を感じています。

要支援認定なしでは、「やや不安である」39.5%が最も高く、「とても不安である」13.0%を合わせた『不安』は52.5%となっています。

図表 1-29 転倒に対する不安



図表 1-30 転倒に対する不安【認定状況別】



## (6) 閉じこもりについて

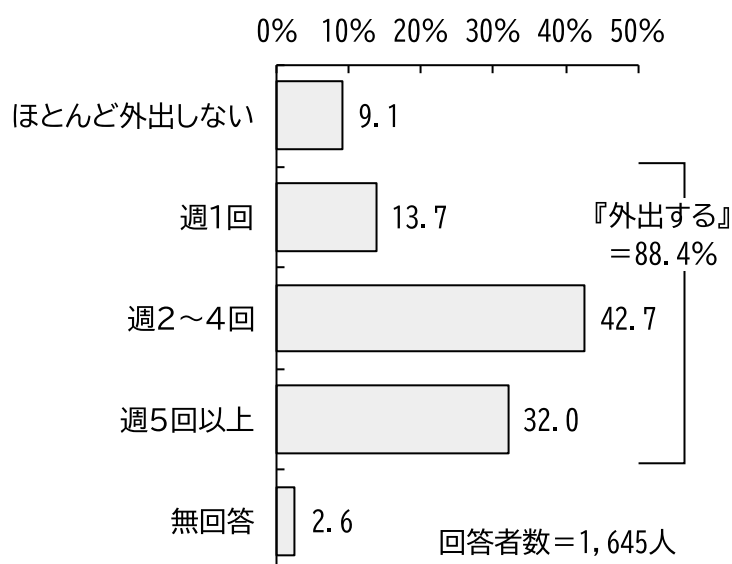
問2 (6) 週に1回以上は外出していますか (1つを選択)

閉じこもりについては、全体では「週2～4回」42.7%が最も高く、これと「週5回以上」32.0%、「週1回」13.7%を合わせた『外出する』88.4%は9割近くとなっています。一方、「ほとんど外出しない」9.1%は1割を下回っています。

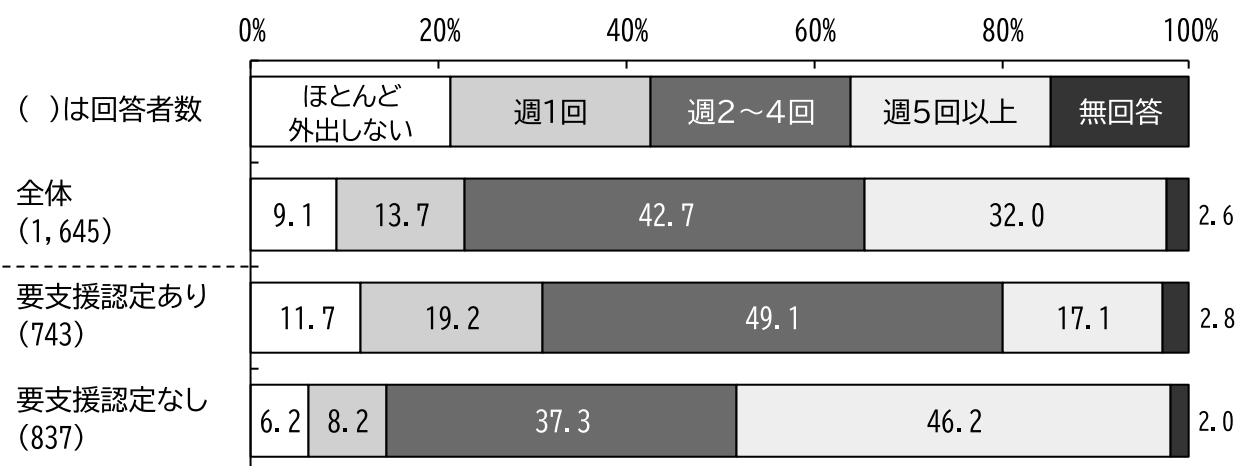
要支援認定ありでは、「週2～4回」49.1%が最も高く、次いで「週1回」19.2%、「週5回以上」17.1%が続いています。

要支援認定なしでは、「週5回以上」46.2%が最も高く、次いで「週2～4回」37.3%、「週1回」8.2%が続いています。

図表 1-31 閉じこもりについて



図表 1-32 閉じこもりについて【認定状況別】



## (7) 昨年と比べて外出回数は減っているか

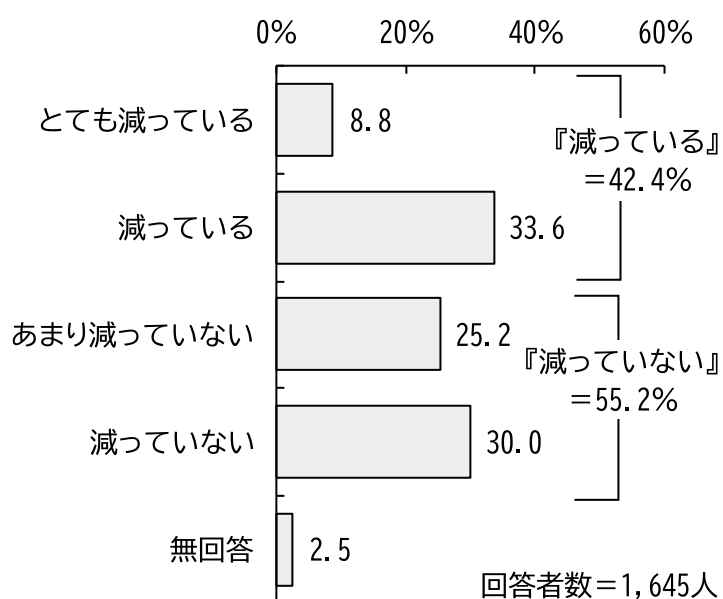
問2 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (1つを選択)

昨年と比べて外出回数が減っているかについては、全体では「減っている」33.6%が最も高く、次いで「減っていない」30.0%、「あまり減っていない」25.2%、「とても減っている」8.8%となっています。

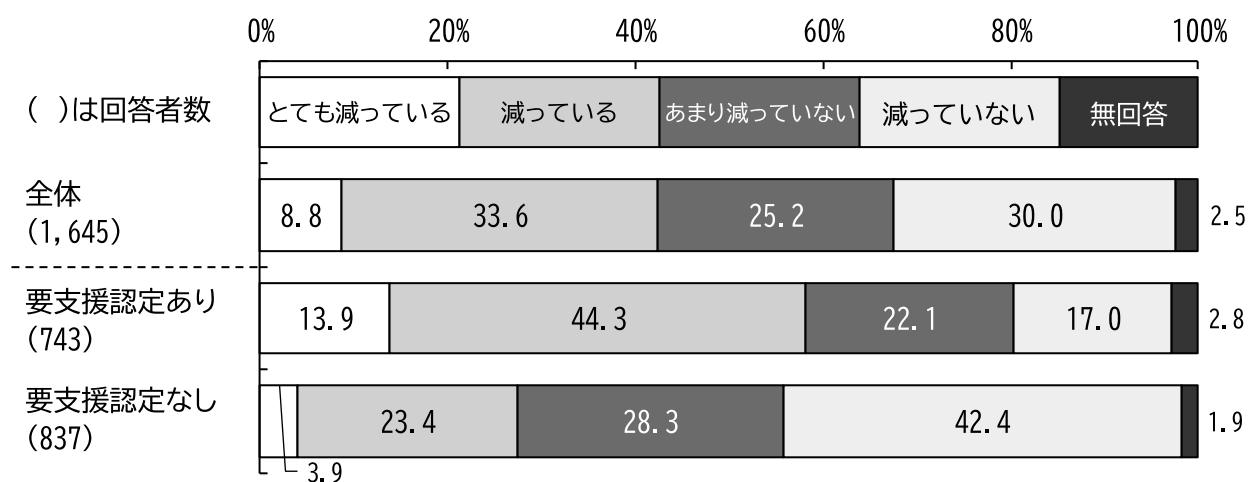
要支援認定ありでは、「減っている」44.3%が最も高くなっています。

要支援認定なしでは、「減っていない」42.4%が最も高く、「あまり減っていない」28.3%と合わせた『減っていない』は70.7%となっています。

図表 1-33 外出回数は減っているか



図表 1-34 外出回数は減っているか【認定状況別】

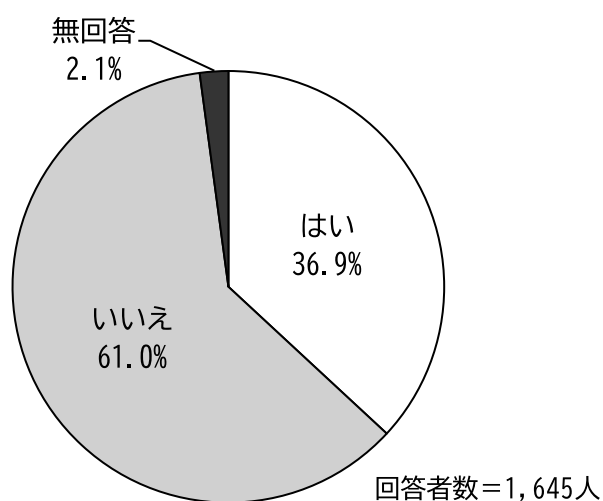


## (8) 外出を控えているか

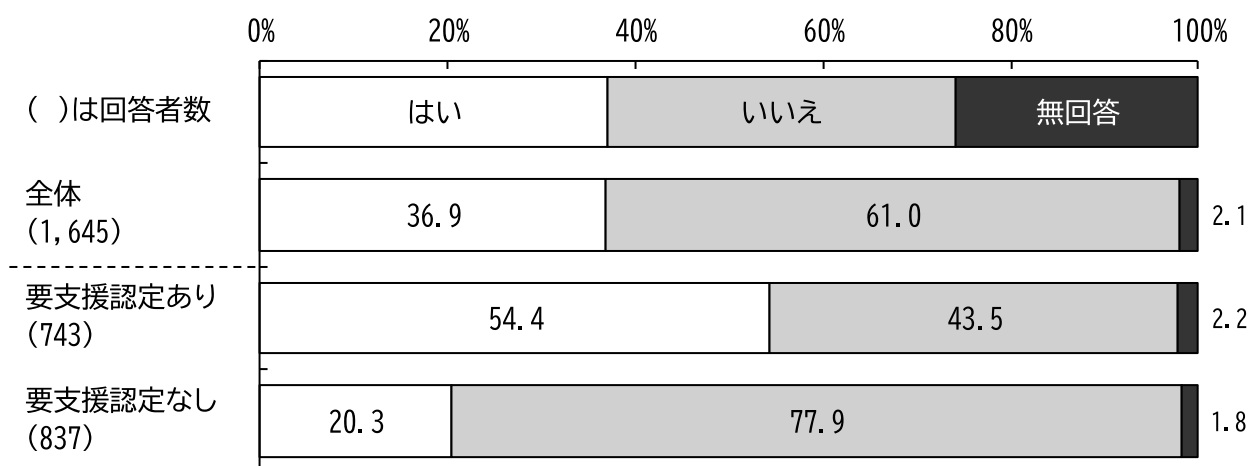
問2 (8) 外出を控えていますか (1つを選択)

外出を控えているかについては、全体では「はい」36.9%、「いいえ」61.0%です。  
 要支援認定ありでは、「はい」54.4%、「いいえ」43.5%となっています。  
 要支援認定なしでは、「はい」20.3%、「いいえ」77.9%となっています。

図表 1-35 外出を控えているか



図表 1-36 外出を控えているか【認定状況別】



① 外出を控えている理由

問2 (8) ①【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】  
 外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)

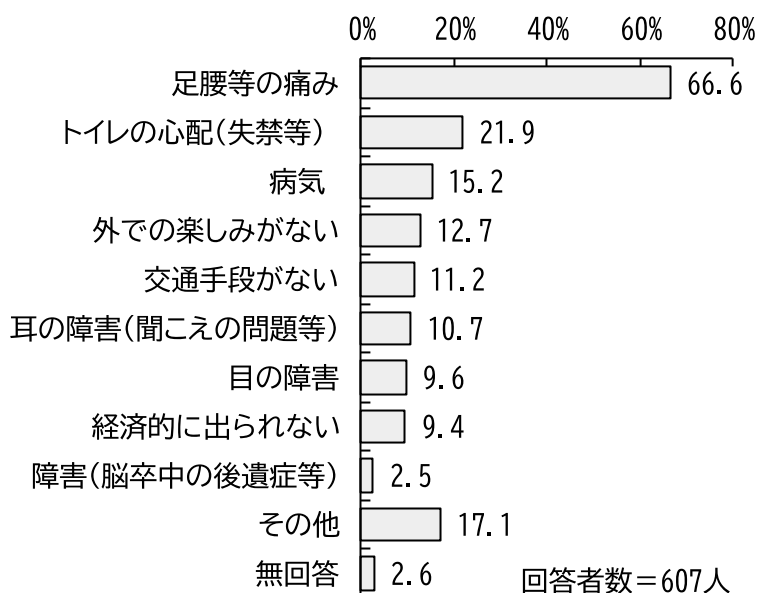
外出を控えている人にその理由をたずねたところ、全体では「足腰等の痛み」66.6%が最も高く、次いで「トイレの心配(失禁等)」21.9%、「その他」17.1%、「病気」15.2%、「外での楽しみがない」12.7%が続いています。

「その他」においては、暑さによる熱中症予防、新型コロナウイルス感染予防、転倒の不安等を理由にあげる記載が多くありました。

要支援認定ありでは、「足腰等の痛み」71.8%、「トイレの心配(失禁等)」24.0%、「病気」16.3%が上位3位となっています。

要支援認定なしでは、「足腰等の痛み」51.2%、「その他」21.2%、「外での楽しみがない」15.9%が上位3位となっています。

図表 1-37 外出を控えている理由(複数回答)



図表 1-38 外出を控えている理由【認定状況別】

		回答者数	足腰等の痛み	(失禁等) トイレの心配	病気	外での楽しみがない	交通手段がない	耳の障害(聞こえの問題等)	目の障害	経済的に出られない	障害(脳卒中の後遺症等)	その他	無回答
全体		607 100.0	404 66.6	133 21.9	92 15.2	77 12.7	68 11.2	65 10.7	58 9.6	57 9.4	15 2.5	104 17.1	16 2.6
認定状況別	要支援認定あり	404 100.0	290 71.8	97 24.0	66 16.3	45 11.1	51 12.6	48 11.9	41 10.1	31 7.7	12 3.0	65 16.1	10 2.5
	要支援認定なし	170 100.0	87 51.2	26 15.3	22 12.9	27 15.9	11 6.5	13 7.6	15 8.8	24 14.1	2 1.2	36 21.2	6 3.5

※上段：回答者数(人)、下段：割合(%)

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

## (9) 外出する際の移動手段

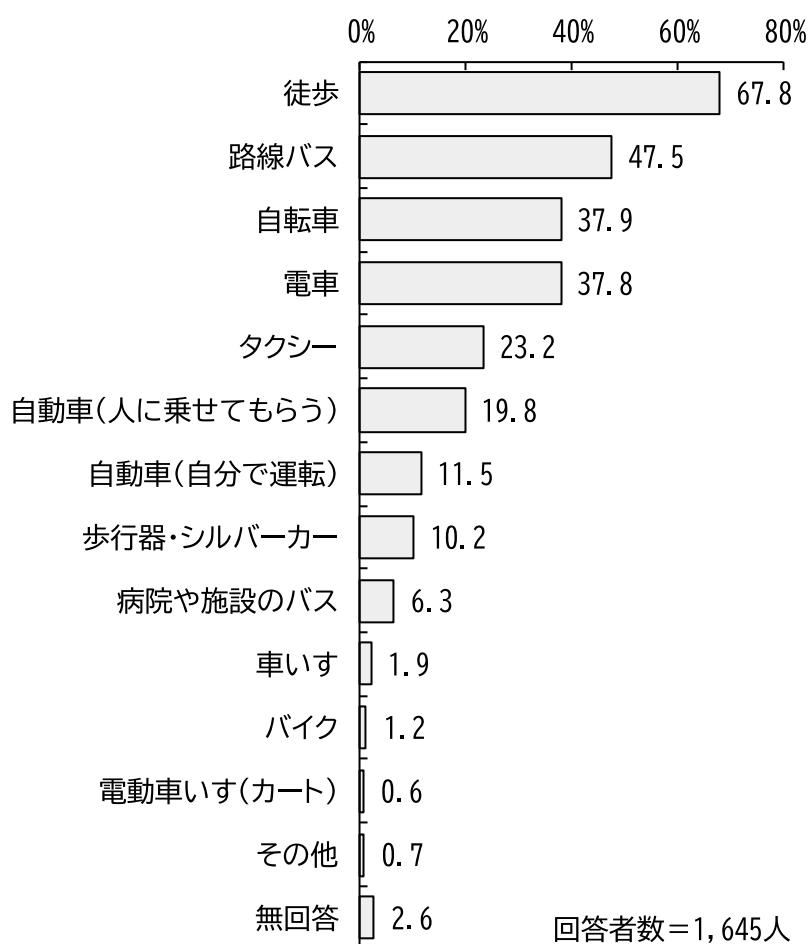
問2 (9) 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)

外出する際の移動手段については、全体では「徒歩」67.8%が最も高く、次いで「路線バス」47.5%、「自転車」37.9%、「電車」37.8%、「タクシー」23.2%、「自動車(人に乗せてもらう)」19.8%が続いています。

要支援認定ありでは、「徒歩」57.5%、「路線バス」45.2%、「タクシー」35.4%が上位3位となっています。

要支援認定なしでは、「徒歩」77.7%、「自転車」55.6%、「電車」49.8%が上位3位となっています。

図表 1-39 外出する際の移動手段 (複数回答)





図表 1-40 外出する際の移動手段【認定状況別】

		回答者数	徒歩	路線バス	自転車	電車	タクシー	自動車 (人に乗せてもらう)	自動車 (自分で運転)
全体		1,645 100.0	1,116 67.8	781 47.5	623 37.9	622 37.8	382 23.2	325 19.8	189 11.5
認定 状況 別	要支援認定 あり	743 100.0	427 57.5	336 45.2	137 18.4	188 25.3	263 35.4	176 23.7	18 2.4
	要支援認定 なし	837 100.0	650 77.7	408 48.7	465 55.6	417 49.8	101 12.1	139 16.6	166 19.8

		回答者数	歩行器・シルバーカー	病院や施設のバス	車いす	バイク	電動車いす (カート)	その他	無回答
全体		1,645 100.0	167 10.2	103 6.3	32 1.9	19 1.2	10 0.6	12 0.7	42 2.6
認定 状況 別	要支援認定 あり	743 100.0	142 19.1	83 11.2	28 3.8	3 0.4	9 1.2	10 1.3	25 3.4
	要支援認定 なし	837 100.0	15 1.8	17 2.0	2 0.2	16 1.9	1 0.1	2 0.2	16 1.9

※上段：回答者数（人）、下段：割合（%）  
 ※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

## 4 食べること

### (1) 身長・体重 (BMI)

#### 問3 (1) 身長・体重

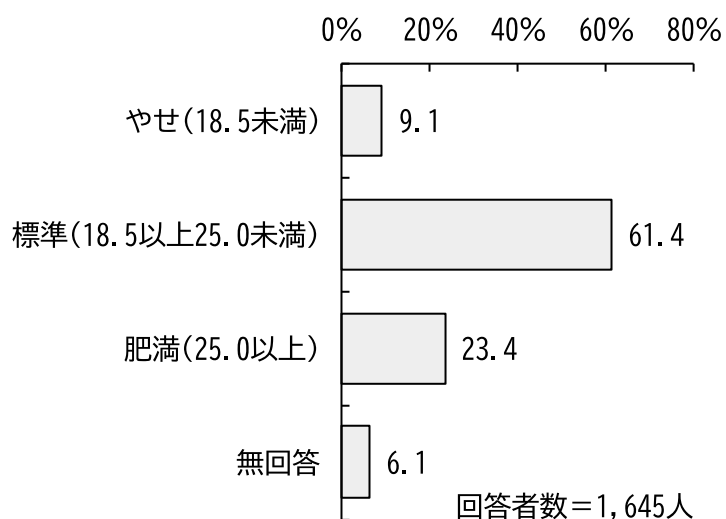
身長・体重から算出されるBMI(※)について、全体では「標準(18.5以上 25.0未満)」61.4%が最も高く、次いで「肥満(25.0以上)」23.4%、「やせ(18.5未満)」9.1%となっています。

要支援認定ありでは、「標準(18.5以上 25.0未満)」57.7%が最も高くなっていますが、「肥満(25.0以上)」と「やせ(18.5未満)」は要支援認定なしに比べ高くなっています。

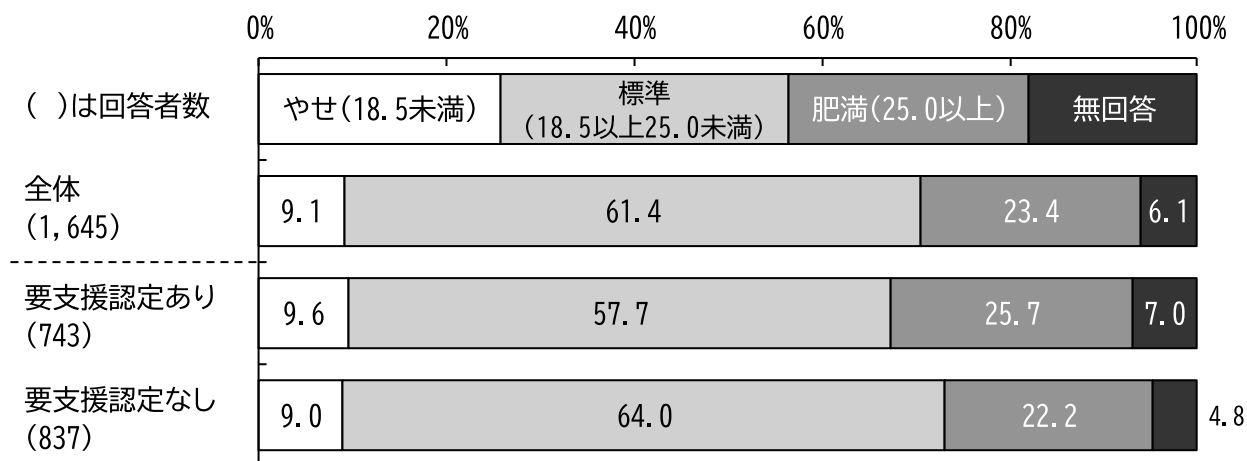
要支援認定なしでは、「標準(18.5以上 25.0未満)」64.0%が最も高くなっています。

※BMI (体格指数)：体重 (kg) ÷ (身長 (m) × 身長 (m)) によって求められる値です。

図表 1-41 BMI



図表 1-42 BMI 【認定状況別】



## (2) 固いものの食べにくさ

問3 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (1つを選択)

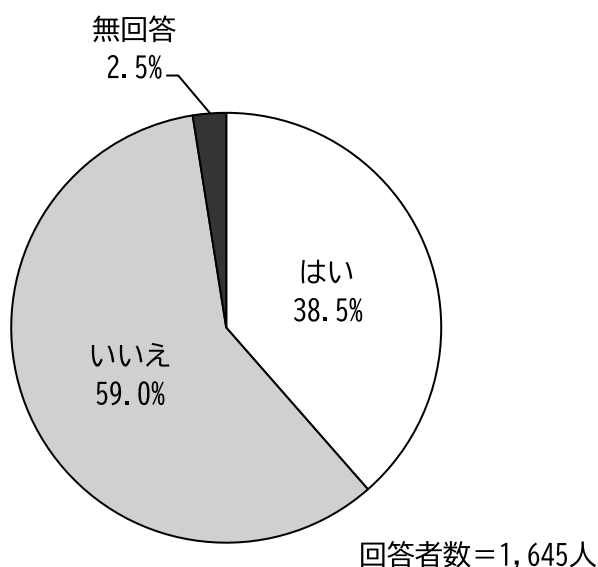
半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、全体では「はい」38.5%、「いいえ」59.0%となっています。

要支援認定ありでは、「はい」48.0%、「いいえ」48.7%となっています。

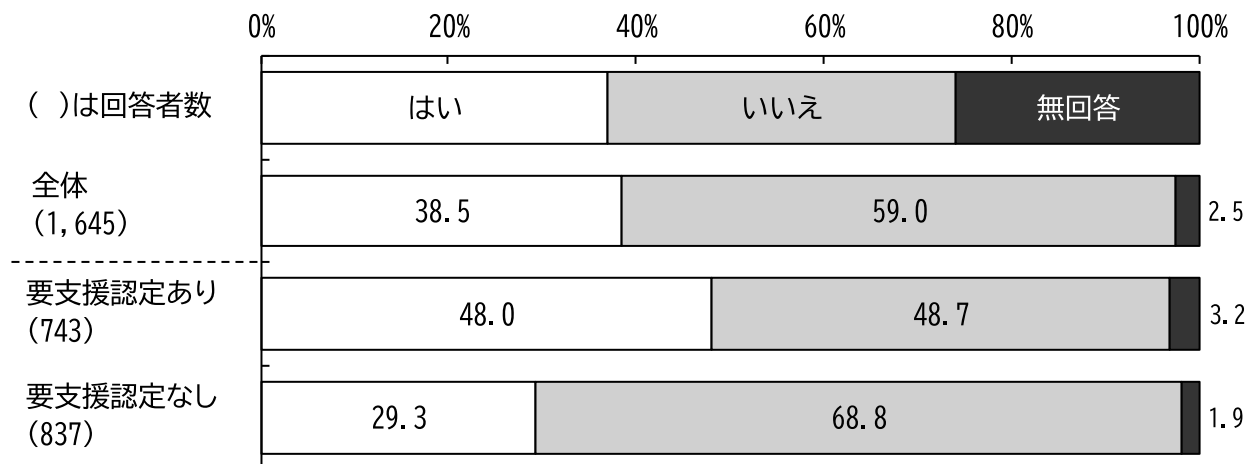
要支援認定なしでは、「はい」29.3%、「いいえ」68.8%となっています。

「はい」は要支援認定なしに比べ、要支援認定ありが18.7ポイント高くなっています。

図表 1-43 固いものの食べにくさ



図表 1-44 固いものの食べにくさ【認定状況別】

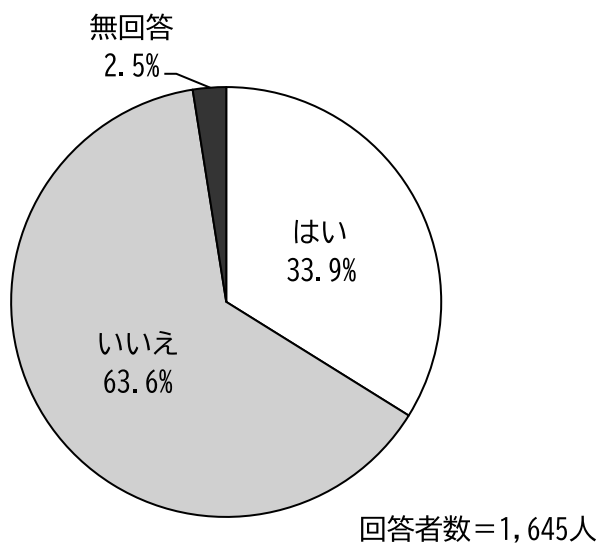


### (3) むせること

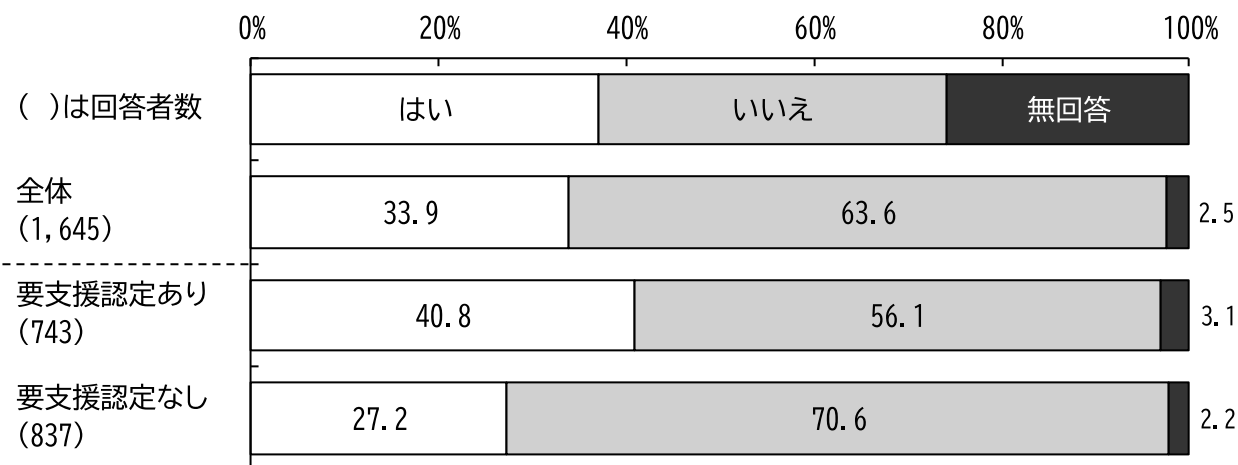
問3 (3) お茶や汁物等でむせることがありますか (1つを選択)

むせることがあるかについては、全体では「はい」33.9%、「いいえ」63.6%となっています。  
 要支援認定ありでは、「はい」40.8%、「いいえ」56.1%となっています。  
 要支援認定なしでは、「はい」27.2%、「いいえ」70.6%となっています。

図表 1-45 むせること



図表 1-46 むせること【認定状況別】



#### (4) 口の渇き

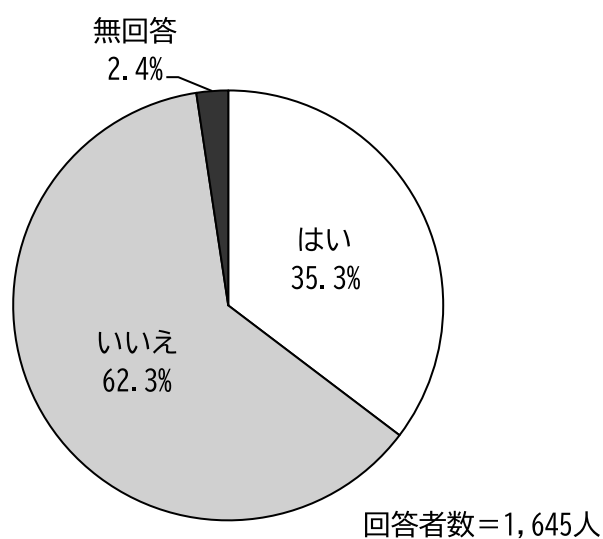
問3 (4) 口の渇きが気になりますか (1つを選択)

口の渇きが気になるかについては、全体では「はい」35.3%、「いいえ」62.3%となっています。

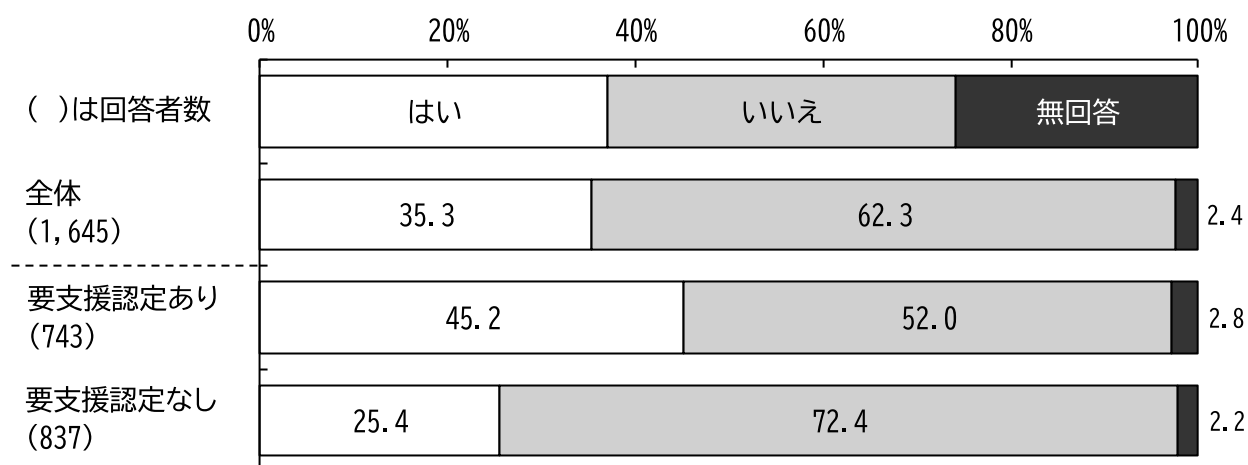
要支援認定ありでは、「はい」45.2%、「いいえ」52.0%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」25.4%、「いいえ」72.4%となっています。

図表 1-47 口の渇き



図表 1-48 口の渇き【認定状況別】



## (5) 毎日の歯磨き

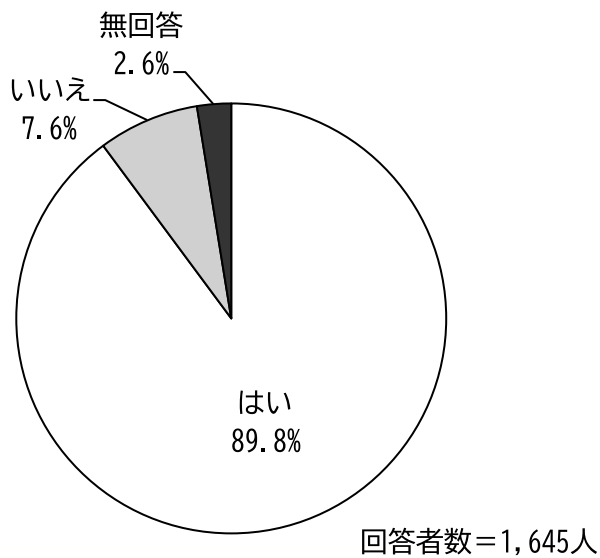
問3 (5) 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか (1つを選択)

毎日の歯磨きをしているかについては、全体では「はい」89.8%、「いいえ」7.6%となっています。

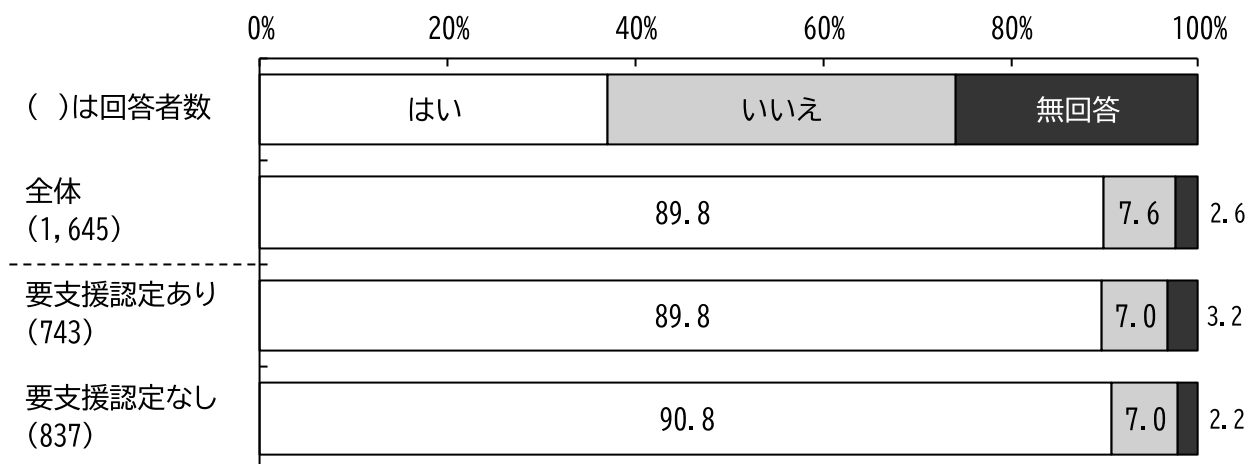
要支援認定ありでは、「はい」89.8%、「いいえ」7.0%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」90.8%、「いいえ」7.0%となっています。

図表 1-49 毎日の歯磨き



図表 1-50 毎日の歯磨き【認定状況別】



## (6) 歯の数

問3 (6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

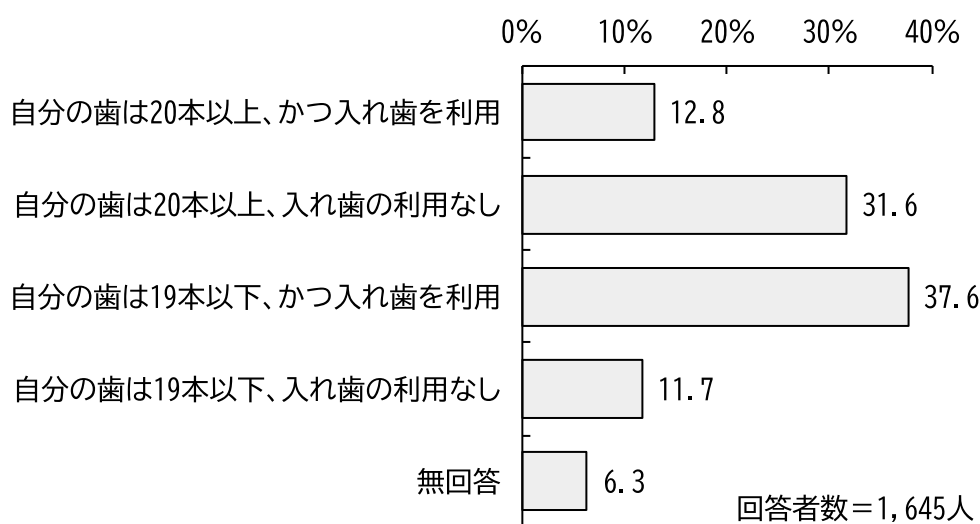
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)(1つを選択)

歯の数については、全体では「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」37.6%が最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」31.6%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」12.8%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」11.7%となっています。

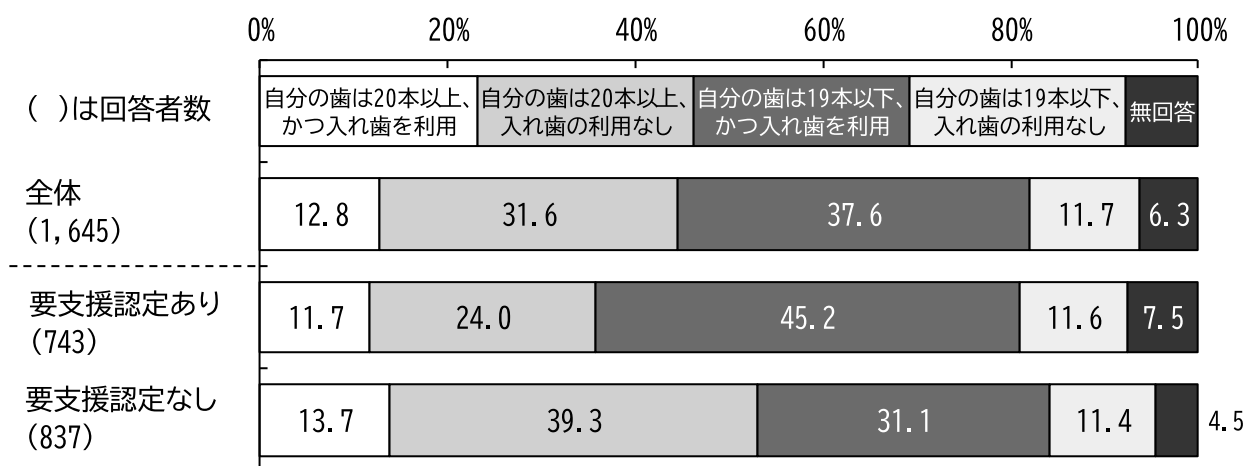
要支援認定ありでは、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」45.2%が最も高くなっています。

要支援認定なしでは、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」39.3%、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」31.1%となっています。

図表 1-51 歯の数



図表 1-52 歯の数【認定状況別】

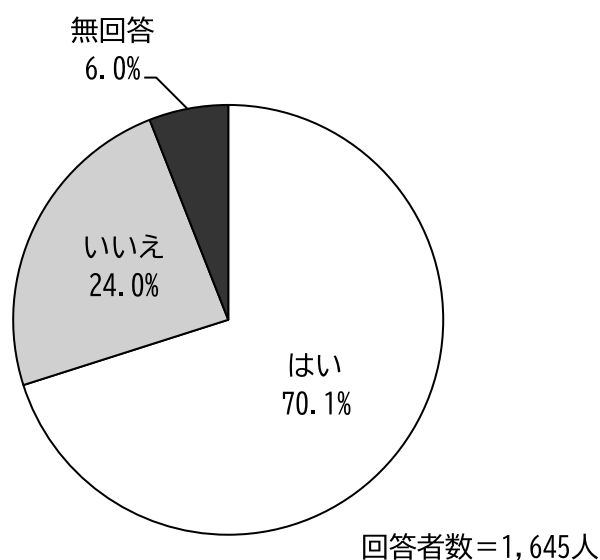


① 噛み合わせの良さ

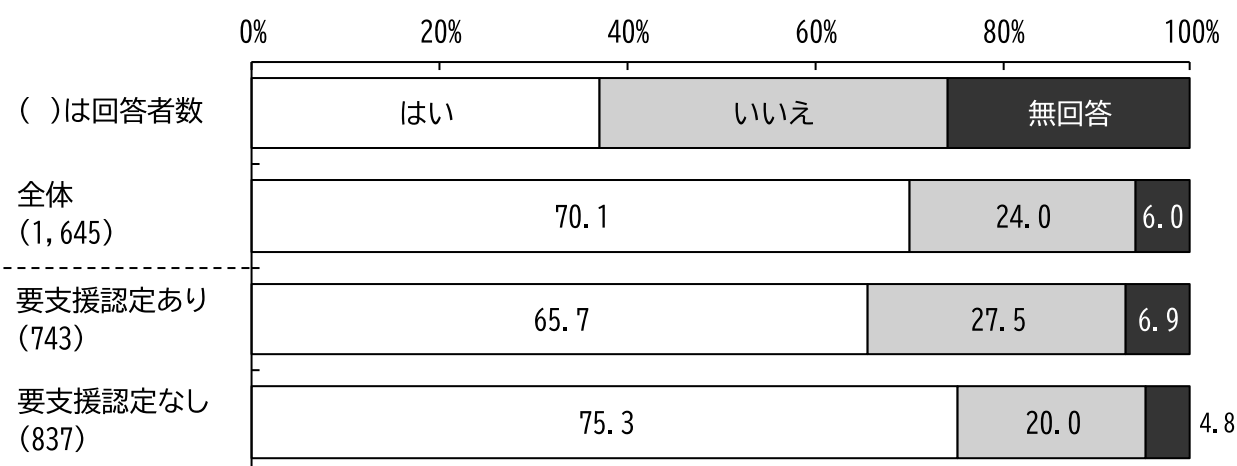
問3 (6) ①噛み合わせは良いですか (1つを選択)

噛み合わせが良いかについては、全体では「はい」70.1%、「いいえ」24.0%となっています。  
 要支援認定ありでは、「はい」65.7%、「いいえ」27.5%となっています。  
 要支援認定なしでは、「はい」75.3%、「いいえ」20.0%となっています。

図表 1-53 噛み合わせの良さ



図表 1-54 噛み合わせの良さ【認定状況別】





## ② 毎日の入れ歯の手入れ

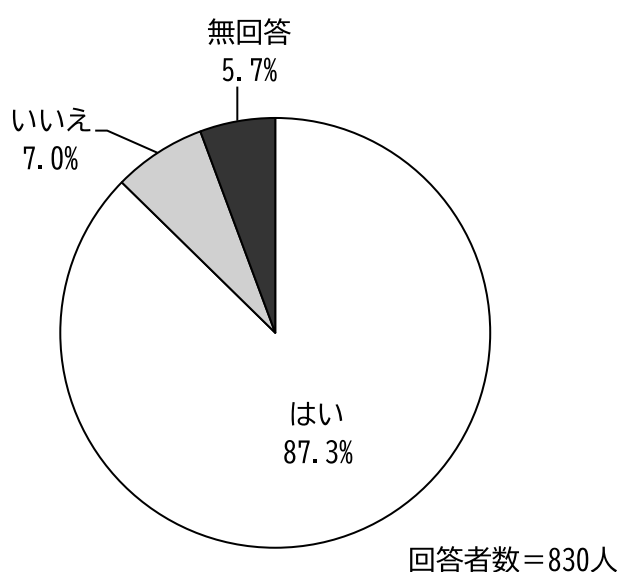
問3(6)②【(6)で「1.自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」  
「3.自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】  
毎日入れ歯の手入れをしていますか(1つを選択)

入れ歯を利用している人に、毎日入れ歯の手入れをしているかをたずねたところ、全体では「はい」87.3%、「いいえ」7.0%となっています。

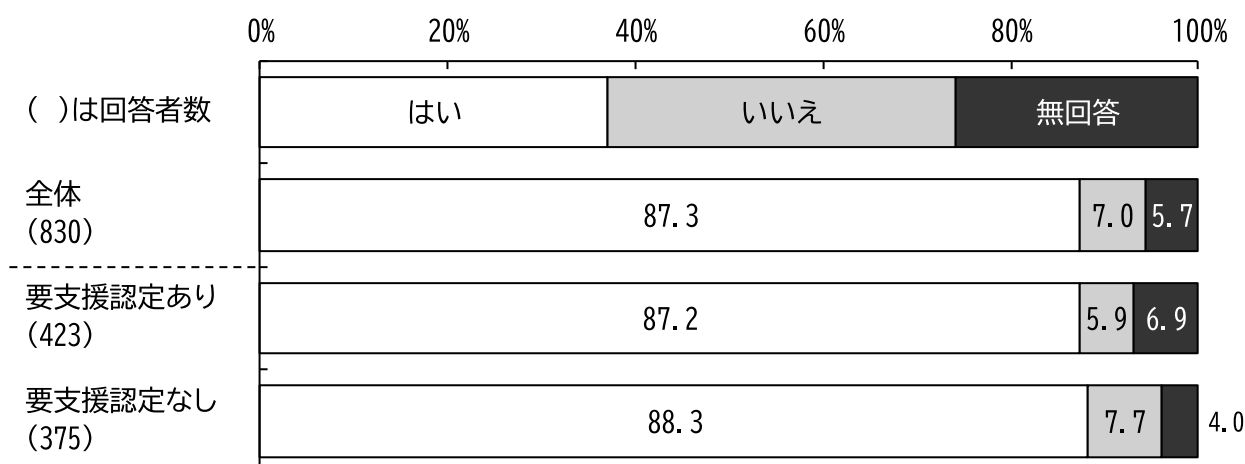
要支援認定ありでは、「はい」87.2%、「いいえ」5.9%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」88.3%、「いいえ」7.7%となっています。

図表 1-55 毎日の入れ歯の手入れ



図表 1-56 毎日の入れ歯の手入れ【認定状況別】



## (7) 体重の減少

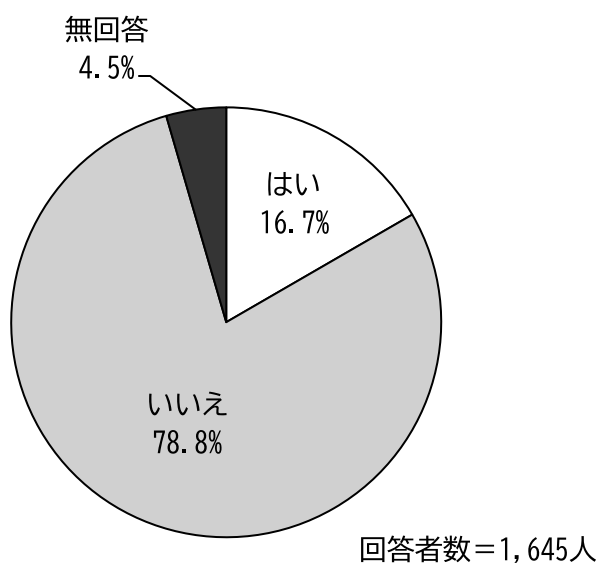
問3 (7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか(1つを選択)

6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについては、全体では「はい」16.7%、「いいえ」78.8%となっています。

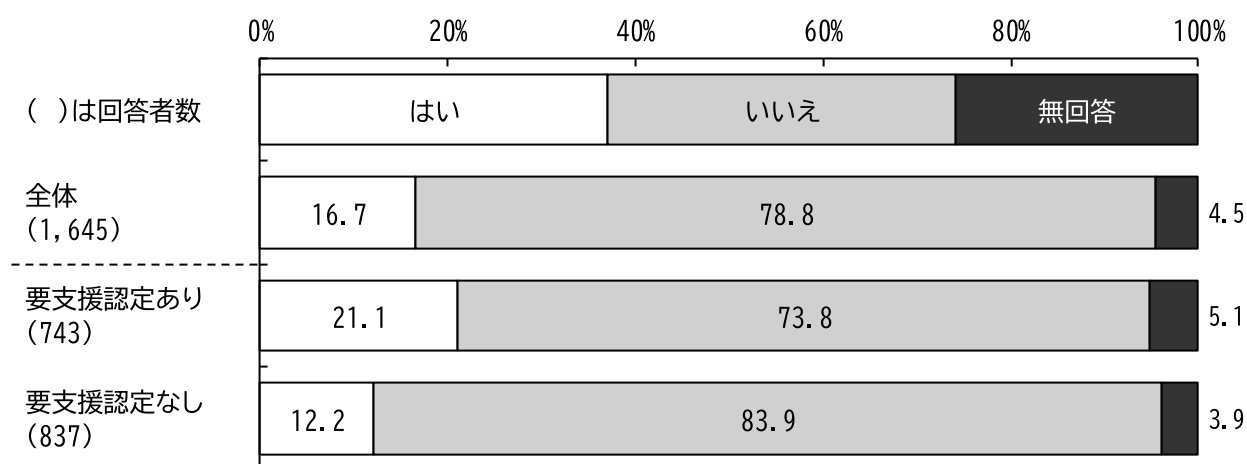
要支援認定ありでは、「はい」21.1%、「いいえ」73.8%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」12.2%、「いいえ」83.9%となっています。

図表 1-57 体重の減少



図表 1-58 体重の減少【認定状況別】



## (8) 食事をともしる機会

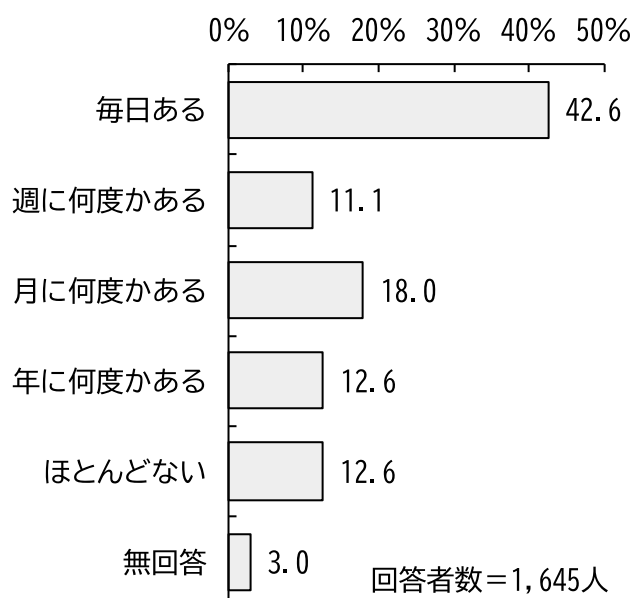
問3 (8) どなたかと食事をともしる機会がありますか (1つを選択)

食事をともしる機会があるかについては、全体では「毎日ある」42.6%が最も高く、次いで「月に何度かある」18.0%、「年に何度かある」「ほとんどない」がともに12.6%、「週に何度かある」11.1%となっています。

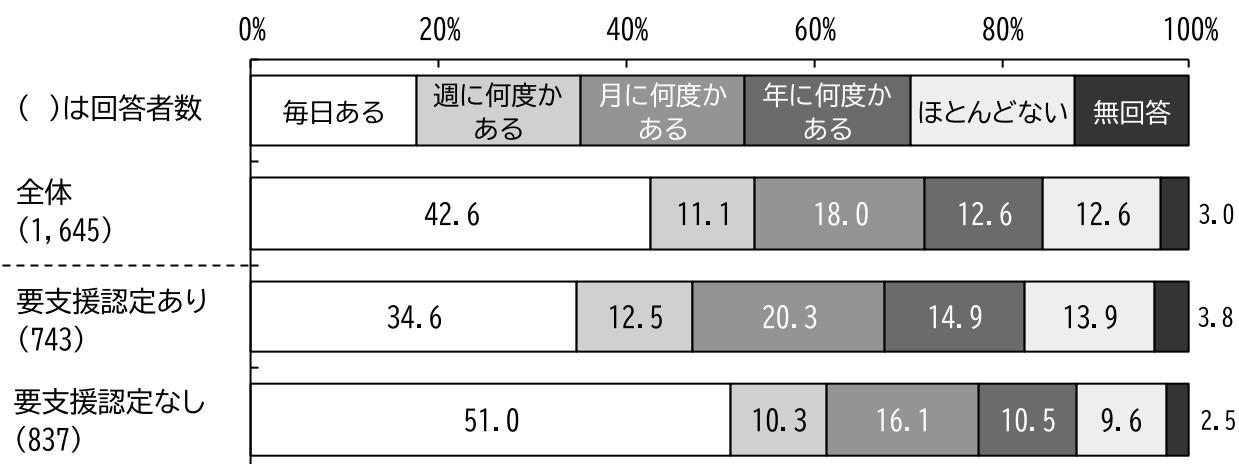
要支援認定ありでは、「毎日ある」34.6%が最も高く、次いで「月に何度かある」20.3%、「年に何度かある」14.9%が続いています。

要支援認定なしでは、「毎日ある」51.0%が最も高く、次いで「月に何度かある」16.1%、「年に何度かある」10.5%が続いています。

図表 1-59 食事をともしる機会



図表 1-60 食事をともしる機会【認定状況別】



## 5 毎日の生活

### (1) 認知機能

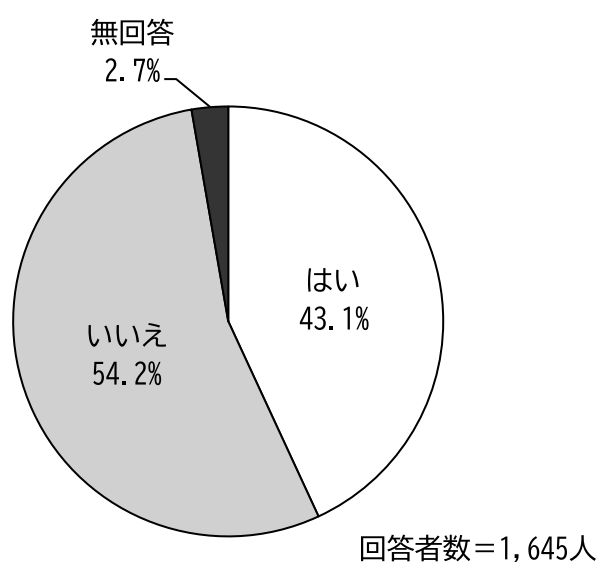
問4 (1) もの忘れが多いと感じますか (1つを選択)

もの忘れが多いと感じるかについては、全体では「はい」43.1%、「いいえ」54.2%となっています。

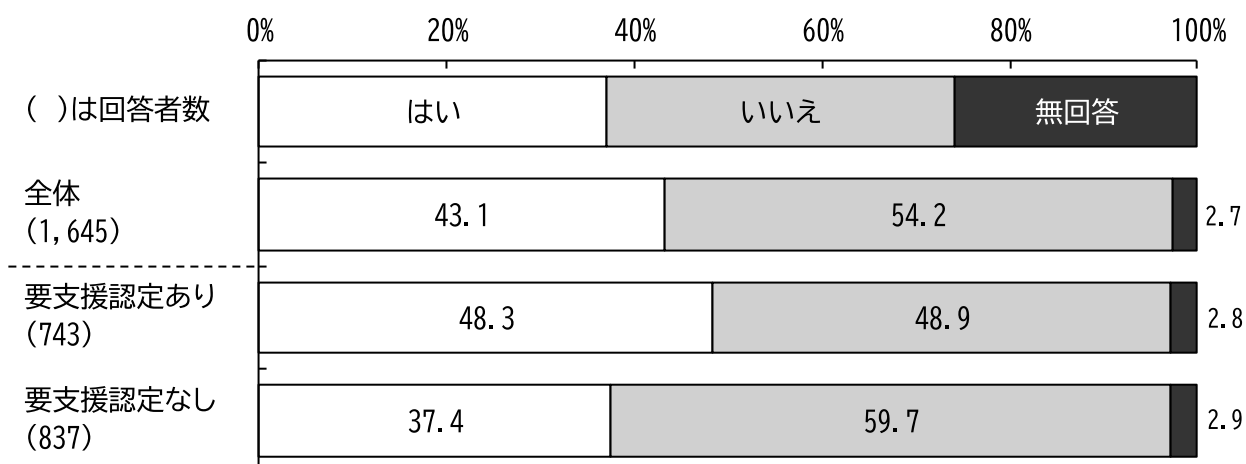
要支援認定ありでは、「はい」48.3%、「いいえ」48.9%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」37.4%、「いいえ」59.7%となっています。

図表 1-61 認知機能



図表 1-62 認知機能【認定状況別】



## (2) 電話をかける

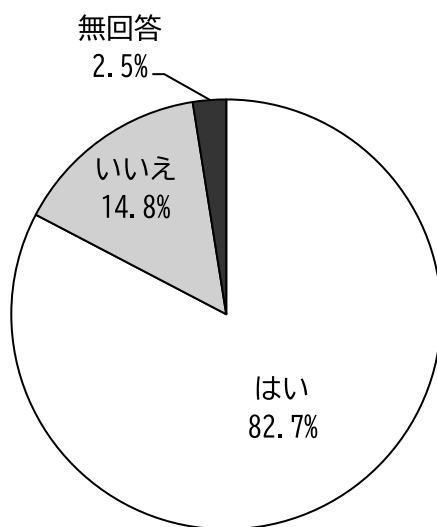
問4(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか(1つを選択)

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについては、全体では「はい」82.7%、「いいえ」14.8%となっています。

要支援認定ありでは、「はい」80.6%、「いいえ」16.6%となっています。

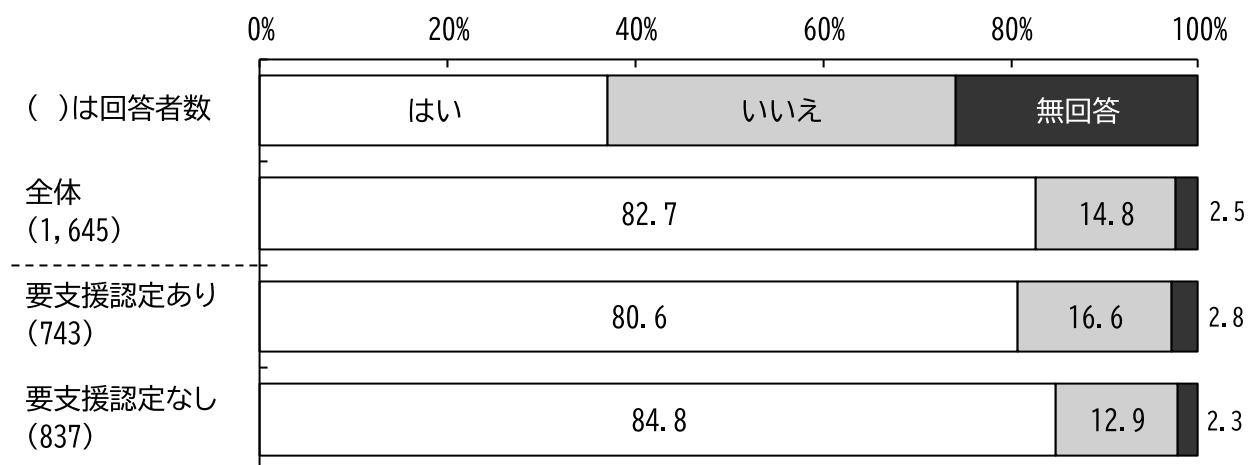
要支援認定なしでは、「はい」84.8%、「いいえ」12.9%となっています。

図表 1-63 電話をかける



回答者数=1,645人

図表 1-64 電話をかける【認定状況別】



### (3) 日付がわからない時がある

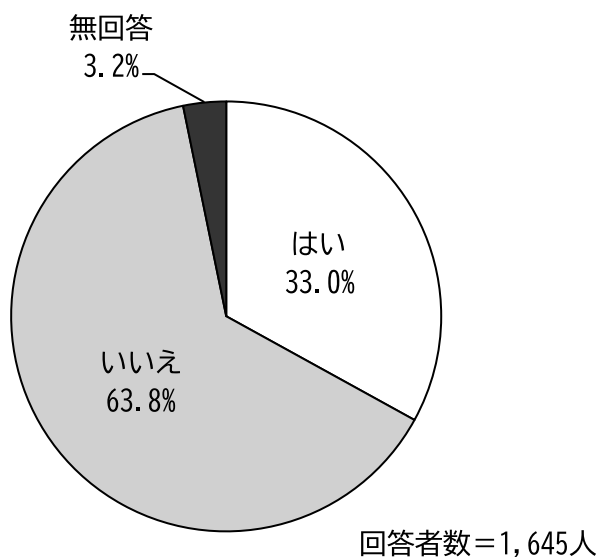
問4 (3) 今日が何月何日かわからない時がありますか (1つを選択)

日付がわからない時があるかについては、全体では「はい」33.0%、「いいえ」63.8%となっています。

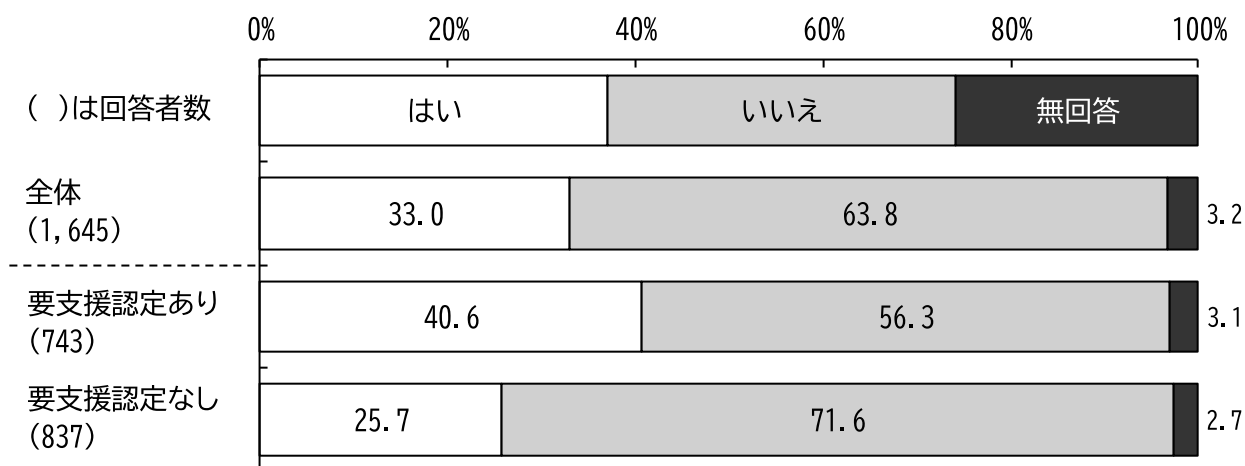
要支援認定ありでは、「はい」40.6%、「いいえ」56.3%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」25.7%、「いいえ」71.6%となっています。

図表 1-65 日付がわからない時がある



図表 1-66 日付がわからない時がある【認定状況別】



#### (4) 1人での外出

問4 (4) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)

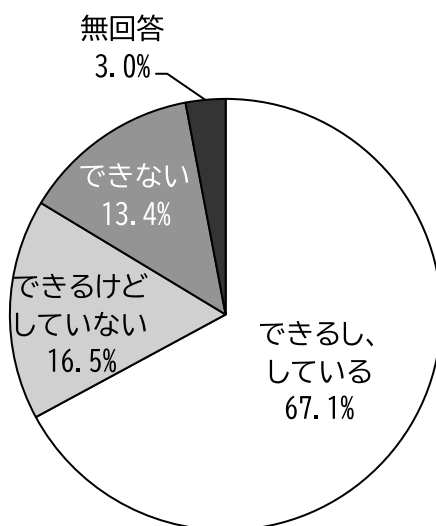
(1つを選択)

バスや電車を使って1人で外出しているかについては、全体では「できるし、している」67.1%が最も高く、次いで「できるけどしていない」16.5%、「できない」13.4%となっています。

要支援認定ありでは、「できるし、している」51.3%、「できない」23.8%、「できるけどしていない」21.5%となっています。

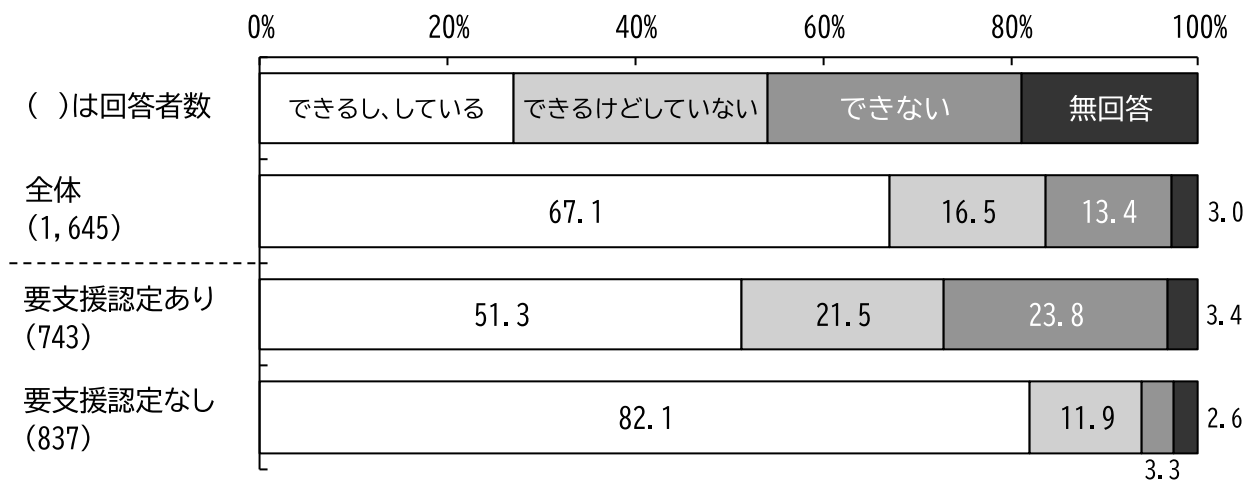
要支援認定なしでは、「できるし、している」82.1%、「できるけどしていない」11.9%、「できない」3.3%となっています。

図表 1-67 1人での外出



回答者数=1,645人

図表 1-68 1人での外出【認定状況別】



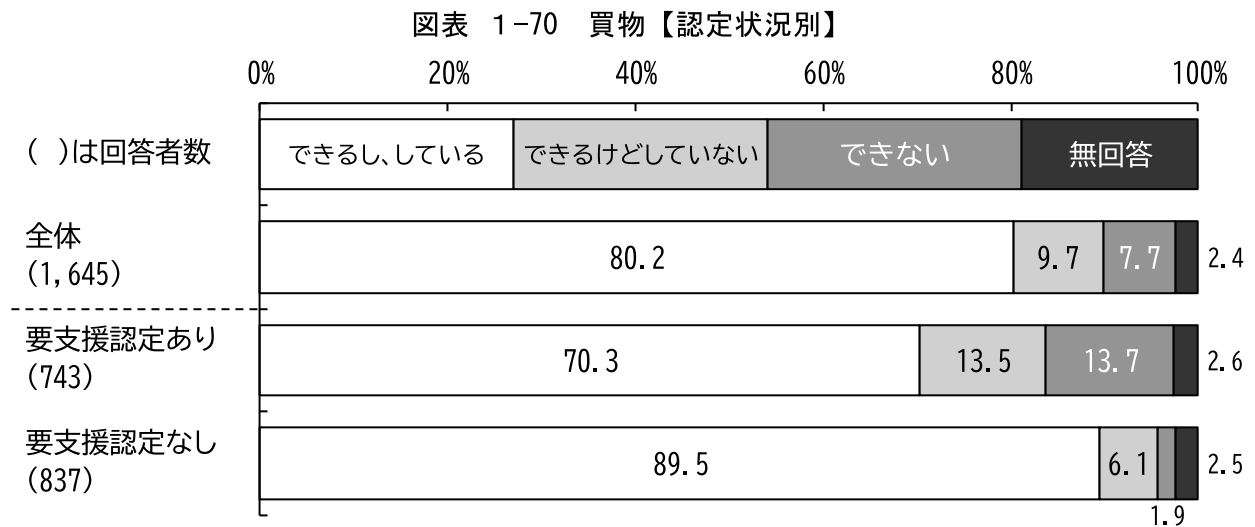
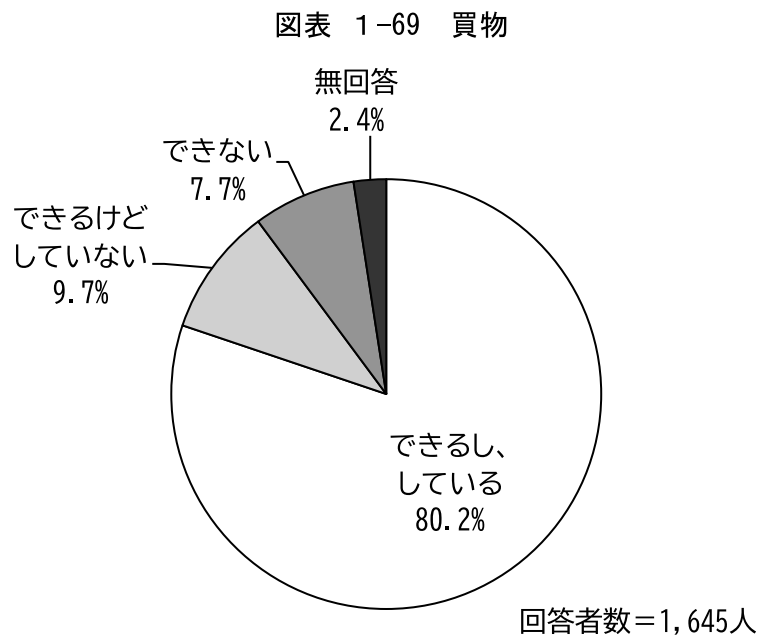
## (5) 買物

### 問4 (5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか(1つを選択)

自分で食品・日用品の買物をしているかについては、全体では「できるし、している」80.2%が最も高く、次いで「できるけどしていない」9.7%、「できない」7.7%となっています。

要支援認定ありでは、「できるし、している」70.3%、「できない」13.7%、「できるけどしていない」13.5%となっています。

要支援認定なしでは、「できるし、している」89.5%、「できるけどしていない」6.1%、「できない」1.9%となっています。





## (6) 食事の用意

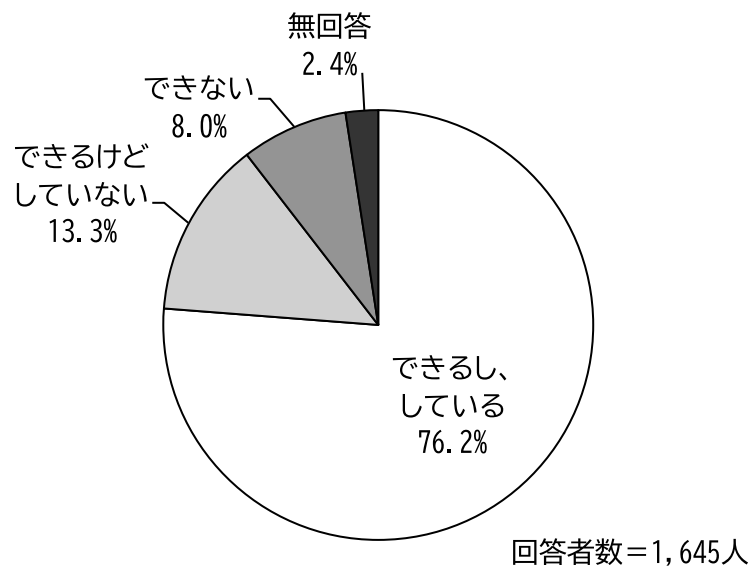
### 問4 (6) 自分で食事の用意をしていますか (1つを選択)

自分で食事の用意をしているかについては、全体では「できるし、している」76.2%が最も高く、「できるけどしていない」13.3%、「できない」8.0%となっています。

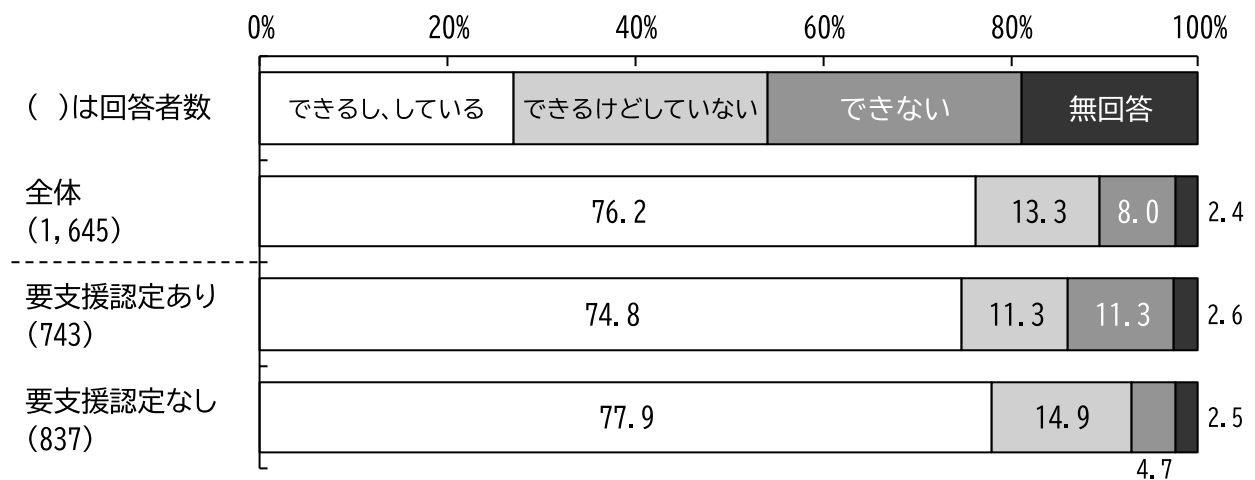
要支援認定ありでは、「できるし、している」74.8%、「できるけどしていない」「できない」がともに11.3%となっています。

要支援認定なしでは、「できるし、している」77.9%、「できるけどしていない」14.9%、「できない」4.7%となっています。

図表 1-71 食事の用意



図表 1-72 食事の用意【認定状況別】



## (7) 請求書の支払い

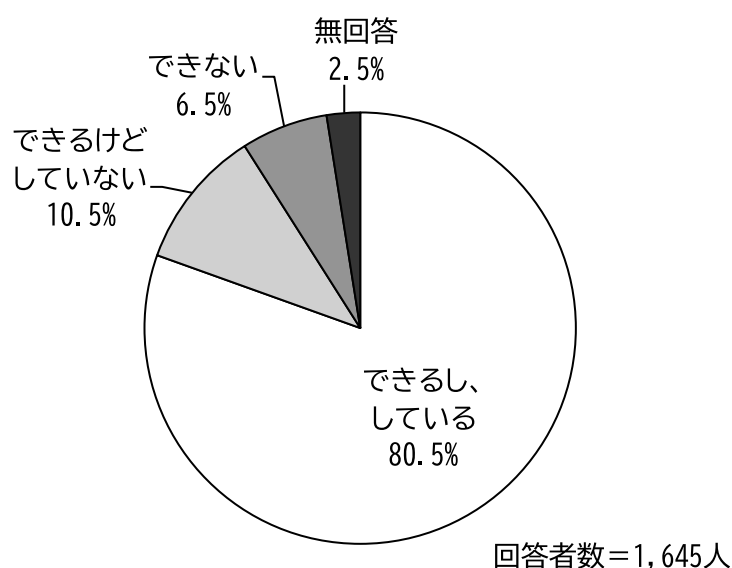
問4 (7) 自分で請求書の支払いをしていますか (1つを選択)

自分で請求書の支払いをしているかについては、全体では「できるし、している」80.5%が最も高く、次いで「できるけどしていない」10.5%、「できない」6.5%となっています。

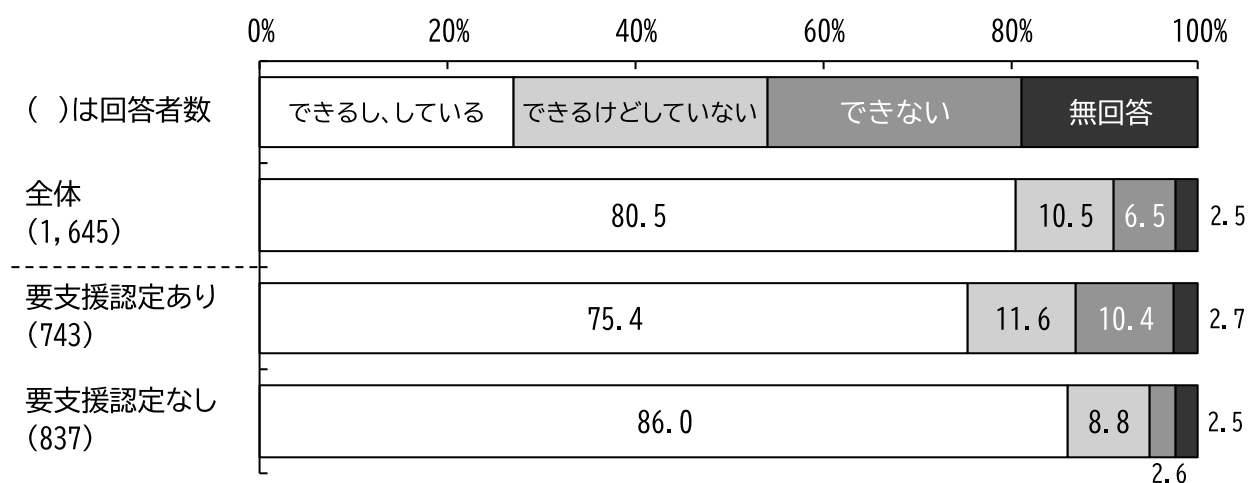
要支援認定ありでは、「できるし、している」75.4%、「できるけどしていない」11.6%、「できない」10.4%となっています。

要支援認定なしでは、「できるし、している」86.0%、「できるけどしていない」8.8%、「できない」2.6%となっています。

図表 1-73 請求書の支払い



図表 1-74 請求書の支払い【認定状況別】



## (8) 預貯金の出し入れ

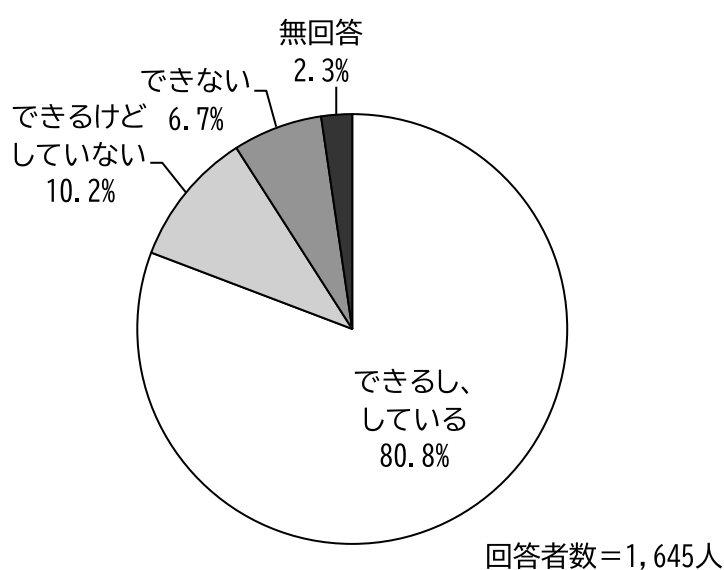
### 問4 (8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (1つを選択)

自分で預貯金の出し入れをしているかについては、全体では「できるし、している」80.8%が最も高く、次いで「できるけどしていない」10.2%、「できない」6.7%となっています。

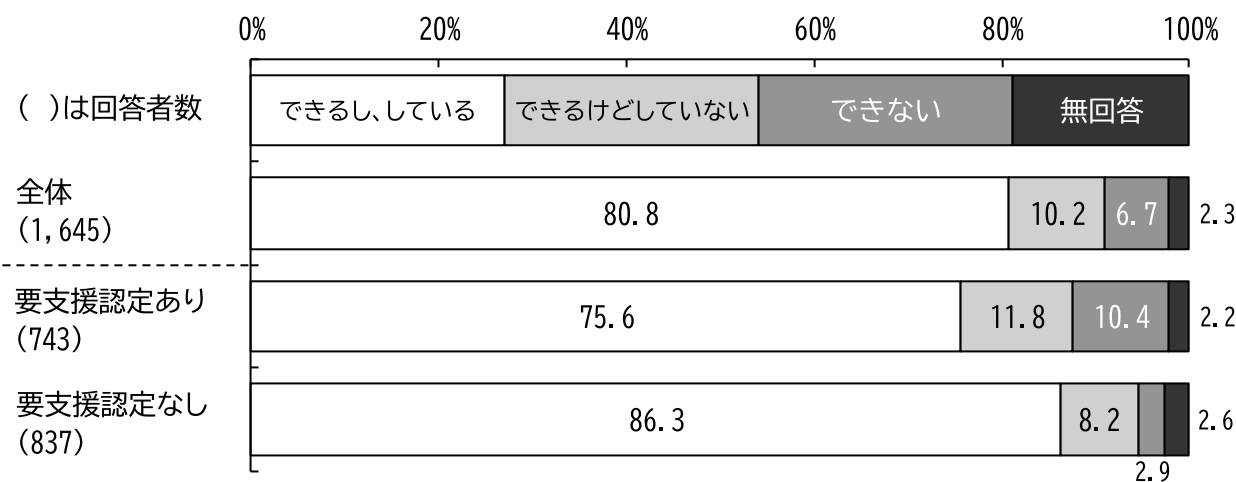
要支援認定ありでは、「できるし、している」75.6%、「できるけどしていない」11.8%、「できない」10.4%となっています。

要支援認定なしでは、「できるし、している」86.3%、「できるけどしていない」8.2%、「できない」2.9%となっています。

図表 1-75 預貯金の出し入れ



図表 1-76 預貯金の出し入れ【認定状況別】



## (9) 年金等の書類が書ける

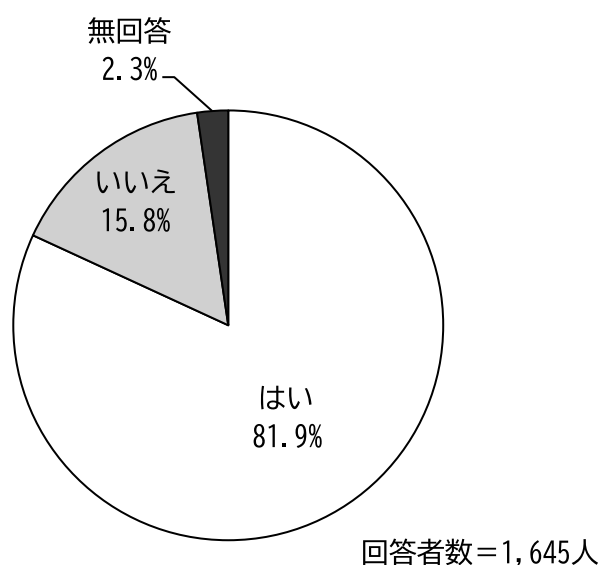
問4 (9) 年金等の書類(区役所や病院等に出す書類)が書けますか(1つを選択)

年金等の書類(区役所や病院等に出す書類)が書けるかについては、全体では「はい」81.9%、「いいえ」15.8%となっています。

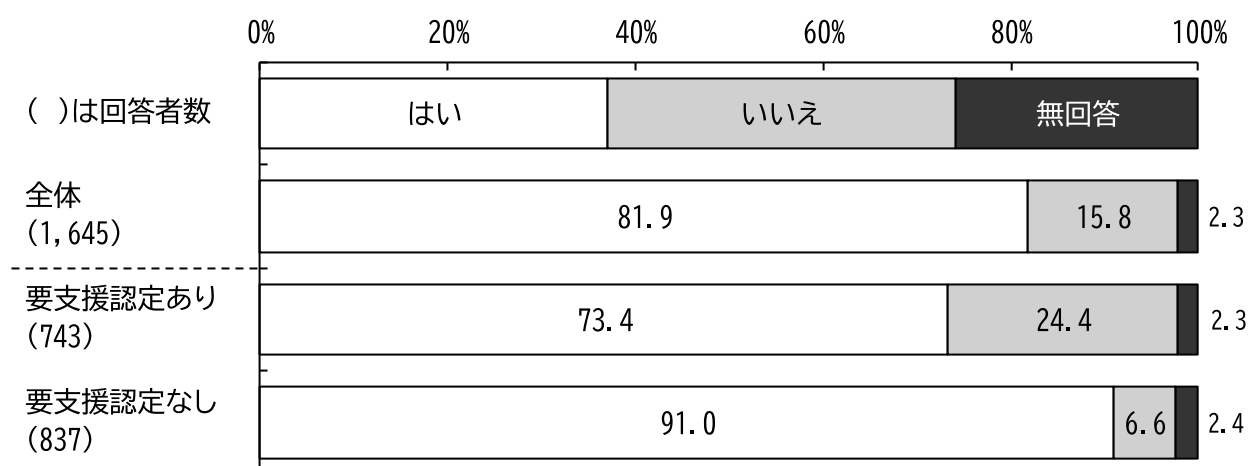
要支援認定ありでは、「はい」73.4%、「いいえ」24.4%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」91.0%、「いいえ」6.6%となっています。

図表 1-77 年金等の書類が書ける



図表 1-78 年金等の書類が書ける【認定状況別】

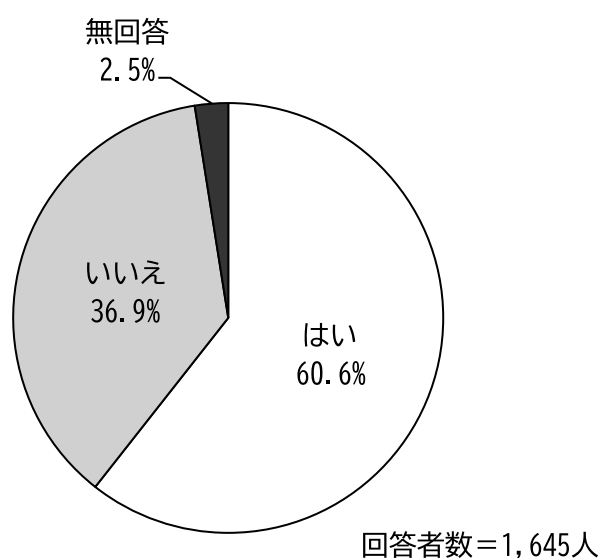


## (10) 新聞を読む

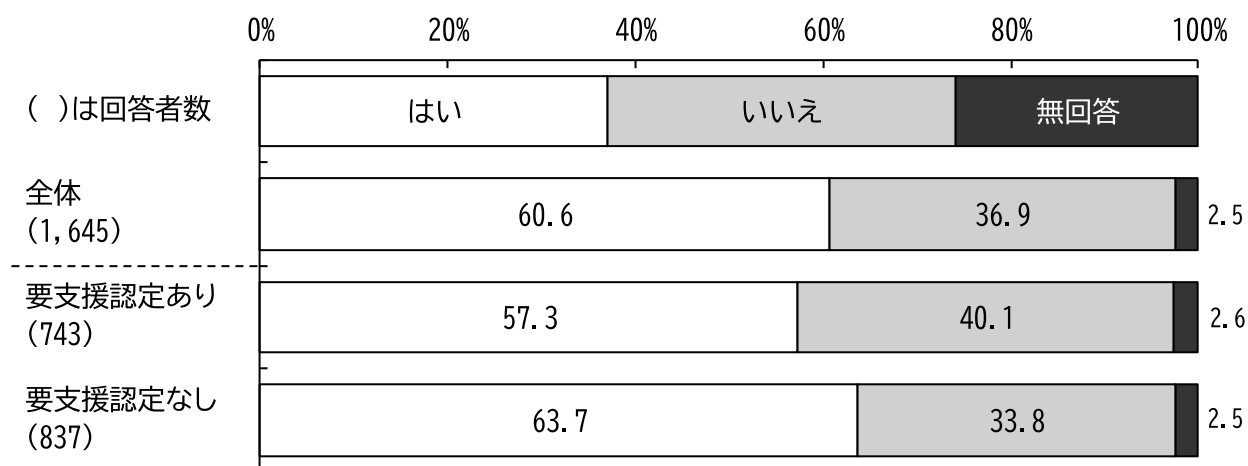
### 問4 (10) 新聞を読んでいますか (1つを選択)

新聞を読むかについては、全体では「はい」60.6%、「いいえ」36.9%となっています。  
 要支援認定ありでは、「はい」57.3%、「いいえ」40.1%となっています。  
 要支援認定なしでは、「はい」63.7%、「いいえ」33.8%となっています。

図表 1-79 新聞を読む



図表 1-80 新聞を読む【認定状況別】

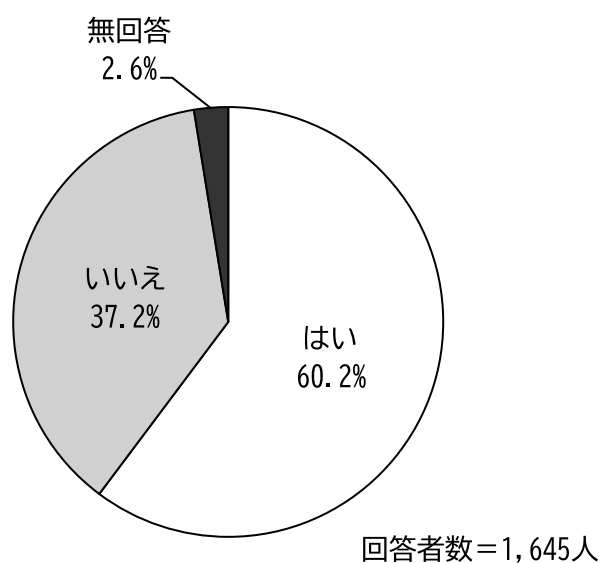


## (11) 本や雑誌を読む

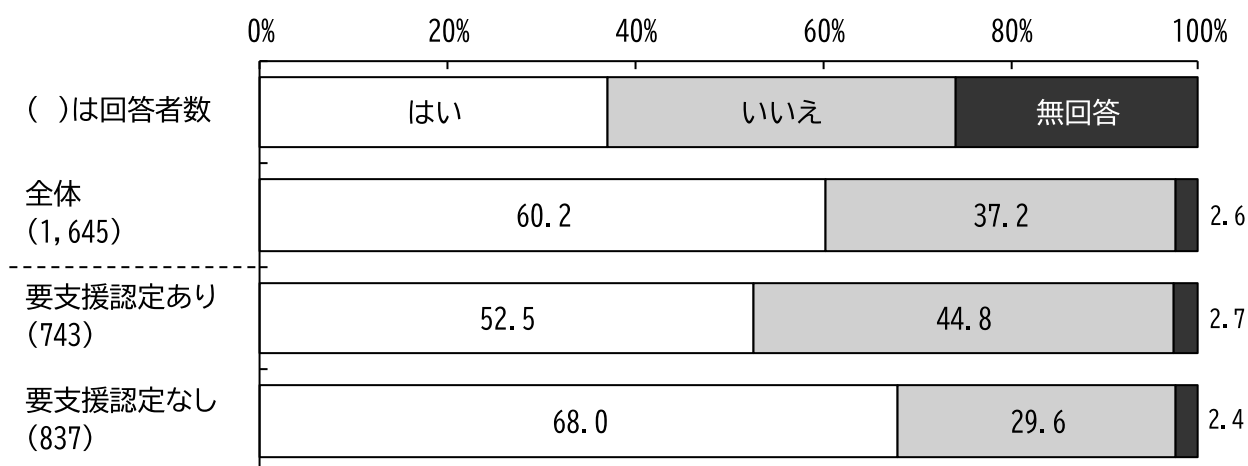
問4 (11) 本や雑誌を読んでいますか (1つを選択)

本や雑誌を読むかについては、全体では「はい」60.2%、「いいえ」37.2%となっています。  
 要支援認定ありでは、「はい」52.5%、「いいえ」44.8%となっています。  
 要支援認定なしでは、「はい」68.0%、「いいえ」29.6%となっています。

図表 1-81 本や雑誌を読む



図表 1-82 本や雑誌を読む【認定状況別】



## (12) 健康についての記事・番組への関心

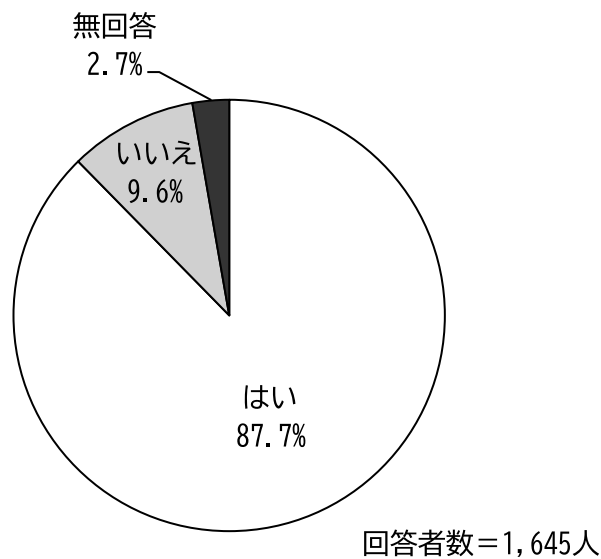
問4 (12) 健康についての記事や番組に関心がありますか (1つを選択)

健康についての記事・番組に関心があるかについては、全体では「はい」87.7%、「いいえ」9.6%となっています。

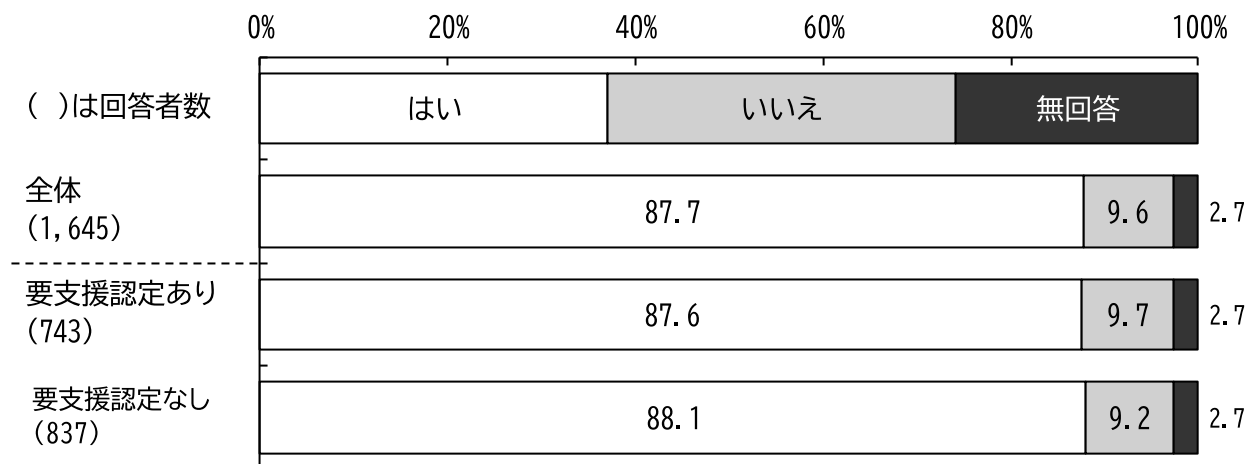
要支援認定ありでは、「はい」87.6%、「いいえ」9.7%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」88.1%、「いいえ」9.2%となっています。

図表 1-83 健康についての記事・番組への関心



図表 1-84 健康についての記事・番組への関心【認定状況別】



### (13) 友人の家を訪ねているか

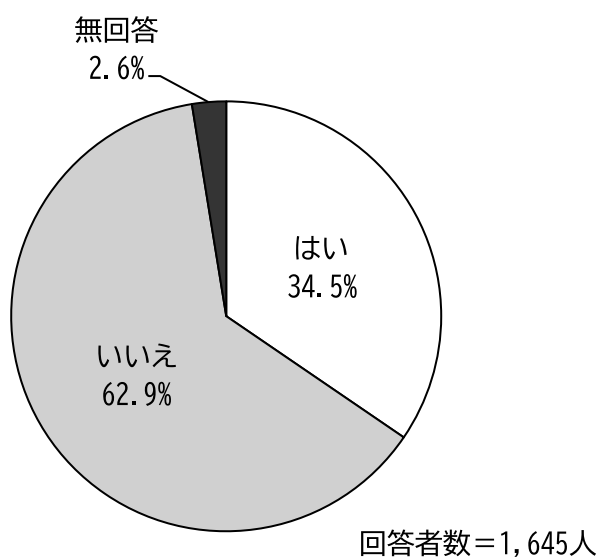
問4 (13) 友人の家を訪ねていますか (1つを選択)

友人の家を訪ねているかについては、全体では「はい」34.5%、「いいえ」62.9%となっています。

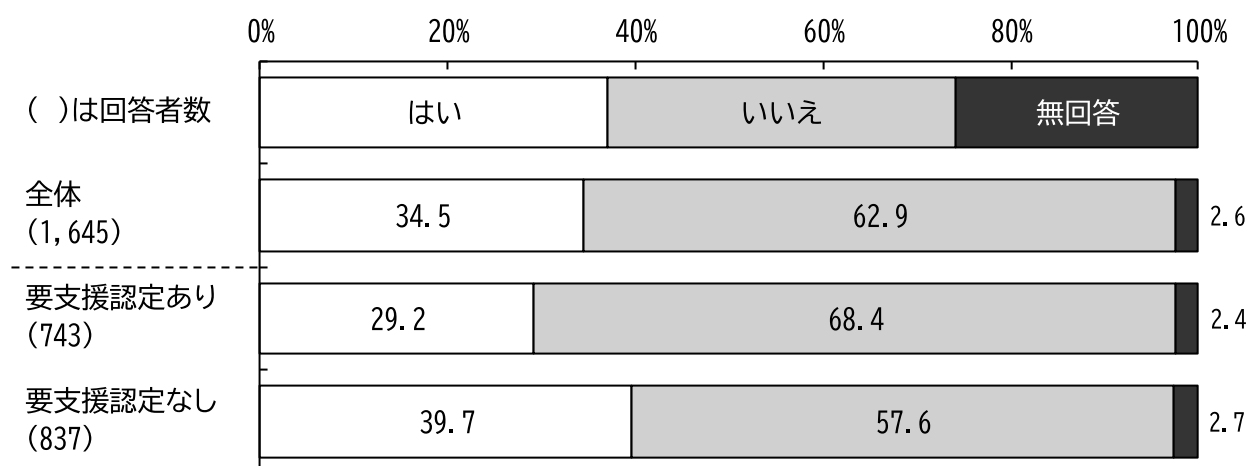
要支援認定ありでは、「はい」29.2%、「いいえ」68.4%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」39.7%、「いいえ」57.6%となっています。

図表 1-85 友人の家を訪ねているか



図表 1-86 友人の家を訪ねているか【認定状況別】





## (14) 家族や友人の相談にのるか

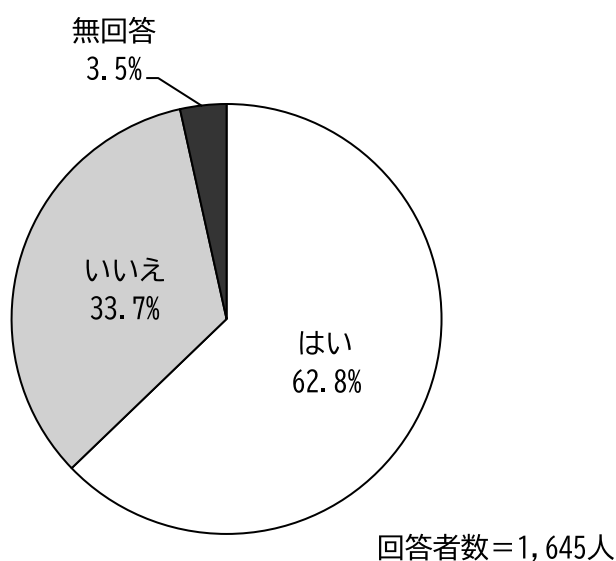
問4 (14) 家族や友人の相談にのっていますか (1つを選択)

家族や友人の相談にのるかについては、全体では「はい」62.8%、「いいえ」33.7%となっています。

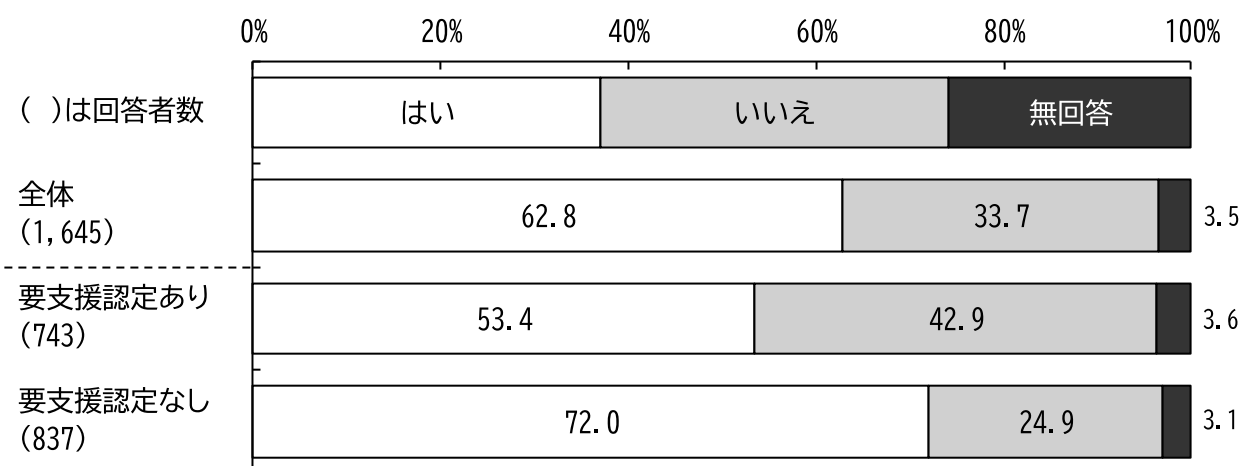
要支援認定ありでは、「はい」53.4%、「いいえ」42.9%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」72.0%、「いいえ」24.9%となっています。

図表 1-87 家族や友人の相談にのるか



図表 1-88 家族や友人の相談にのるか【認定状況別】



## (15) 病人を見舞うことができる

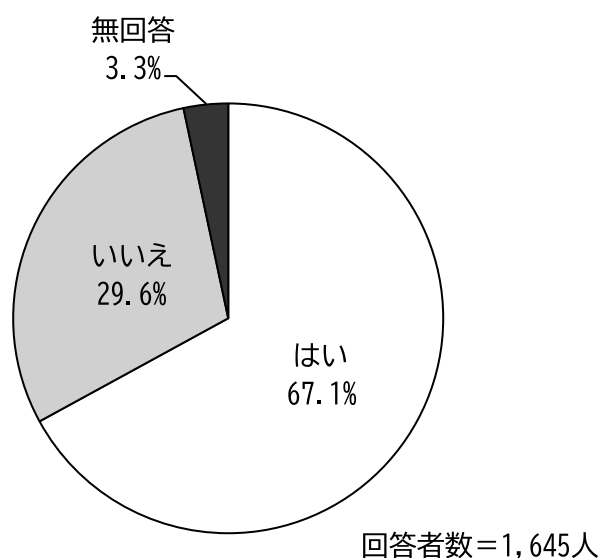
問4 (15) 病人を見舞うことができますか (1つを選択)

病人を見舞うことができるかについては、全体では「はい」67.1%、「いいえ」29.6%となっています。

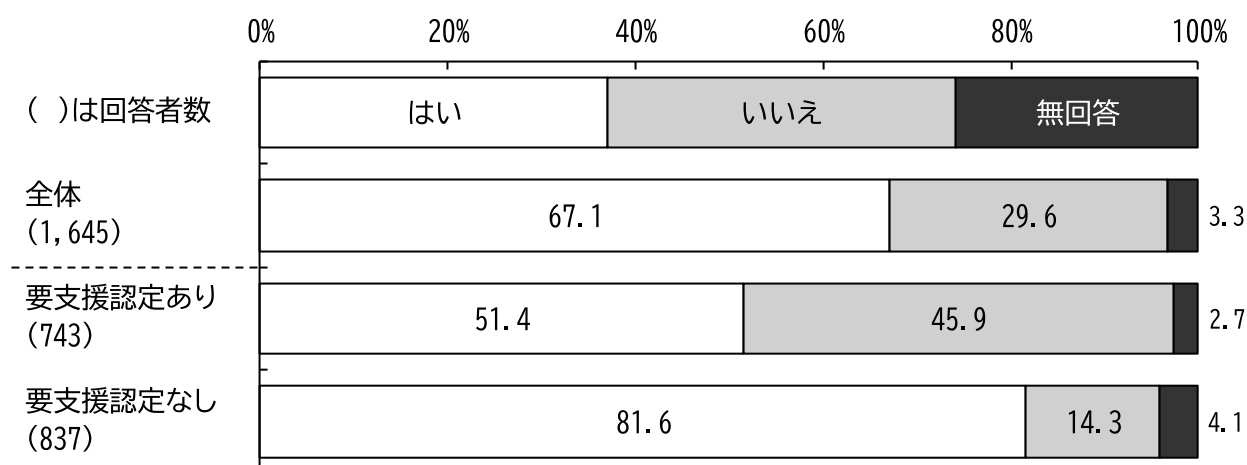
要支援認定ありでは、「はい」51.4%、「いいえ」45.9%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」81.6%、「いいえ」14.3%となっています。

図表 1-89 病人を見舞うことができる



図表 1-90 病人を見舞うことができる【認定状況別】



## (16) 若い人への話しかけ

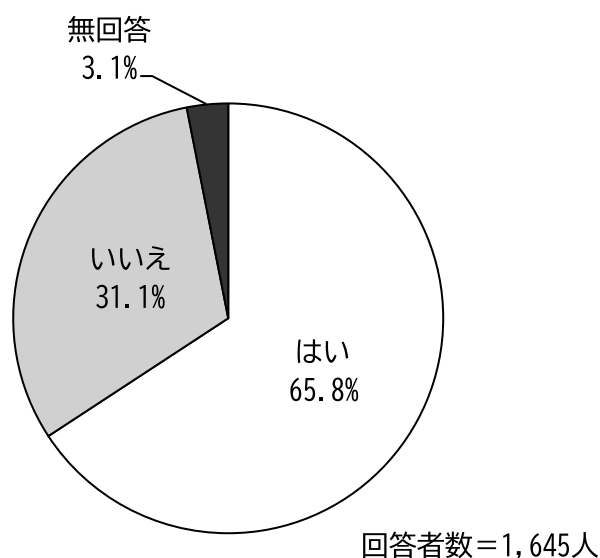
問4 (16) 若い人に自分から話しかけることがありますか (1つを選択)

若い人に自分から話しかけることがあるかについては、全体では「はい」65.8%、「いいえ」31.1%となっています。

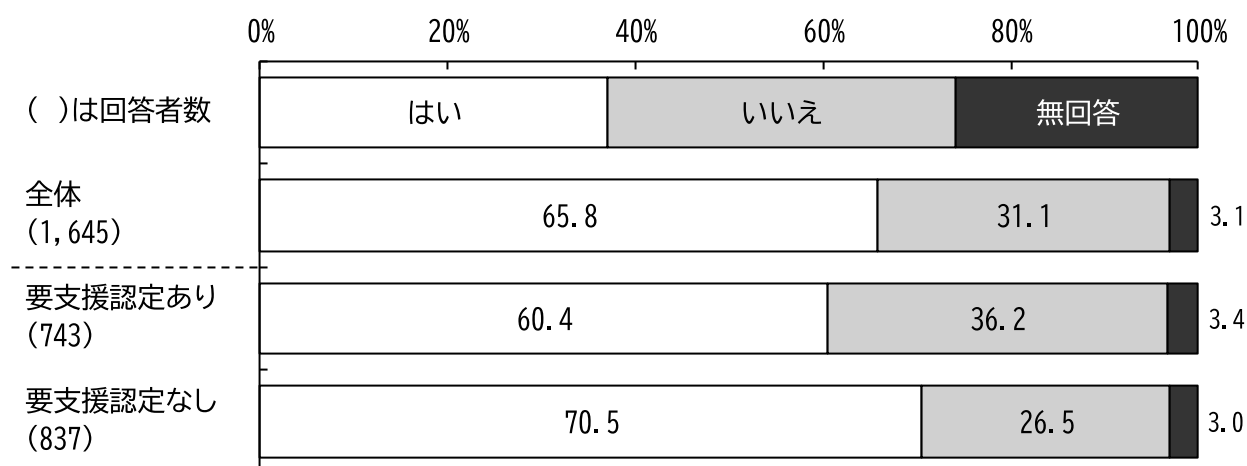
要支援認定ありでは、「はい」60.4%、「いいえ」36.2%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」70.5%、「いいえ」26.5%となっています。

図表 1-91 若い人への話しかけ



図表 1-92 若い人への話しかけ【認定状況別】



## (17) 趣味

### 問4 (17) 趣味はありますか (1つを選択・記述)

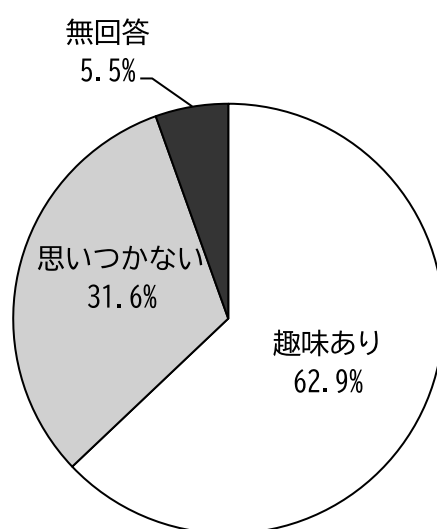
趣味はあるかについては、全体では「趣味あり」62.9%、「思いつかない」31.6%となっています。

要支援認定ありでは、「趣味あり」56.0%、「思いつかない」38.9%となっています。

要支援認定なしでは、「趣味あり」70.4%、「思いつかない」24.3%となっています。

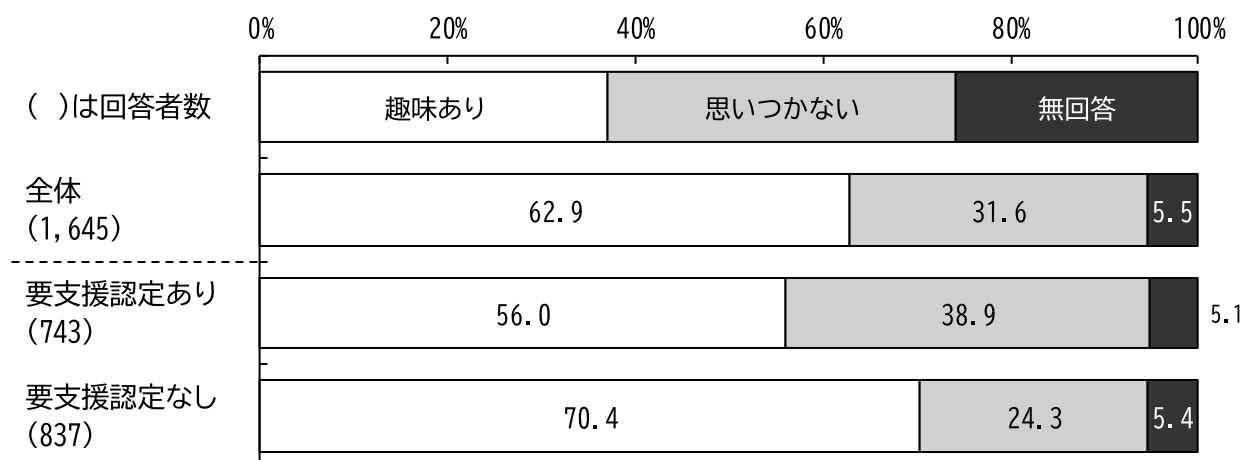
趣味の具体的内容については、図表1-95のとおりとなっています。

図表 1-93 趣味

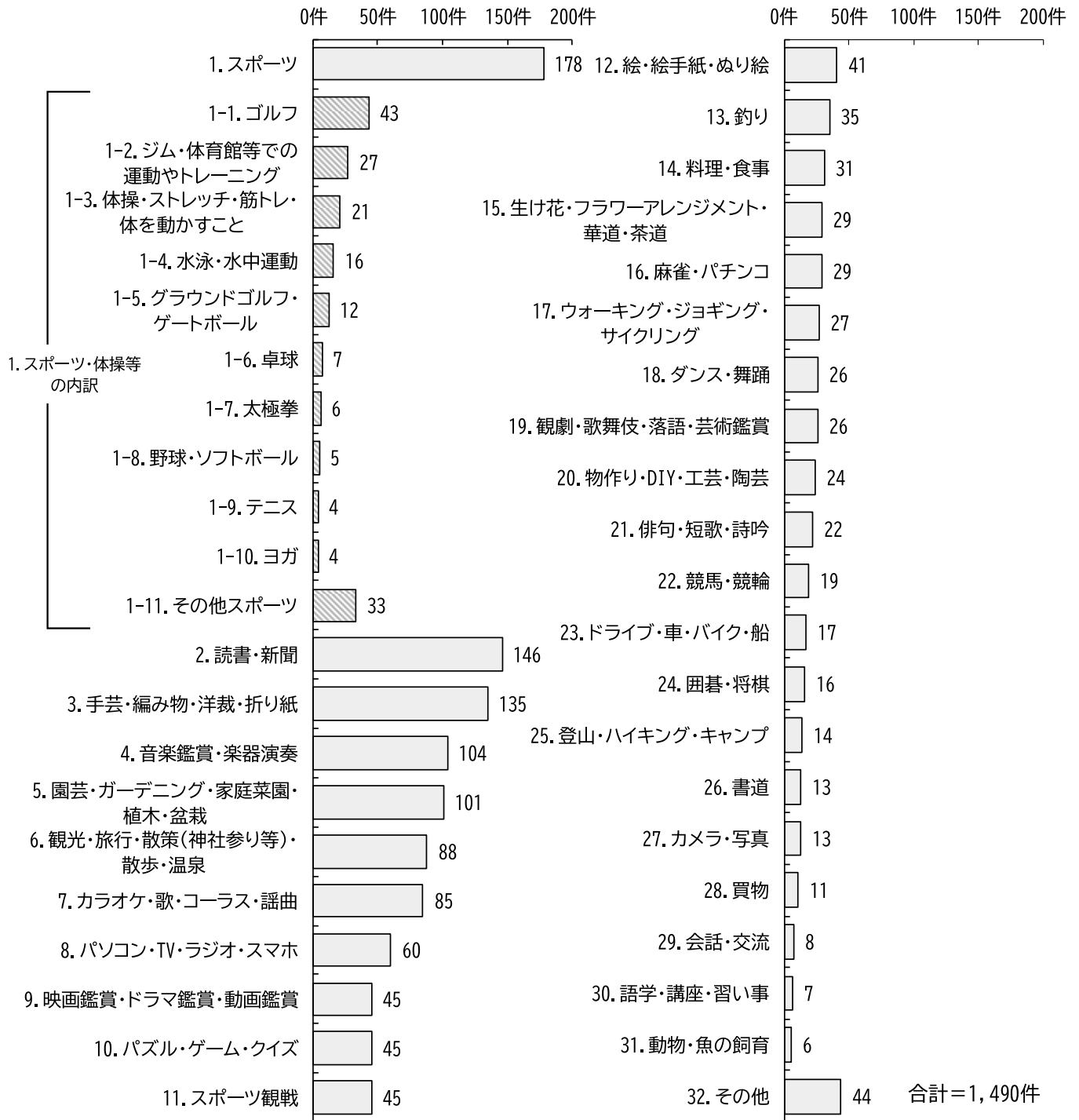


回答者数=1,645人

図表 1-94 趣味【認定状況別】



図表 1-95 趣味の具体的内容（複数回答）



## (18) 生きがい

### 問4 (18) 生きがいはありますか (1つを選択・記述)

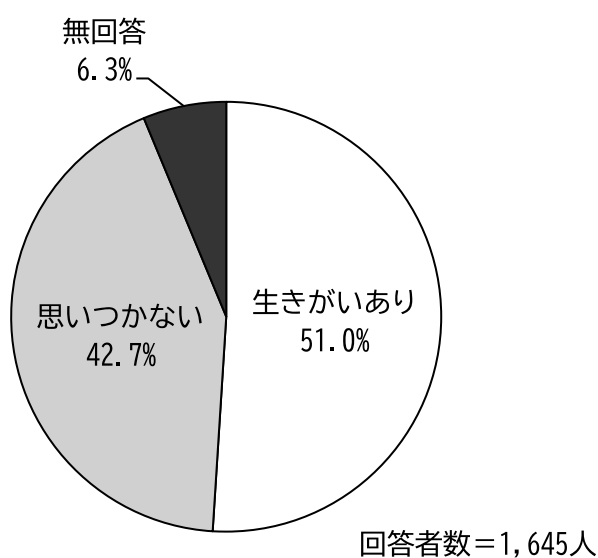
生きがいはあるかについては、全体では「生きがいあり」51.0%、「思いつかない」42.7%となっています。

要支援認定ありでは、「生きがいあり」44.1%、「思いつかない」49.3%となっています。

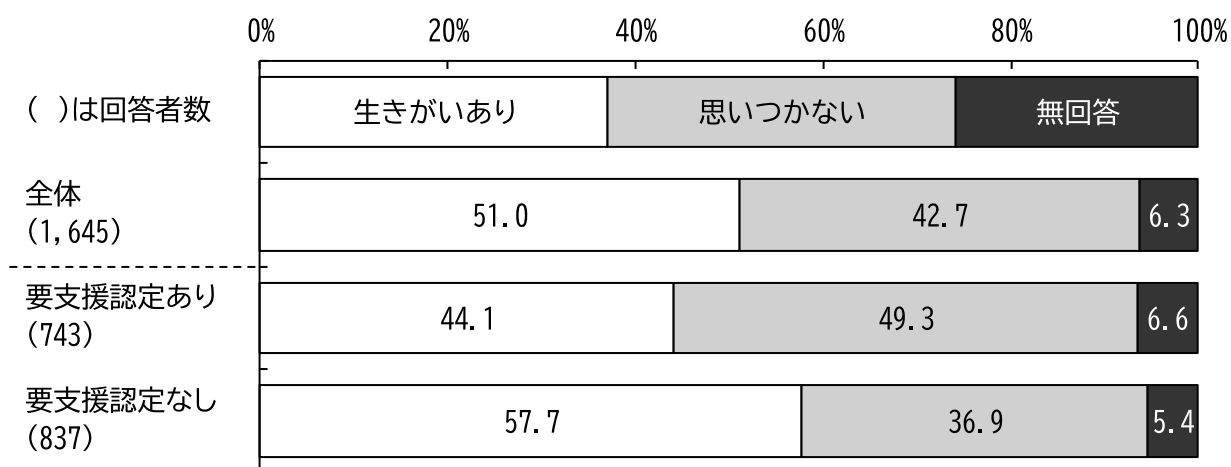
要支援認定なしでは、「生きがいあり」57.7%、「思いつかない」36.9%となっています。

生きがいの具体的内容は、図表1-98のとおりとなっています。

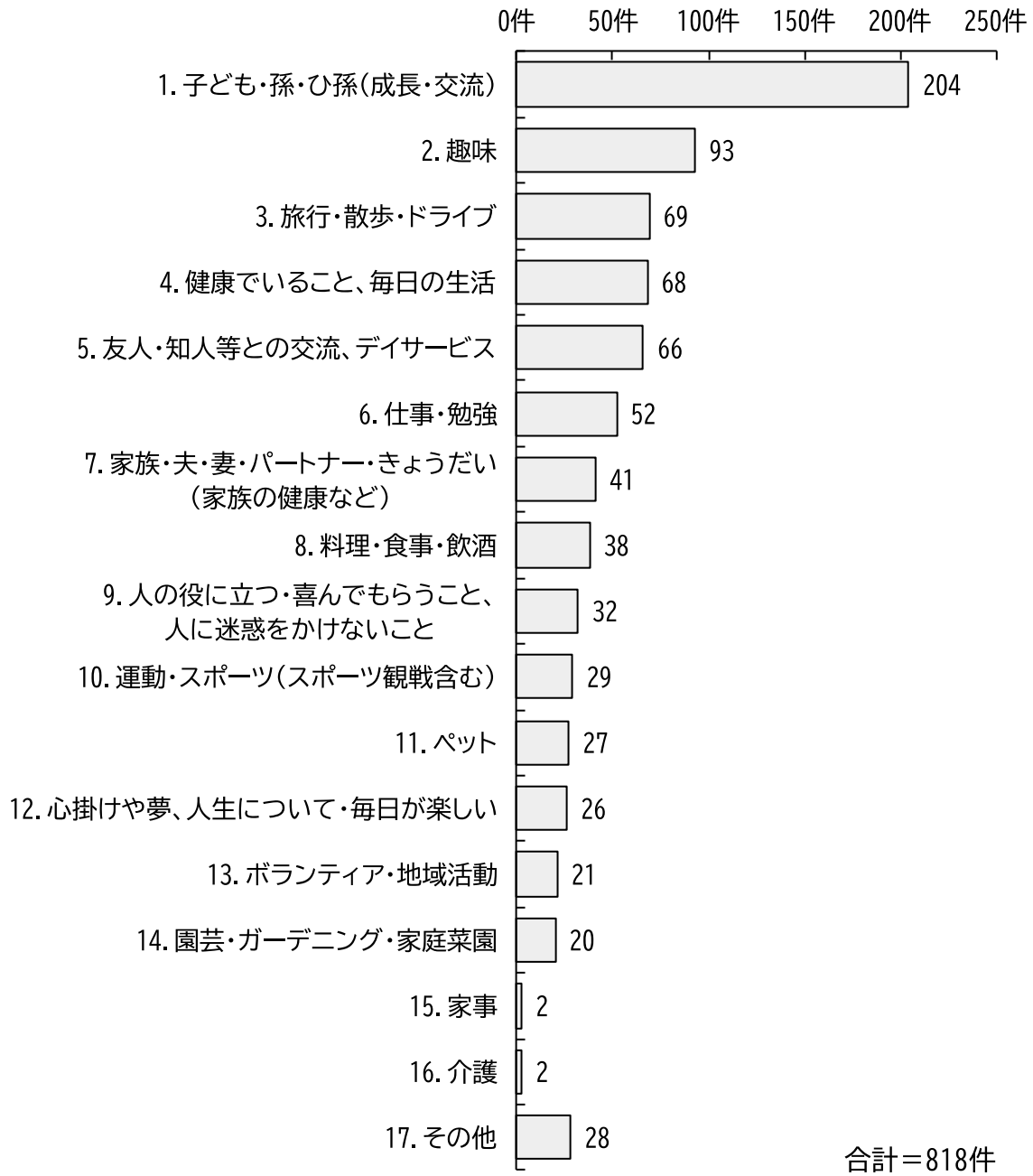
図表 1-96 生きがい



図表 1-97 生きがい【認定状況別】



図表 1-98 生きがいの具体的内容（複数回答）



## 6 地域での活動

### (1) 参加の頻度

問5 (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか  
 ※①～⑧それぞれに回答してください（それぞれ1つに○）

※以下で記載している『参加している』は、「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」を足し上げた数値です。

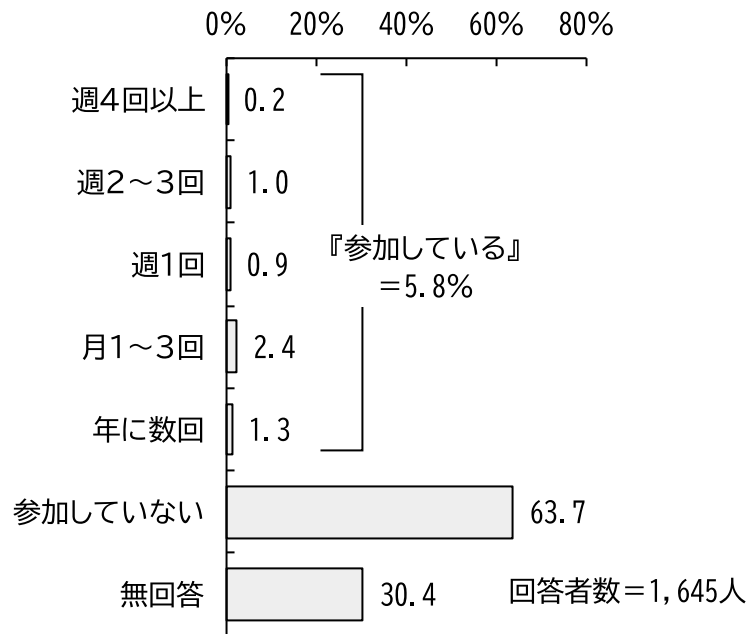
#### ①ボランティアのグループ

ボランティアのグループへの参加については、全体では「参加していない」63.7%が最も高く、次いで「月1～3回」2.4%、「年に数回」1.3%が続いています。

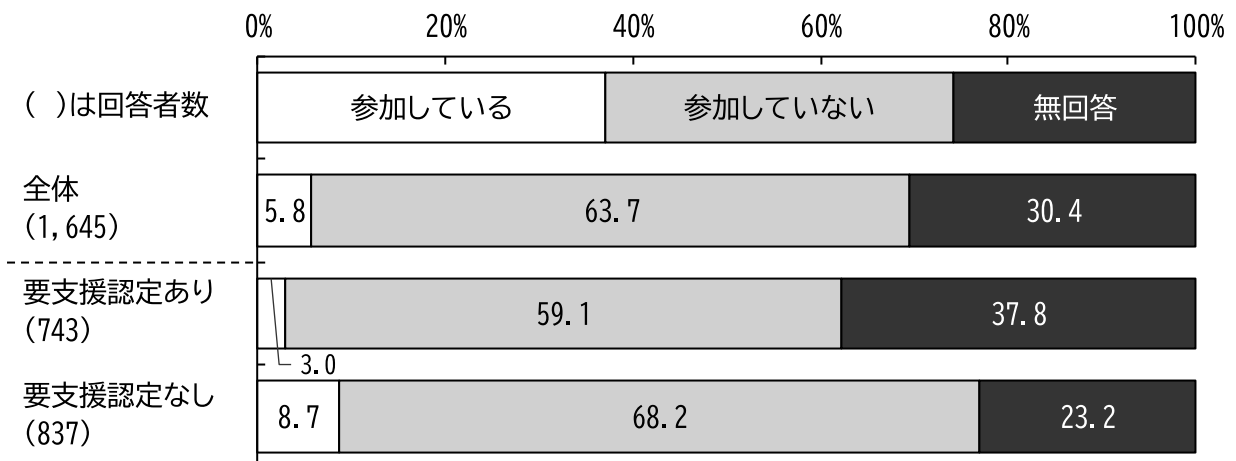
要支援認定ありでは、「参加していない」59.1%、『参加している』は3.0%です。

要支援認定なしでは、「参加していない」68.2%、『参加している』は8.7%です。

図表 1-99 ボランティアのグループ



図表 1-100 ボランティアのグループ【認定状況別】





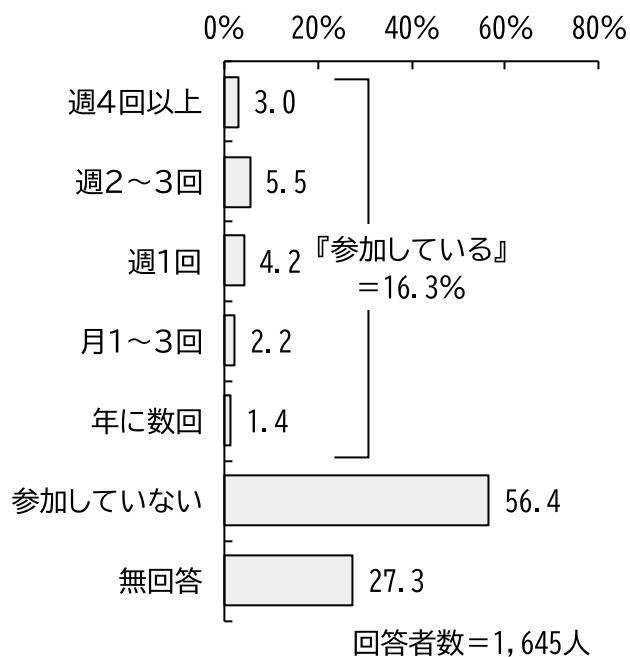
## ②スポーツ関係のグループやクラブ

スポーツ関係のグループやクラブへの参加については、全体では「参加していない」56.4%が最も高く、次いで「週2～3回」5.5%、「週に1回」4.2%、「週4回以上」3.0%が続いています。

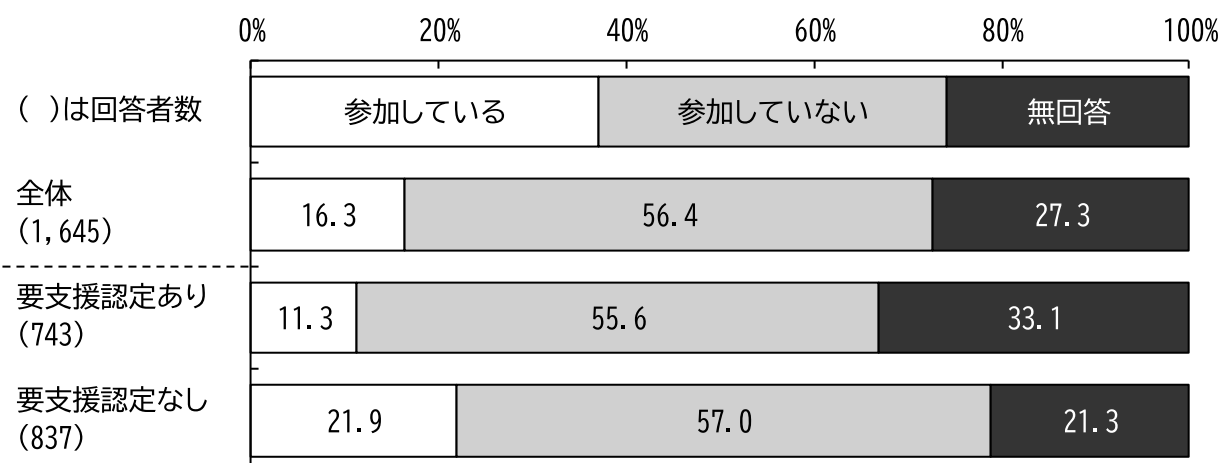
要支援認定ありでは、「参加していない」55.6%、『参加している』は11.3%です。

要支援認定なしでは、「参加していない」57.0%、『参加している』は21.9%です。

図表 1-101 スポーツ関係のグループやクラブ



図表 1-102 スポーツ関係のグループやクラブ【認定状況別】



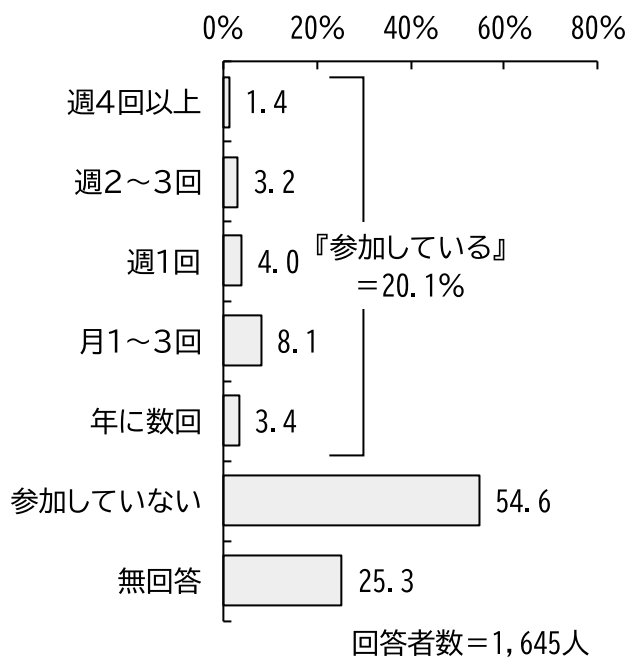
### ③趣味関係のグループ

趣味関係のグループへの参加については、全体では「参加していない」54.6%が最も高く、次いで「月1～3回」8.1%、「週1回」4.0%、「年に数回」3.4%が続いています。

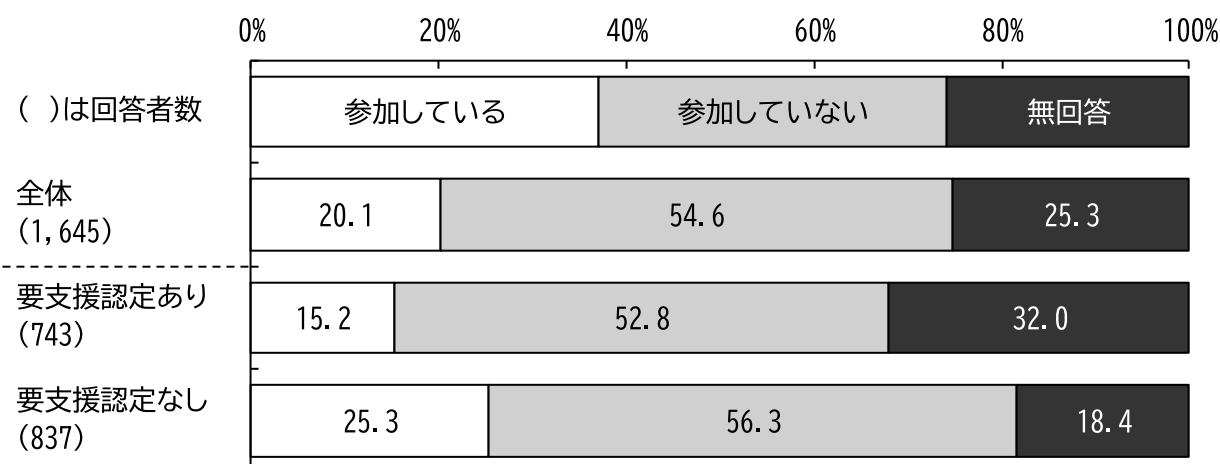
要支援認定ありでは、「参加していない」52.8%、『参加している』は15.2%です。

要支援認定なしでは、「参加していない」56.3%、『参加している』は25.3%です。

図表 1-103 趣味関係のグループ



図表 1-104 趣味関係のグループ【認定状況別】



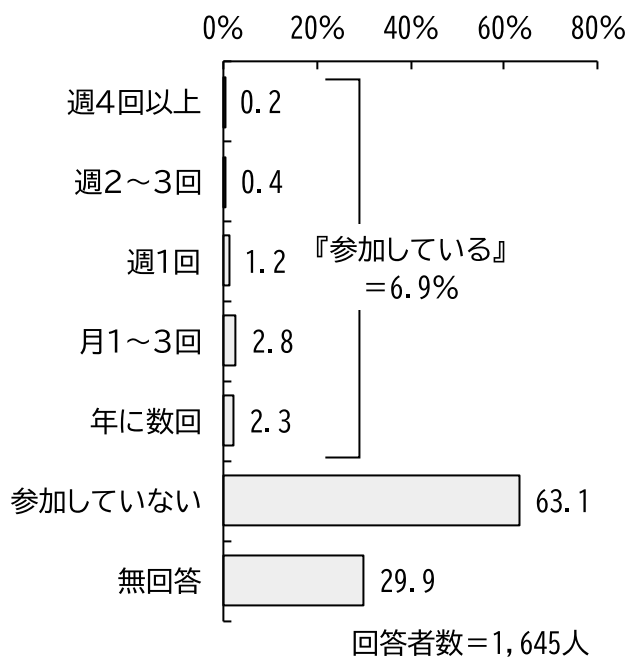
#### ④学習・教養サークル

学習・教養サークルへの参加については、全体では「参加していない」63.1%が最も高く、次いで「月1～3回」2.8%、「年に数回」2.3%、「週1回」1.2%が続いています。

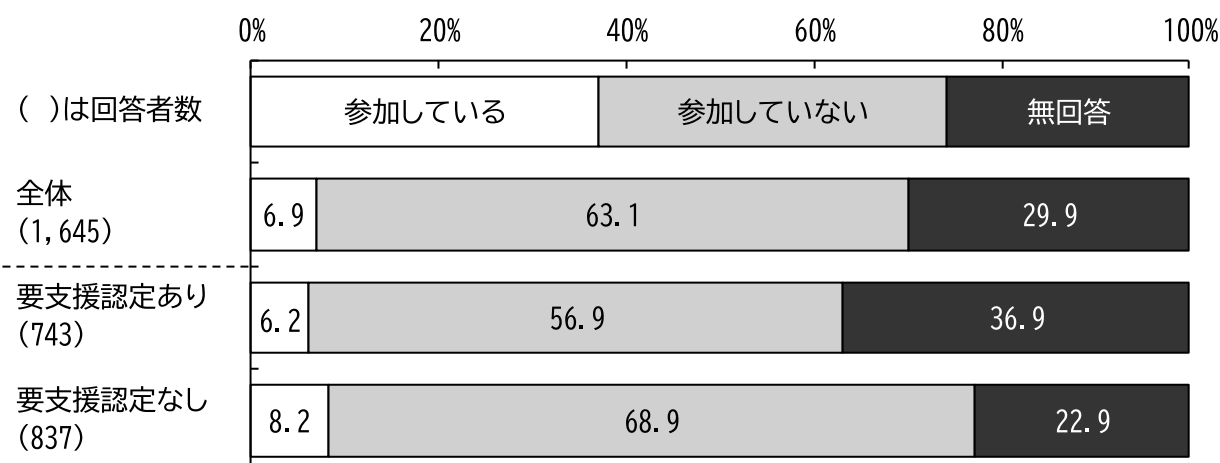
要支援認定ありでは、「参加していない」56.9%、『参加している』は6.2%です。

要支援認定なしでは、「参加していない」68.9%、『参加している』は8.2%です。

図表 1-105 学習・教養サークル



図表 1-106 学習・教養サークル【認定状況別】



### ⑤介護予防のための通いの場

介護予防のための通いの場(※)への参加については、全体では「参加していない」58.9%が最も高く、次いで「週2～3回」7.8%、「週1回」5.2%が続いています。

要支援認定ありでは、「参加していない」44.3%、『参加している』は29.5%です。

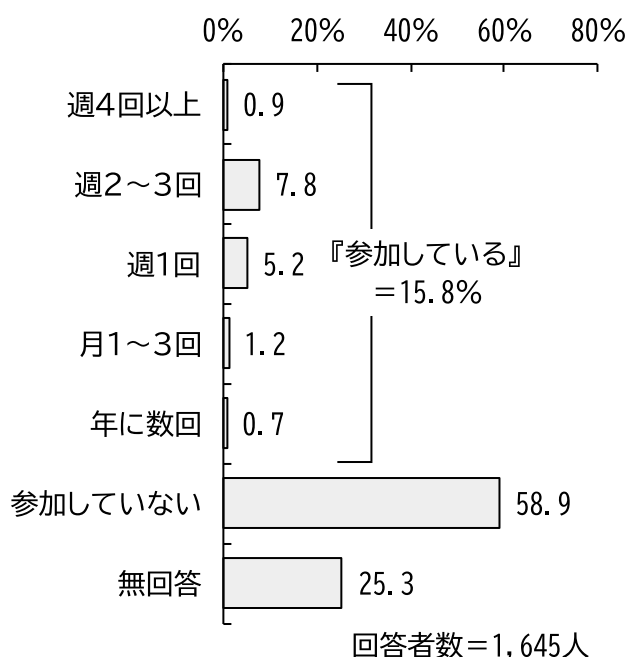
要支援認定なしでは、「参加していない」72.6%、『参加している』は3.6%です。

※介護予防のための通いの場

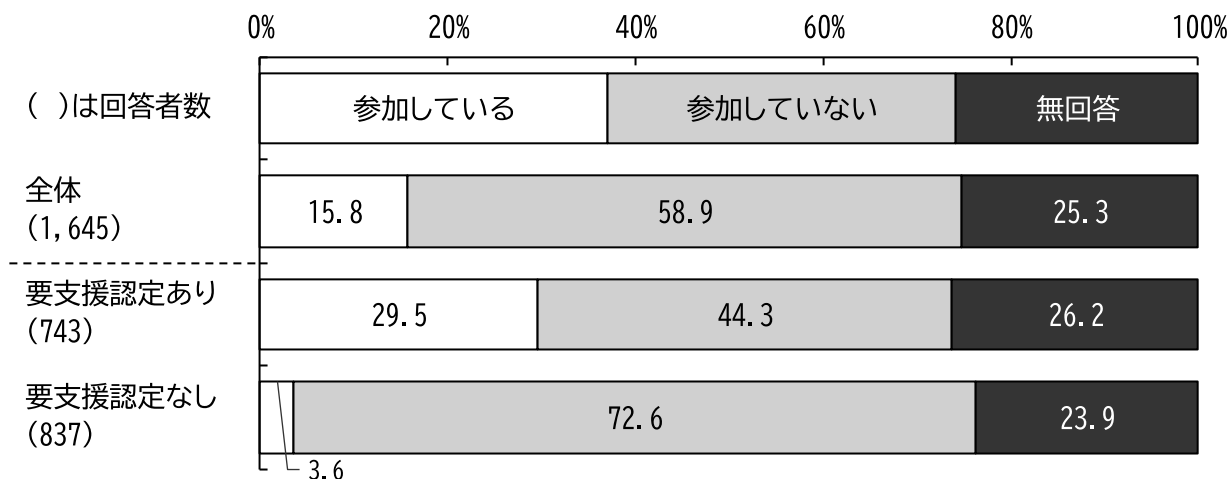
筋トレや体操、脳トレ等、健康維持や認知症予防を目的とした活動を行う場所(団体)です。

(具体例)通所型住民主体サービス実施団体やシニア活動マップ掲載団体、地域の自主グループ等

図表 1-107 介護予防のための通いの場



図表 1-108 介護予防のための通いの場【認定状況別】



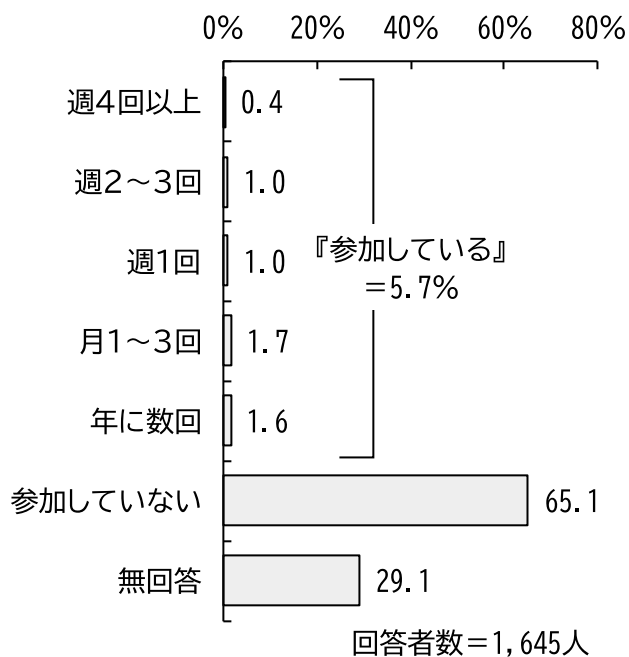
## ⑥高齢者クラブ

高齢者クラブへの参加については、全体では「参加していない」65.1%が最も高く、次いで「月1～3回」1.7%、「年に数回」1.6%が続いています。

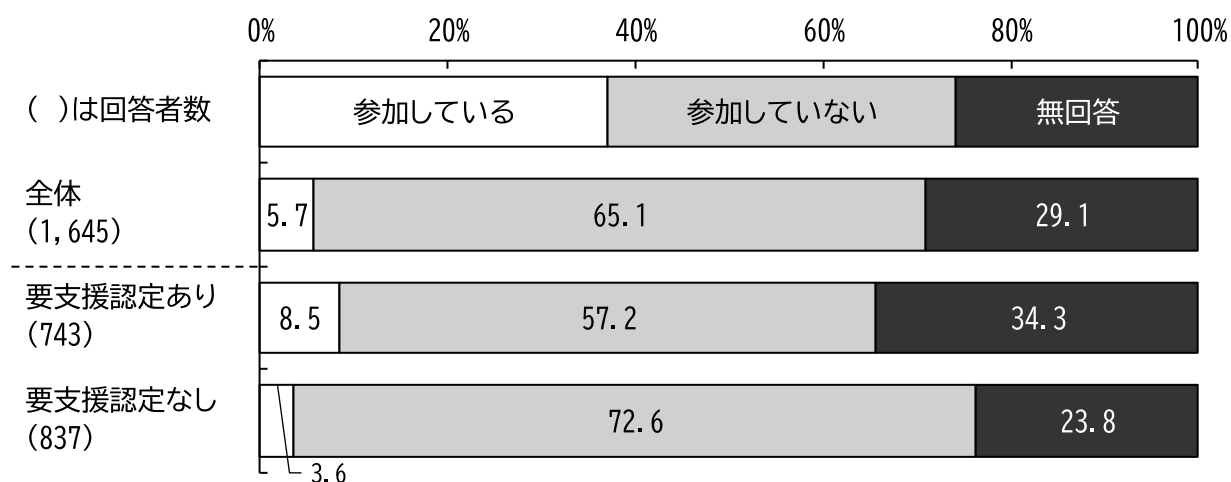
要支援認定ありでは、「参加していない」57.2%、『参加している』は8.5%です。

要支援認定なしでは、「参加していない」72.6%、『参加している』は3.6%です。

図表 1-109 高齢者クラブ



図表 1-110 高齢者クラブ【認定状況別】

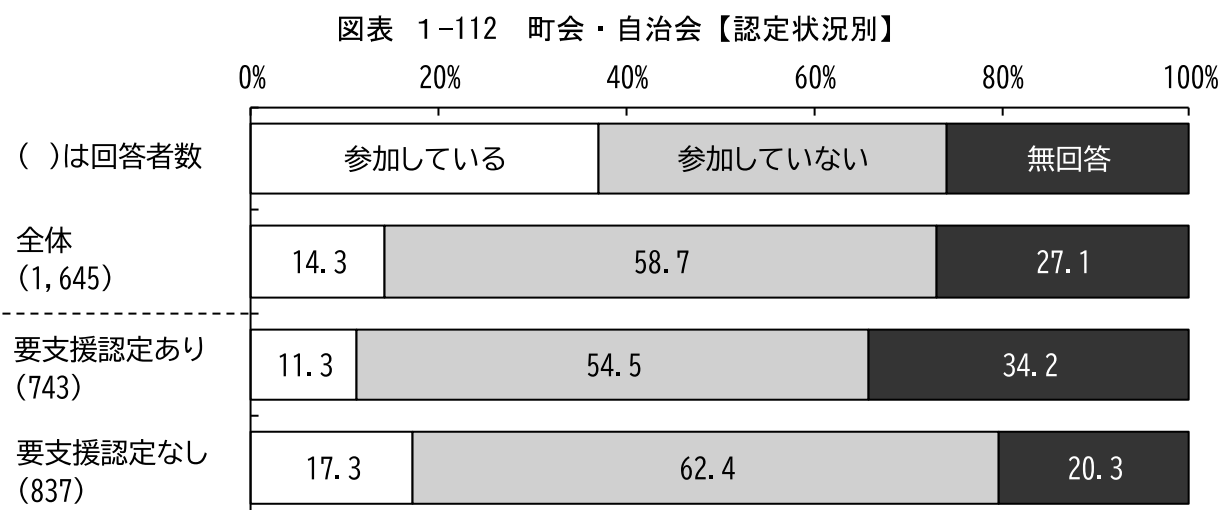
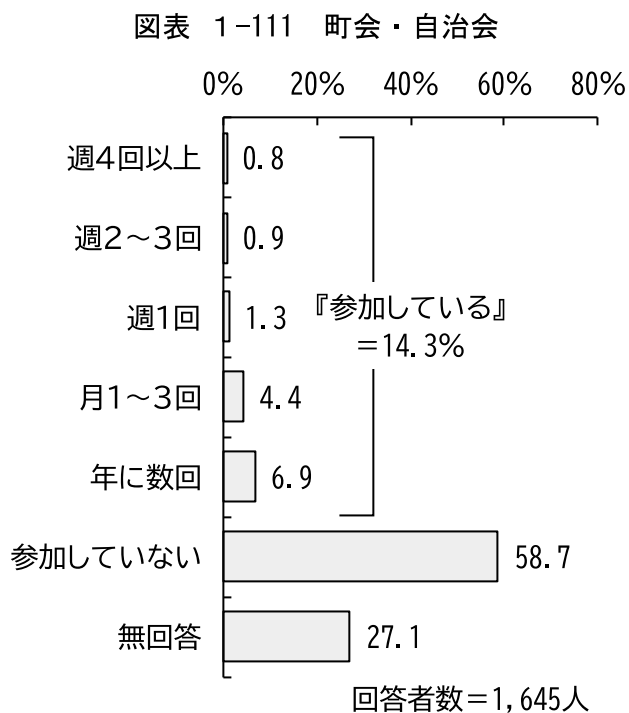


⑦町会・自治会

町会・自治会への参加については、全体では「参加していない」58.7%が最も高く、次いで「年に数回」6.9%、「月1～3回」4.4%が続いています。

要支援認定ありでは、「参加していない」54.5%、『参加している』は11.3%です。

要支援認定なしでは、「参加していない」62.4%、『参加している』は17.3%です。



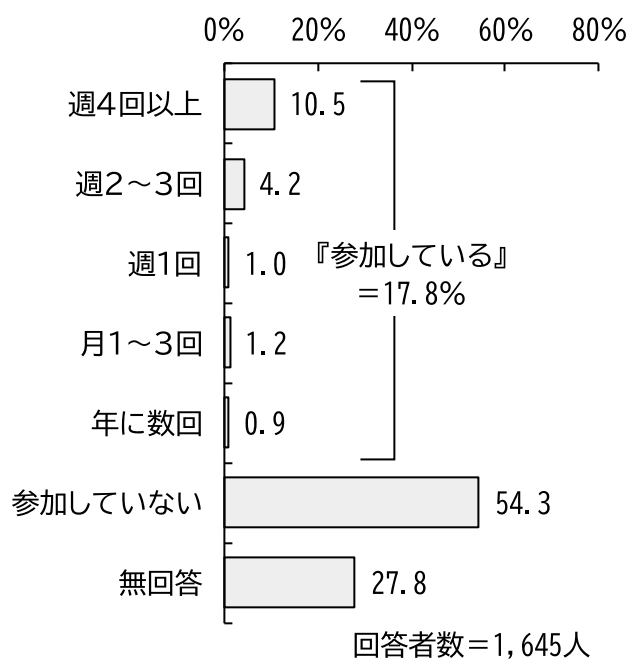
## ⑧収入のある仕事

収入のある仕事については、全体では「参加していない」54.3%が最も高く、次いで「週4回以上」10.5%、「週2～3回」4.2%が続いています。

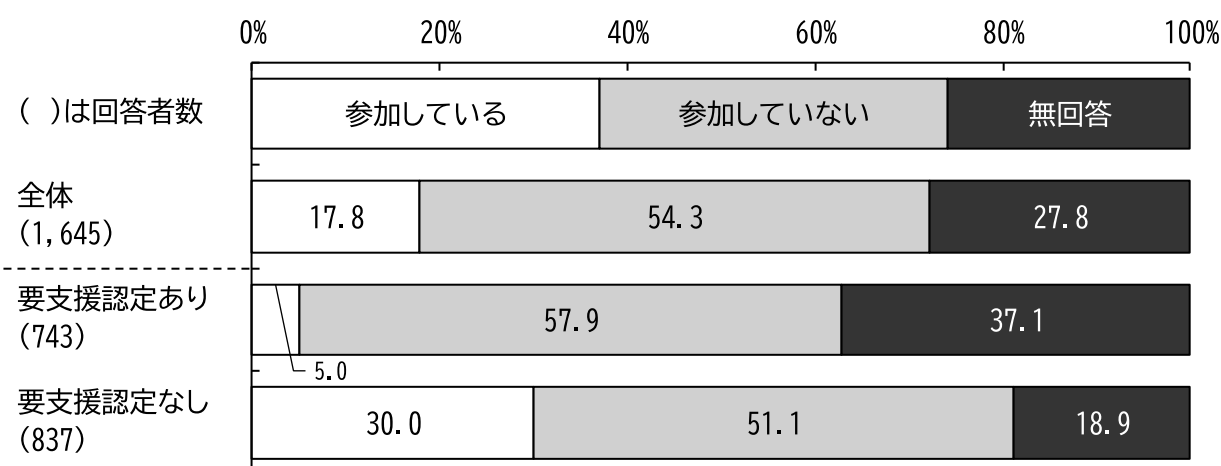
要支援認定ありでは、「参加していない」57.9%、「参加している」は5.0%です。

要支援認定なしでは、「参加していない」51.1%、「参加している」は30.0%です。

図表 1-113 収入のある仕事



図表 1-114 収入のある仕事【認定状況別】



## (2) 地域づくり活動へ参加者として参加したいか

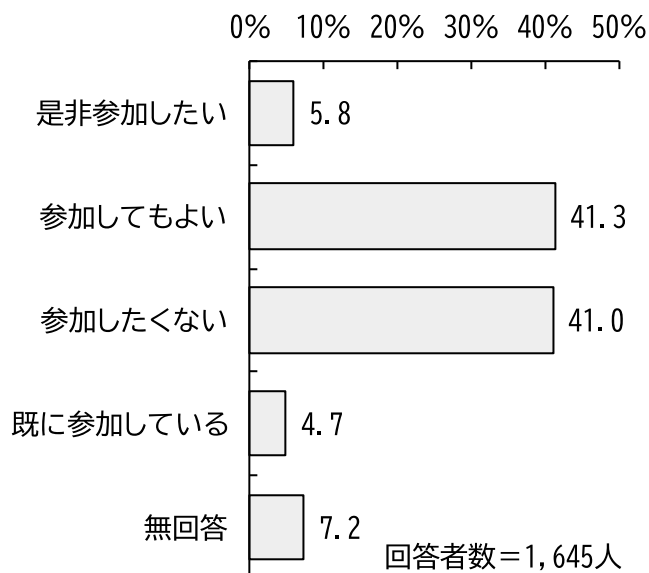
問5 (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (1つを選択)

地域づくり活動へ参加者として参加したいかについては、全体では「参加してもよい」41.3%が最も高く、次いで「参加したくない」41.0%、「是非参加したい」5.8%、「既に参加している」4.7%となっています。

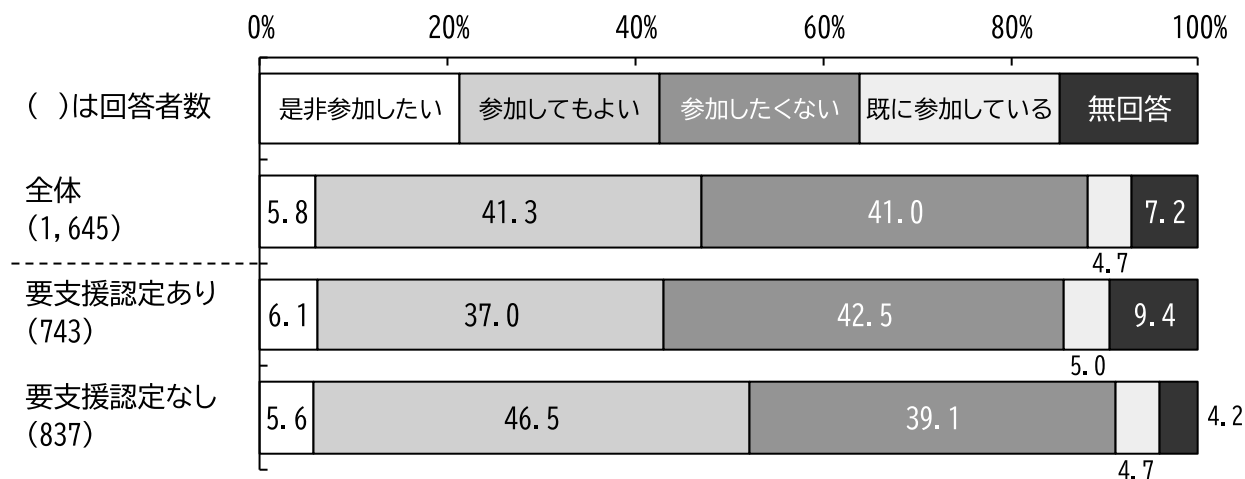
要支援認定ありでは、「参加したくない」42.5%が最も高くなっています。

要支援認定なしでは、「参加してもよい」46.5%が最も高くなっています。

図表 1-115 地域づくり活動へ参加者として参加したいか



図表 1-116 地域づくり活動へ参加者として参加したいか【認定状況別】





### (3) 地域づくり活動へ世話役として参加したいか

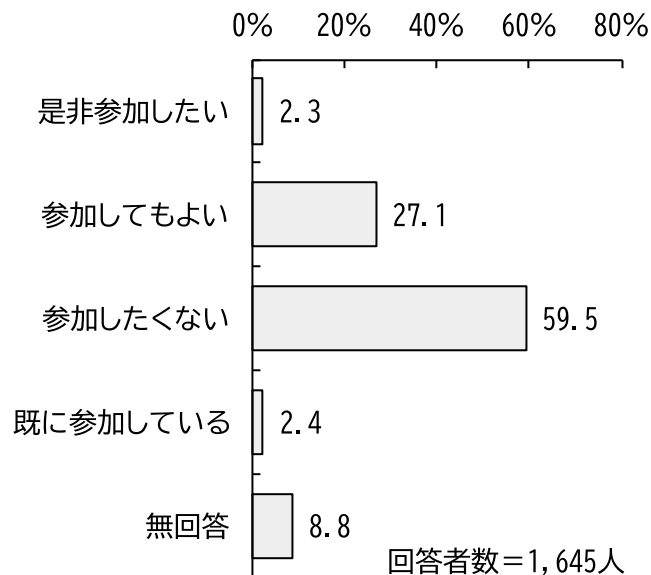
問5 (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（1つを選択）

地域づくり活動へ世話役として参加したいかについては、全体では「参加したくない」59.5%が最も高く、次いで「参加してもよい」27.1%、「既に参加している」2.4%、「是非参加したい」2.3%となっています。

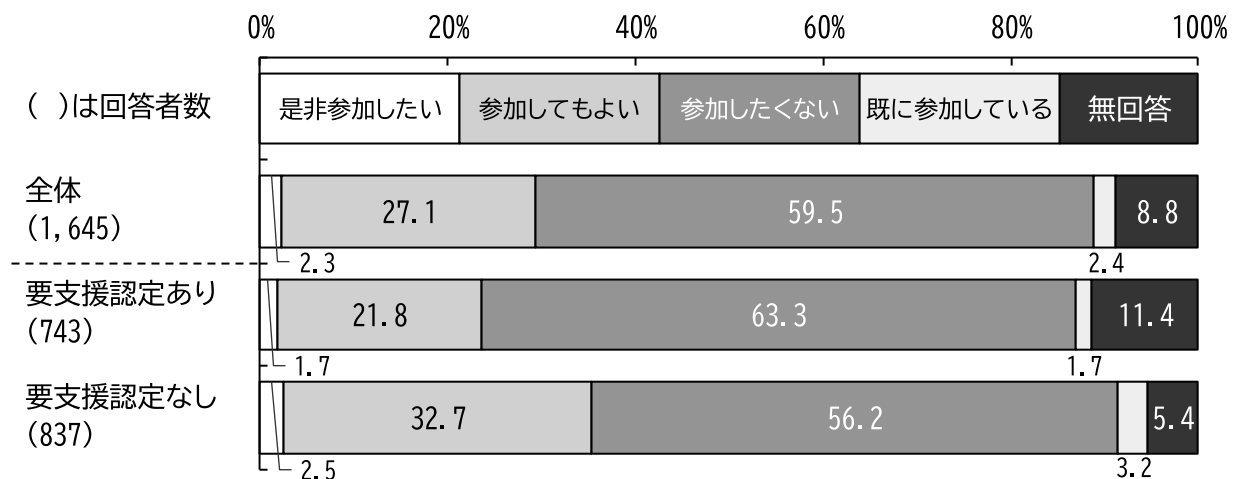
要支援認定ありでは、「参加したくない」63.3%が最も高くなっています。

要支援認定なしでは、「参加したくない」56.2%が最も高くなっています。

図表 1-117 地域づくり活動へ世話役として参加したいか



図表 1-118 地域づくり活動へ世話役として参加したいか【認定状況別】



## 7 たすけあい

### (1) 相談を聞いてくれる人

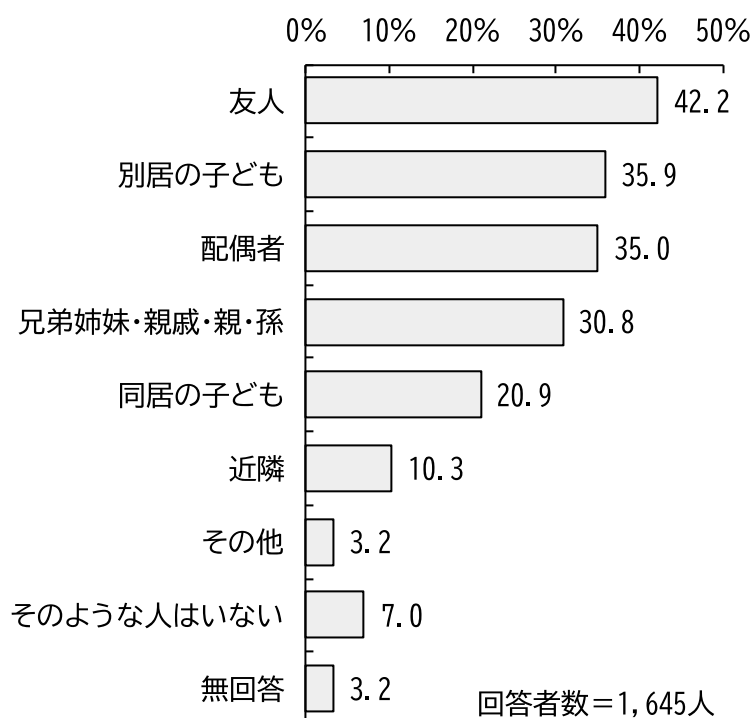
問6 (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)

相談を聞いてくれる人は、全体では「友人」42.2%が最も高く、次いで「別居の子ども」35.9%、「配偶者」35.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」30.8%が続いています。

要支援認定ありでは、「別居の子ども」38.9%、「友人」36.7%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」31.0%が上位3位となっています。

要支援認定なしでは、「友人」47.9%、「配偶者」45.9%、「別居の子ども」33.7%が上位3位となっています。

図表 1-119 相談を聞いてくれる人(複数回答)



図表 1-120 相談を聞いてくれる人【認定状況別】

		回答者数	友人	別居の子ども	配偶者	親戚・兄弟姉妹・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	人はいない	そのような人	無回答
全体		1,645	694	590	576	506	344	170	53	115	53	
		100.0	42.2	35.9	35.0	30.8	20.9	10.3	3.2	7.0	3.2	
認定状況別	要支援認定あり	743	273	289	175	230	139	82	33	60	29	
		100.0	36.7	38.9	23.6	31.0	18.7	11.0	4.4	8.1	3.9	
認定状況別	要支援認定なし	837	401	282	384	258	195	83	18	50	20	
		100.0	47.9	33.7	45.9	30.8	23.3	9.9	2.2	6.0	2.4	

※上段：回答者数(人)、下段：割合(%)

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

## (2) 相談を聞いてあげる人

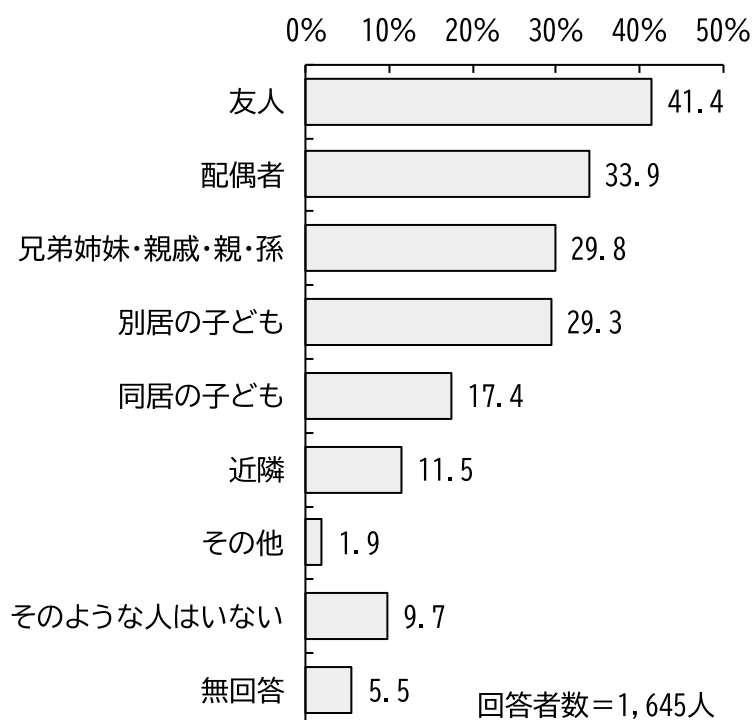
問6 (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

相談を聞いてあげる人は、全体では「友人」41.4%が最も高く、次いで「配偶者」33.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」29.8%、「別居の子ども」29.3%が続いています。

要支援認定ありでは、「友人」37.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」28.4%、「別居の子ども」27.9%が上位3位となっています。

要支援認定なしでは、「友人」46.1%、「配偶者」45.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」31.5%が上位3位となっています。

図表 1-121 相談を聞いてあげる人（複数回答）



図表 1-122 相談を聞いてあげる人【認定状況別】

認定状況別		回答者数	友人	配偶者	親戚・兄弟姉妹・親・孫	別居の子ども	同居の子ども	近隣	その他	人はいない	そのような人	無回答
	全体	1,645	681	557	490	482	287	189	31	159	90	
		100.0	41.4	33.9	29.8	29.3	17.4	11.5	1.9	9.7	5.5	
認定状況別	要支援認定あり	743	277	162	211	207	97	83	11	98	54	
		100.0	37.3	21.8	28.4	27.9	13.1	11.2	1.5	13.2	7.3	
認定状況別	要支援認定なし	837	386	379	264	262	181	100	20	54	25	
		100.0	46.1	45.3	31.5	31.3	21.6	11.9	2.4	6.5	3.0	

※上段：回答者数（人）、下段：割合（%）  
 ※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

### (3) 病気の世話をしてくれる人

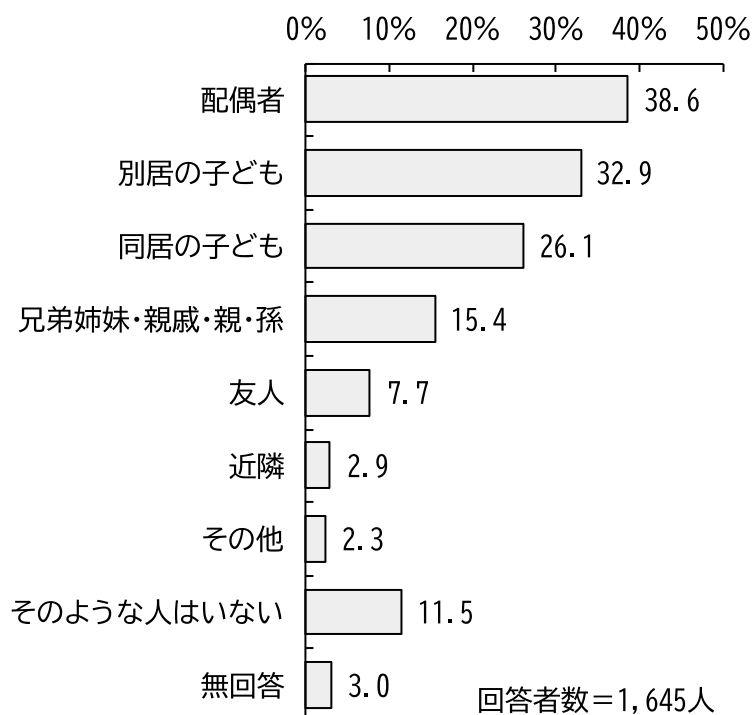
問6 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人  
(いくつでも)

自分が病気のときに世話をしてくれる人は、全体では「配偶者」38.6%が最も高く、次いで「別居の子ども」32.9%、「同居の子ども」26.1%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」15.4%が続いています。

要支援認定ありでは、「別居の子ども」38.5%、「配偶者」26.4%、「同居の子ども」24.0%が上位3位となっています。

要支援認定なしでは、「配偶者」50.4%、「別居の子ども」「同居の子ども」がともに 28.1%で上位3位となっています。

図表 1-123 病気の世話をしてくれる人（複数回答）



図表 1-124 病気の世話をしてくれる人【認定状況別】

		回答者数	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	親兄弟姉妹・親戚・親・孫	友人	近隣	その他	人はいない	そのような人	無回答
全体		1,645	635	541	429	254	127	48	38	189	50	
		100.0	38.6	32.9	26.1	15.4	7.7	2.9	2.3	11.5	3.0	
認定状況別	要支援認定あり	743	196	286	178	113	55	23	27	106	28	
		100.0	26.4	38.5	24.0	15.2	7.4	3.1	3.6	14.3	3.8	
認定状況別	要支援認定なし	837	422	235	235	130	70	23	9	74	17	
		100.0	50.4	28.1	28.1	15.5	8.4	2.7	1.1	8.8	2.0	

※上段：回答者数（人）、下段：割合（%）

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

#### (4) 病気の世話をしてあげる人

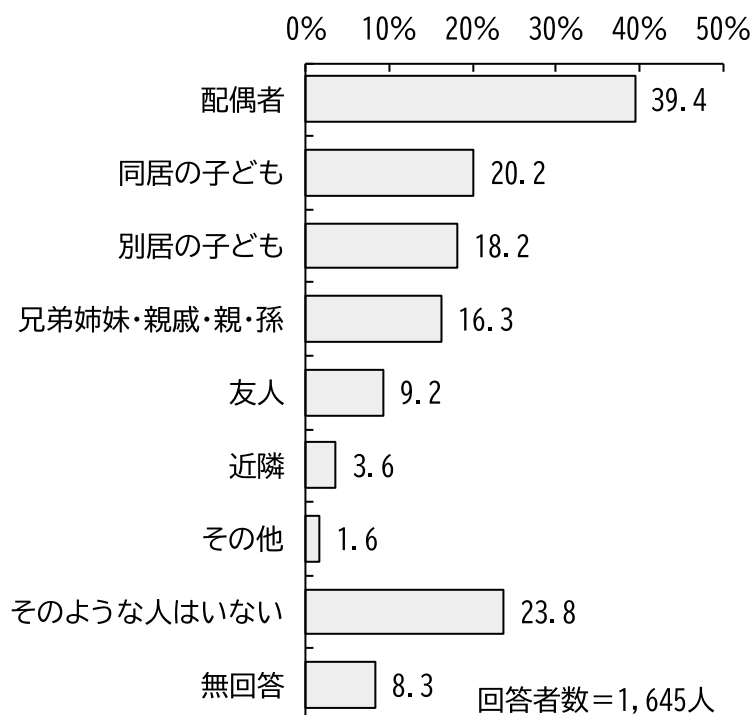
問6 (4) 反対に、看病や世話をしてあげる人 (いくつでも)

病気の世話をしてあげる人は、全体では「配偶者」39.4%が最も高く、次いで「そのような人はいない」23.8%、「同居の子ども」20.2%、「別居の子ども」18.2%が続いています。

要支援認定ありでは、「そのような人はいない」32.8%、「配偶者」28.1%、「同居の子ども」15.2%が上位3位となっています。

要支援認定なしでは、「配偶者」50.4%、「同居の子ども」25.2%、「別居の子ども」23.7%が上位3位となっています。

図表 1-125 病気の世話をしてあげる人 (複数回答)



図表 1-126 病気の世話をしてあげる人【認定状況別】

		回答者数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	友人	近隣	その他	いない	そのような人は	無回答
全体		1,645	648	332	300	268	152	59	27	391	136	
		100.0	39.4	20.2	18.2	16.3	9.2	3.6	1.6	23.8	8.3	
認定状況別	要支援認定あり	743	209	113	93	86	54	20	17	244	84	
		100.0	28.1	15.2	12.5	11.6	7.3	2.7	2.3	32.8	11.3	
	要支援認定なし	837	422	211	198	178	92	36	9	126	42	
		100.0	50.4	25.2	23.7	21.3	11.0	4.3	1.1	15.1	5.0	

※上段：回答者数 (人)、下段：割合 (%)  
 ※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

## (5) 家族や友人・知人以外で相談する人

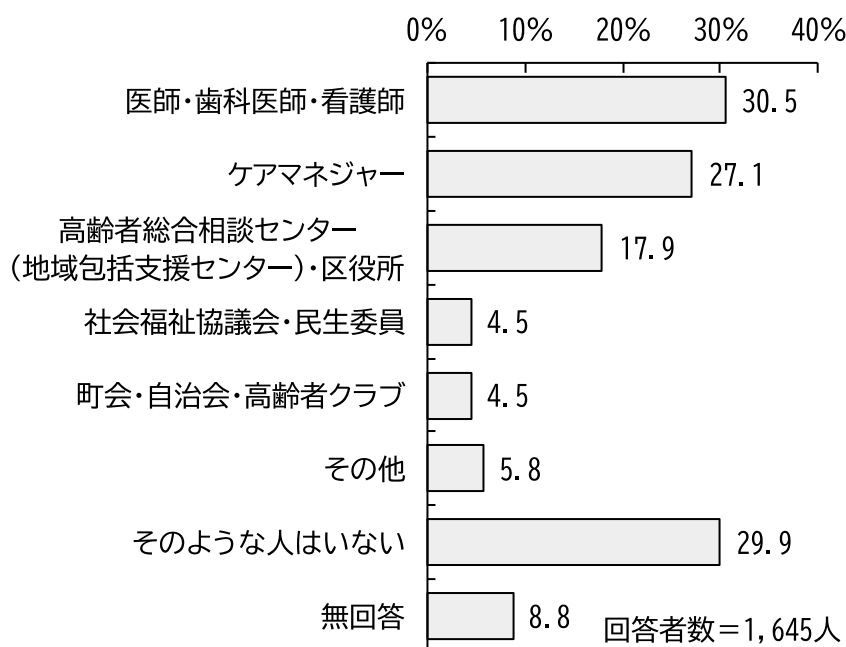
問6(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください  
(いくつでも)

家族や友人・知人以外で相談する人は、全体では「医師・歯科医師・看護師」30.5%が最も高く、次いで「そのような人はいない」29.9%、「ケアマネジャー」27.1%、「高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)・区役所」17.9%が続いています。

要支援認定ありでは、「ケアマネジャー」53.0%、「医師・歯科医師・看護師」29.5%、「高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)・区役所」23.1%が上位3位となっています。

要支援認定なしでは、「そのような人はいない」41.0%、「医師・歯科医師・看護師」31.4%、「高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)・区役所」13.9%が上位3位となっています。

図表 1-127 家族や友人・知人以外で相談する人(複数回答)



図表 1-128 家族や友人・知人以外で相談する人【認定状況別】

認定状況別		回答者数	医師・歯科医師・看護師	ケアマネジャー	高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)・区役所	社会福祉協議会・民生委員	町会・自治会・高齢者クラブ	その他	そのような人はいない	無回答
			割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)
全体		1,645	501	446	295	74	74	95	492	144
		100.0	30.5	27.1	17.9	4.5	4.5	5.8	29.9	8.8
認定状況別	要支援認定あり	743	219	394	172	37	32	29	136	52
		100.0	29.5	53.0	23.1	5.0	4.3	3.9	18.3	7.0
	要支援認定なし	837	263	33	116	33	38	63	343	79
		100.0	31.4	3.9	13.9	3.9	4.5	7.5	41.0	9.4

※上段：回答者数(人)、下段：割合(%)

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

## (6) 友人・知人と会う頻度

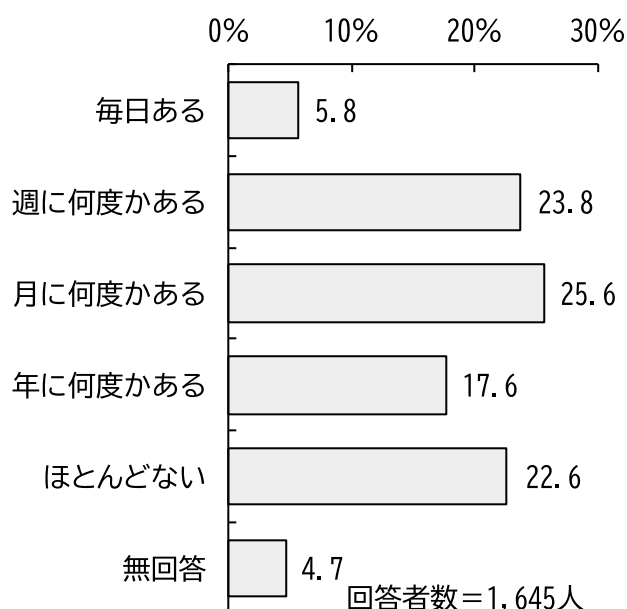
問6 (6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (1つを選択)

友人・知人と会う頻度は、全体では「月に何度かある」25.6%が最も高く、次いで「週に何度かある」23.8%、「ほとんどない」22.6%、「年に何度かある」17.6%、「毎日ある」5.8%となっています。

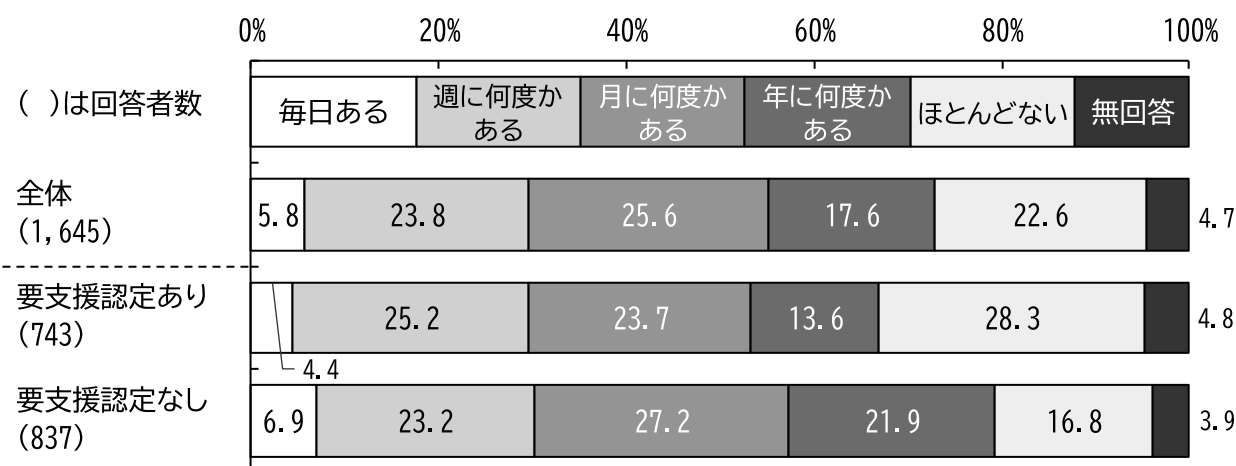
要支援認定ありでは、「ほとんどない」28.3%が最も高く、「週に何度かある」25.2%、「月に何度かある」23.7%が続いています。

要支援認定なしでは、「月に何度かある」27.2%が最も高く、「週に何度かある」23.2%、「年に何度かある」21.9%が続いています。

図表 1-129 友人・知人と会う頻度



図表 1-130 友人・知人と会う頻度【認定状況別】



## (7) 1か月間に会った友人・知人の数

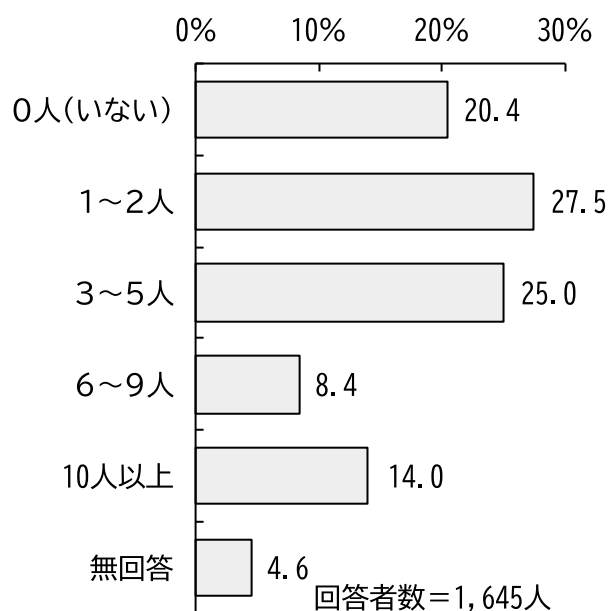
問6 (7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか  
 同じ人には何度会っても1人と数えることとします(1つを選択)

1か月間に会った友人・知人の数は、全体では「1～2人」27.5%が最も高く、次いで「3～5人」25.0%、「0人(いない)」20.4%、「10人以上」14.0%、「6～9人」8.4%となっています。

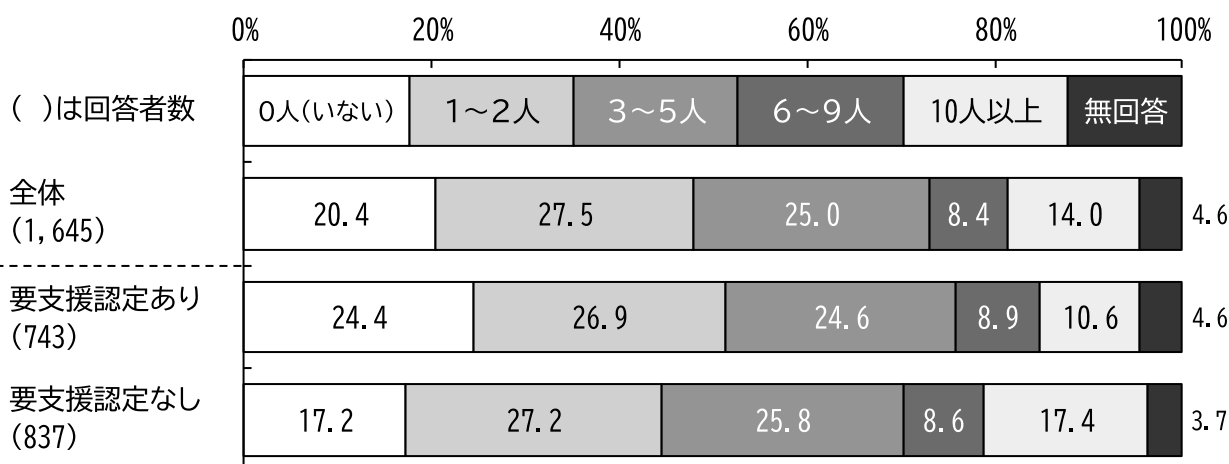
要支援認定ありでは、「1～2人」26.9%が最も高く、「3～5人」24.6%、「0人(いない)」24.4%が続いています。

要支援認定なしでは、「1～2人」27.2%が最も高く、「3～5人」25.8%、「10人以上」17.4%が続いています。

図表 1-131 1か月間に会った友人・知人の数



図表 1-132 1か月間に会った友人・知人の数【認定状況別】





## (8) よく会う友人・知人の関係

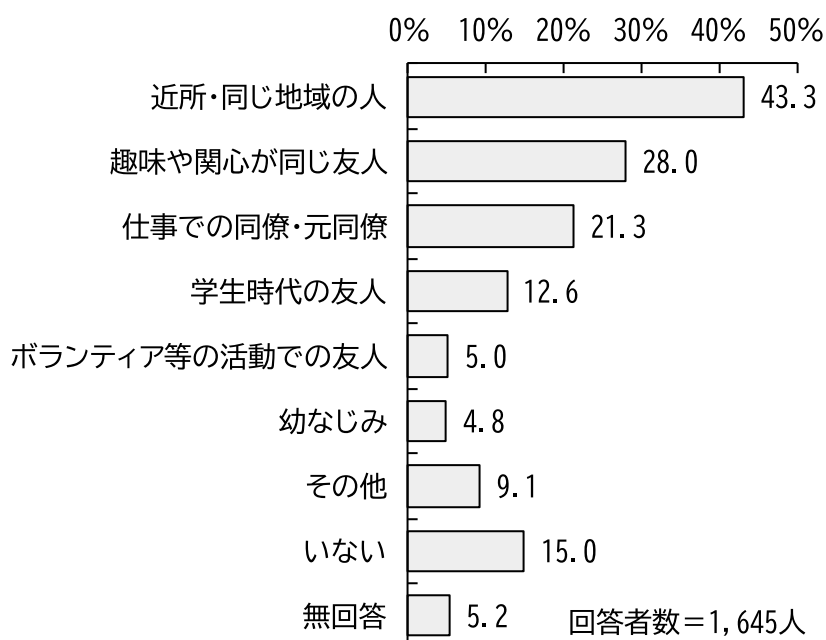
問6 (8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (いくつでも)

よく会う友人・知人の関係は、全体では「近所・同じ地域の人」43.3%が最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」28.0%、「仕事での同僚・元同僚」21.3%、「いない」15.0%が続いています。

要支援認定ありでは、「近所・同じ地域の人」47.8%、「趣味や関心が同じ友人」23.0%、「いない」19.0%が上位3位となっています。

要支援認定なしでは、「近所・同じ地域の人」39.7%、「趣味や関心が同じ友人」33.2%、「仕事での同僚・元同僚」32.3%が上位3位となっています。

図表 1-133 よく会う友人・知人の関係 (複数回答)



図表 1-134 よく会う友人・知人の関係【認定状況別】

		回答者数	近所・同じ地域の人	趣味や関心が同じ友人	仕事での同僚・元同僚	学生時代の友人	ボランティア等の活動での友人	幼なじみ	その他	いない	無回答
全体		1,645 100.0	712 43.3	461 28.0	351 21.3	208 12.6	83 5.0	79 4.8	150 9.1	246 15.0	86 5.2
認定状況別	要支援認定あり	743 100.0	355 47.8	171 23.0	70 9.4	55 7.4	27 3.6	25 3.4	82 11.0	141 19.0	42 5.7
	要支援認定なし	837 100.0	332 39.7	278 33.2	270 32.3	148 17.7	54 6.5	53 6.3	65 7.8	92 11.0	36 4.3

※上段：回答者数 (人)、下段：割合 (%)

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

## 8 健康

### (1) 現在の健康状態

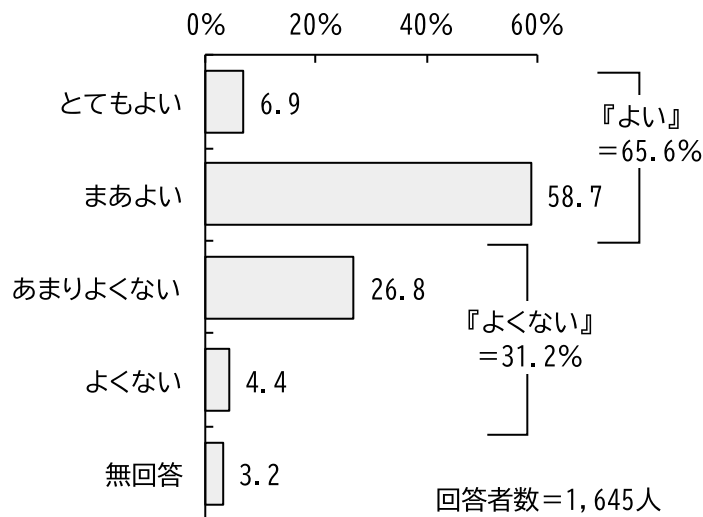
問7 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (1つを選択)

現在の健康状態は、全体では「まあよい」58.7%が最も高く、次いで「あまりよくない」26.8%、「とてもよい」6.9%、「よくない」4.4%となっています。

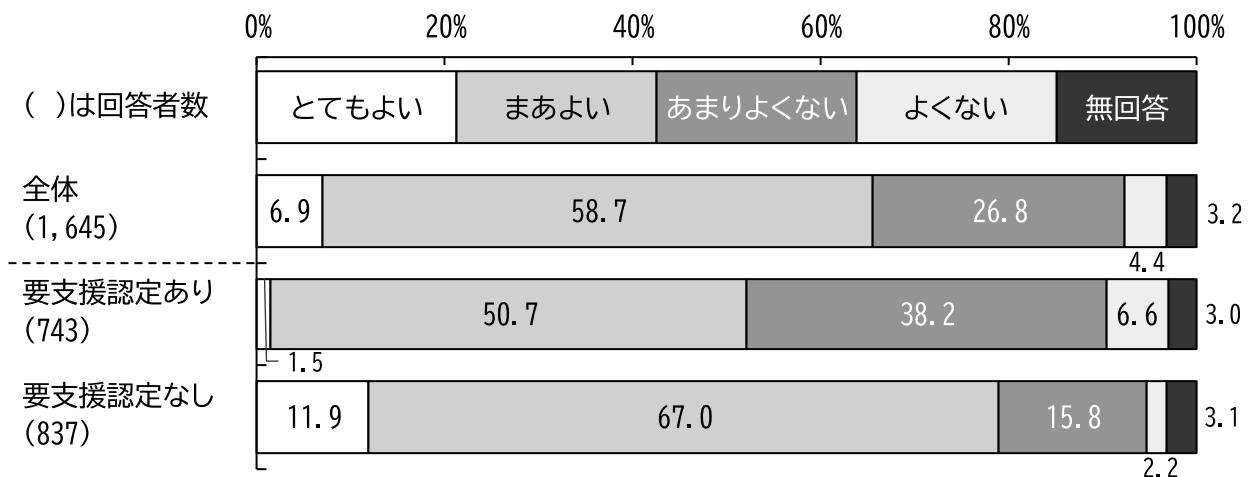
要支援認定ありでは、「まあよい」50.7%が最も高く、次いで「あまりよくない」38.2%が続いています。

要支援認定なしでは、「まあよい」67.0%が最も高く、次いで「あまりよくない」15.8%が続いています。

図表 1-135 現在の健康状態



図表 1-136 現在の健康状態【認定状況別】



## (2) 現在の幸福度

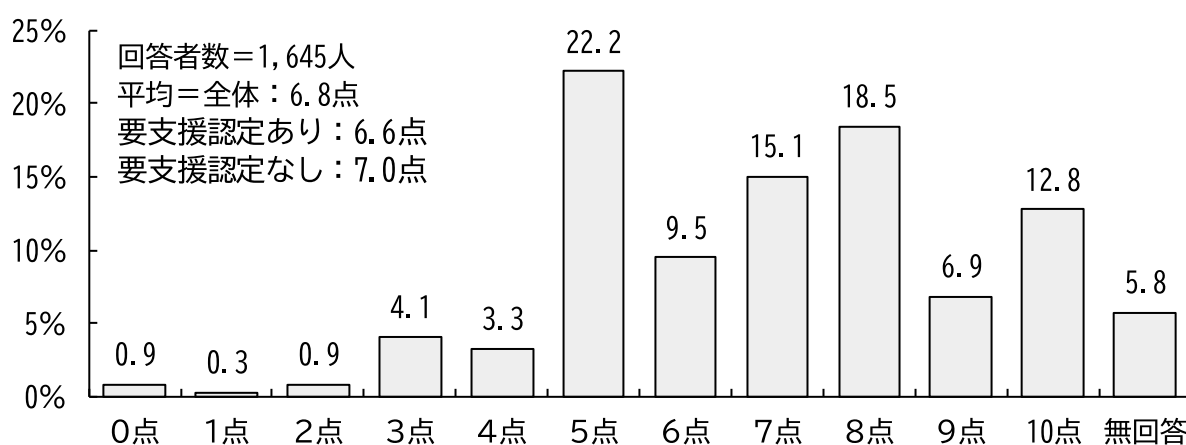
問7(2) あなたは、現在どの程度幸せですか(1つを選択)  
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

現在の幸福度については、全体では「5点」22.2%が最も高く、次いで「8点」18.5%、「7点」15.1%、「10点」12.8%と続いています。平均点は6.8点です。

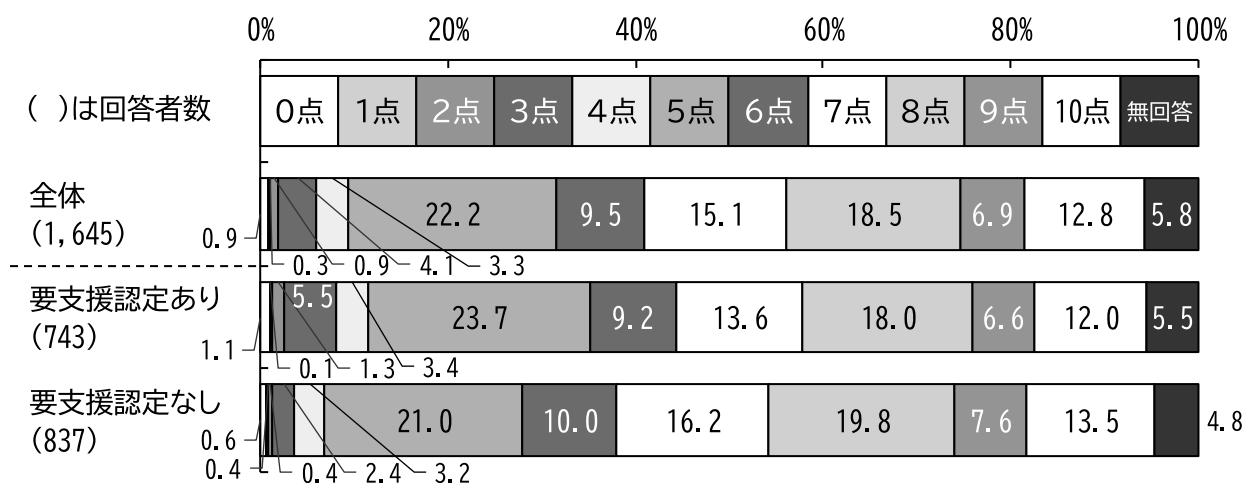
要支援認定ありでは、「5点」23.7%が最も高く、平均点は6.6点です。

要支援認定なしでは、「5点」21.0%が最も高く、平均点は7.0点です。

図表 1-137 現在の幸福度



図表 1-138 現在の幸福度【認定状況別】



### (3) 気分が沈むこと

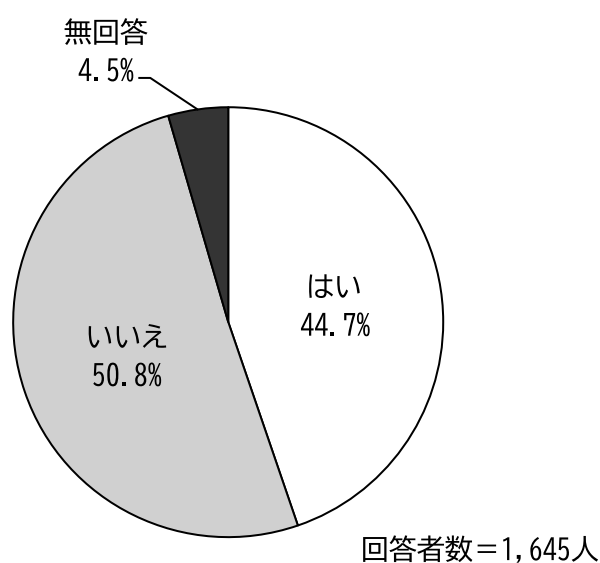
問7 (3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか(1つを選択)

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについては、全体では「はい」44.7%、「いいえ」50.8%となっています。

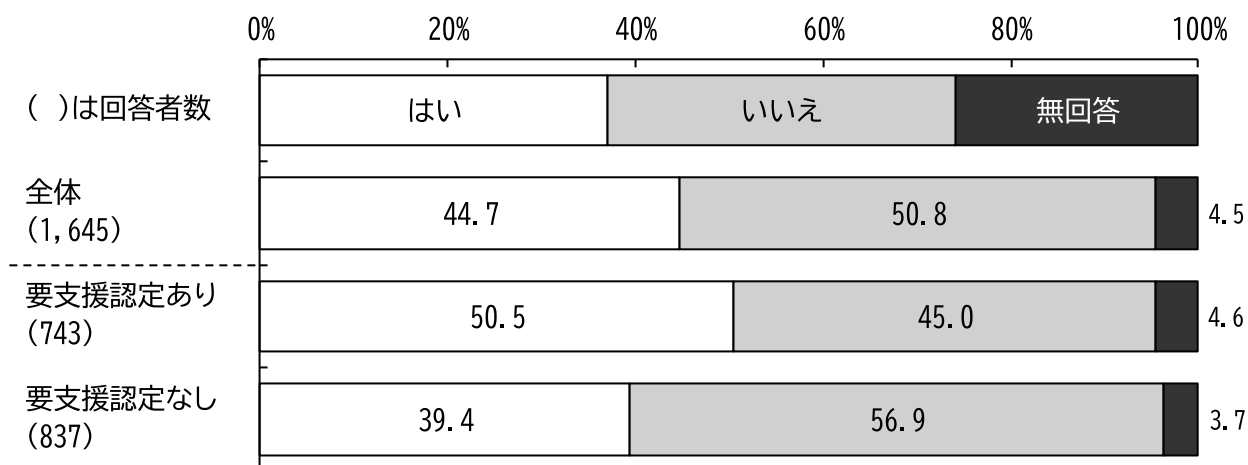
要支援認定ありでは、「はい」50.5%、「いいえ」45.0%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」39.4%、「いいえ」56.9%となっています。

図表 1-139 気分が沈むこと



図表 1-140 気分が沈むこと【認定状況別】



#### (4) 物事に対して興味がわからないこと

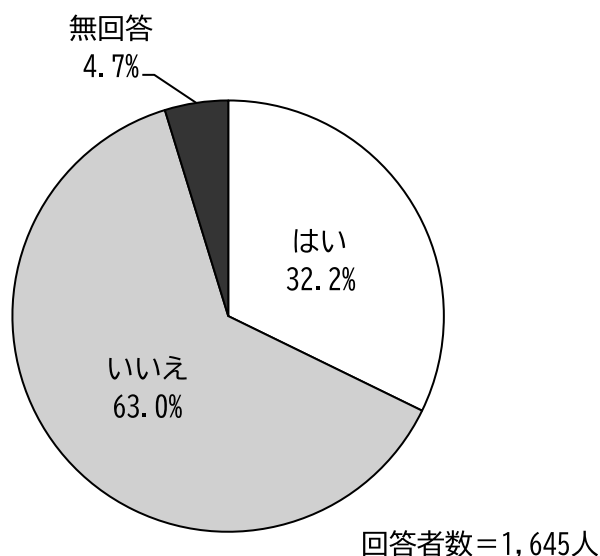
問7 (4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (1つを選択)

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかについては、全体では「はい」32.2%、「いいえ」63.0%となっています。

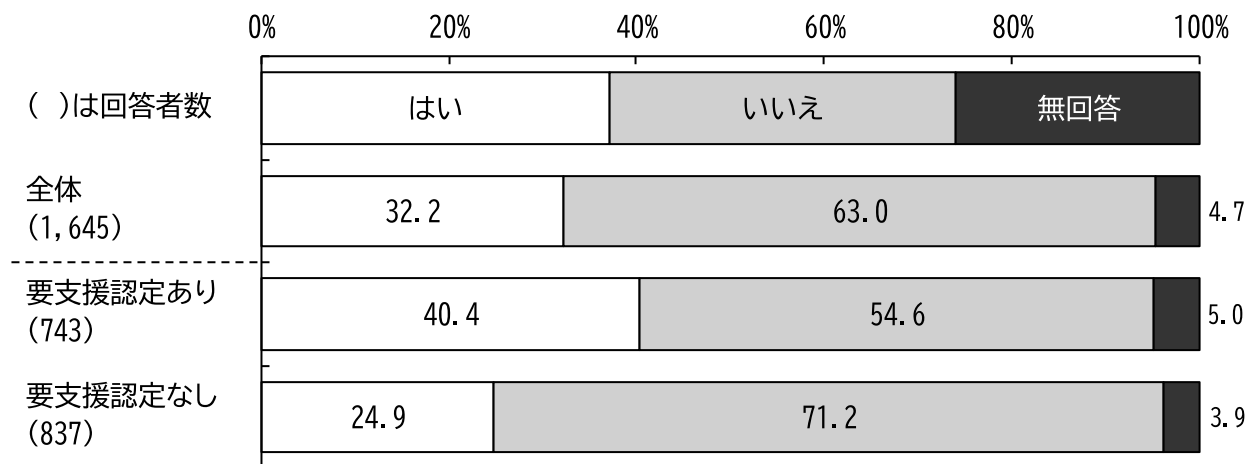
要支援認定ありでは、「はい」40.4%、「いいえ」54.6%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」24.9%、「いいえ」71.2%となっています。

図表 1-141 物事に対して興味がわからないこと



図表 1-142 物事に対して興味がわからないこと【認定状況別】



## (5) お酒

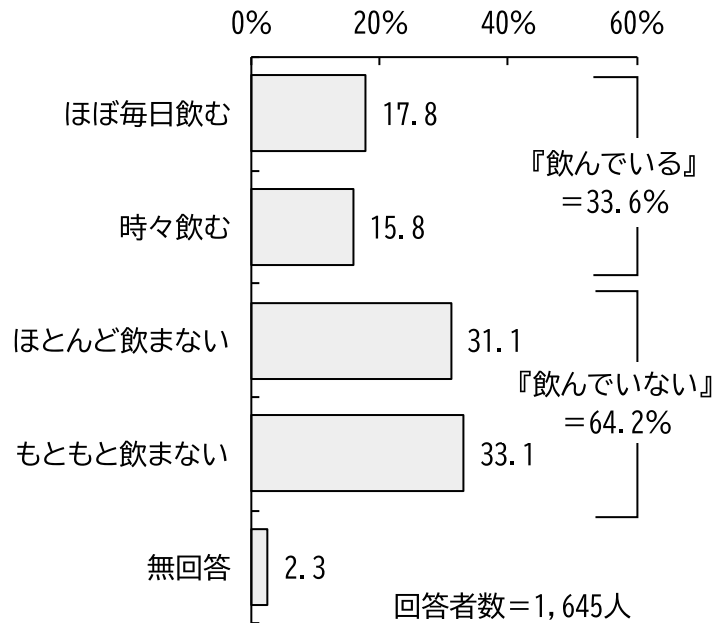
### 問7 (5) お酒は飲みますか (1つを選択)

お酒を飲むかについては、全体では「もともと飲まない」33.1%が最も高く、これと「ほとんど飲まない」31.1%を合わせた『飲んでいない』64.2%となっています。一方、「ほぼ毎日飲む」17.8%と「時々飲む」15.8%を合わせた『飲んでいる』33.6%となっています。

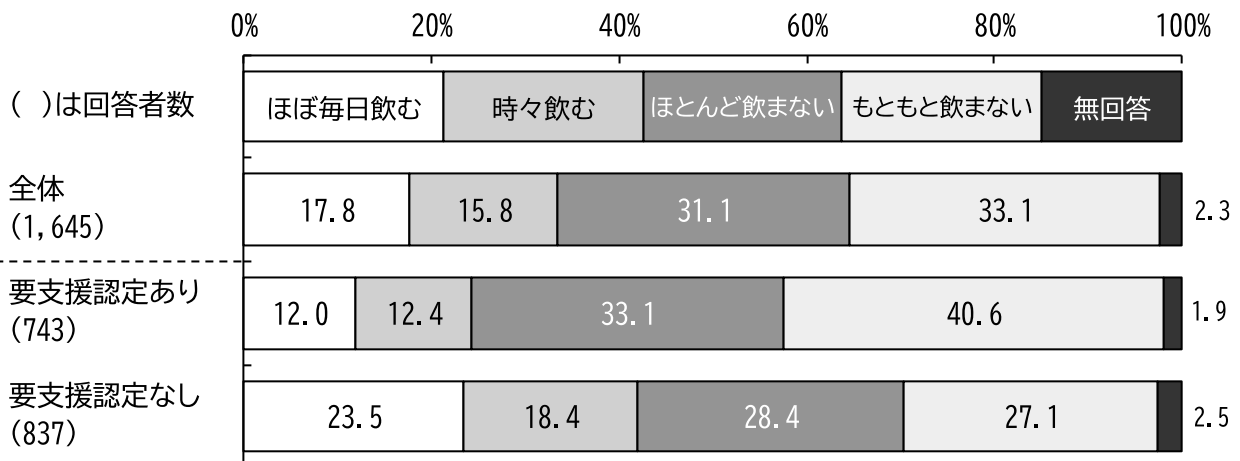
要支援認定ありでは、「もともと飲まない」40.6%が最も高く、次いで「ほとんど飲まない」33.1%が続いています。

要支援認定なしでは、「ほとんど飲まない」28.4%が最も高く、次いで「もともと飲まない」27.1%、「ほぼ毎日飲む」23.5%が続いています。

図表 1-143 お酒



図表 1-144 お酒【認定状況別】



## (6) タバコ

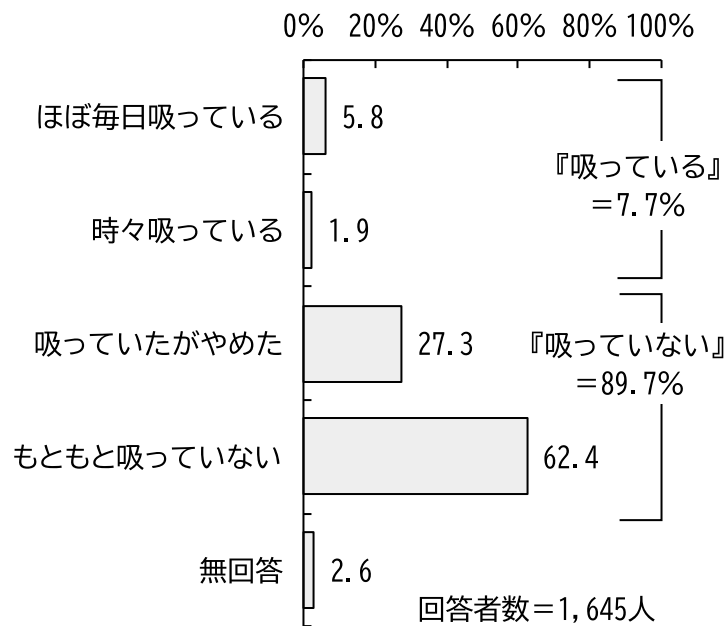
### 問7 (6) タバコは吸っていますか (1つを選択)

タバコを吸うかについては、全体では「もともと吸っていない」62.4%が最も高く、これと「吸っていたがやめた」27.3%を合わせた『吸っていない』89.7%となっています。一方、「ほぼ毎日吸っている」5.8%と「時々吸っている」1.9%を合わせた『吸っている』7.7%となっています。

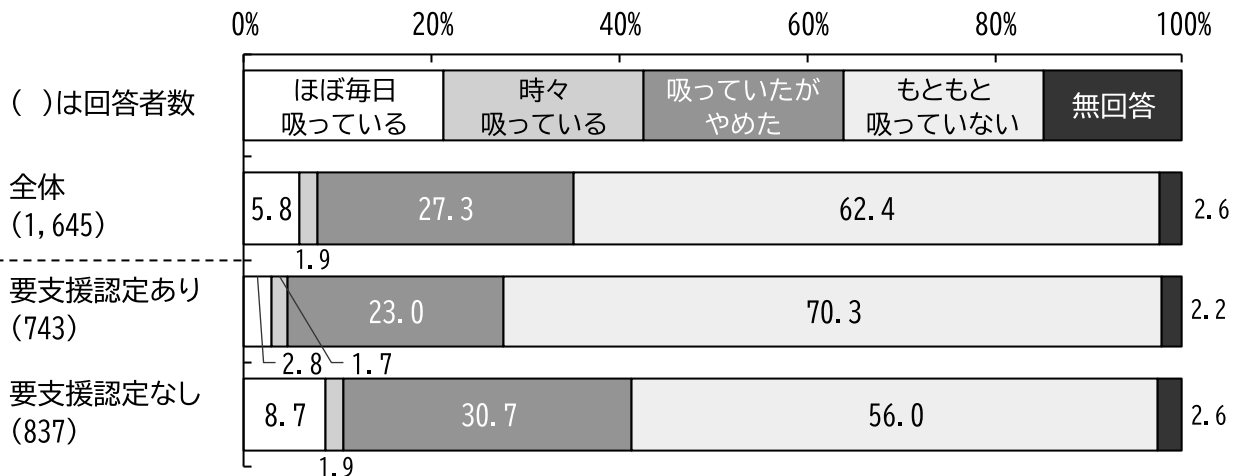
要支援認定ありでは、「もともと吸っていない」70.3%が最も高く、次いで「吸っていたがやめた」23.0%が続いています。

要支援認定なしでは、「もともと吸っていない」56.0%が最も高く、次いで「吸っていたがやめた」30.7%が続いています。

図表 1-145 タバコ



図表 1-146 タバコ【認定状況別】



## (7) 治療中・後遺症のある病気

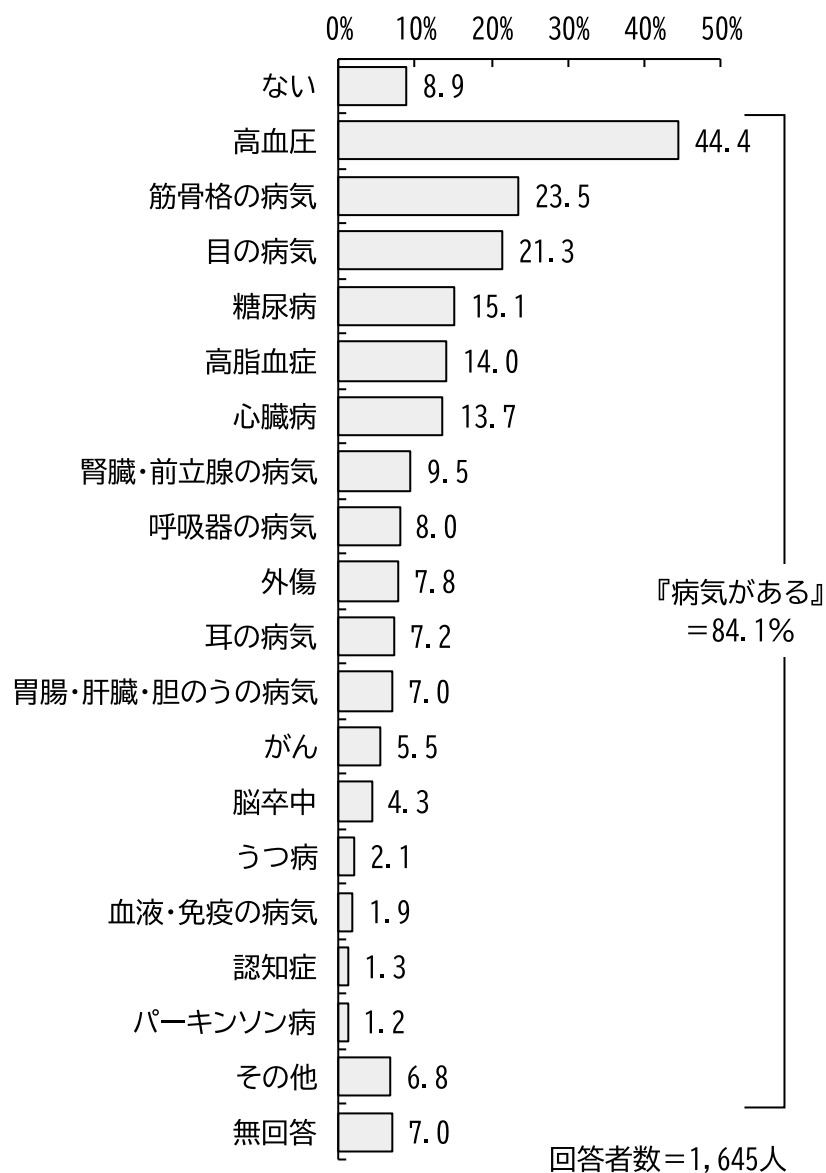
問7 (7) 現在治療中又は後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

治療中・後遺症のある病気は、全体では「高血圧」44.4%が最も高く、次いで「筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)」23.5%、「目の病気」21.3%、「糖尿病」15.1%、「高脂血症(脂質異常)」14.0%が続いています。

要支援認定ありでは、「高血圧」48.3%、「筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)」33.5%、「目の病気」25.3%が上位3位となっています。

要支援認定なしでは、「高血圧」40.9%、「目の病気」18.3%、「高脂血症(脂質異常)」16.4%が上位3位となっています。

図表 1-147 治療中・後遺症のある病気 (複数回答)



※『病気がある』(%) = 全体(%) - 「ない」(%) - 「無回答」(%)



図表 1-148 治療中・後遺症のある病気【認定状況別】

		回答者数	ない	高血圧	筋骨格の病気 (骨粗しょう症・関節症等)	目の病気	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	心臓病	腎臓・前立腺の病気	呼吸器の病気 (肺炎・気管支炎等)	外傷 (転倒・骨折等)
全体		1,645 100.0	147 8.9	730 44.4	386 23.5	351 21.3	249 15.1	231 14.0	225 13.7	156 9.5	131 8.0	128 7.8
認定状況別	要支援認定あり	743 100.0	14 1.9	359 48.3	249 33.5	188 25.3	118 15.9	89 12.0	135 18.2	84 11.3	70 9.4	96 12.9
	要支援認定なし	837 100.0	129 15.4	342 40.9	127 15.2	153 18.3	123 14.7	137 16.4	79 9.4	63 7.5	55 6.6	27 3.2

		回答者数	耳の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	がん (悪性新生物)	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	うつ病	血液・免疫の病気	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	その他	無回答
全体		1,645 100.0	119 7.2	115 7.0	90 5.5	71 4.3	34 2.1	31 1.9	21 1.3	19 1.2	112 6.8	115 7.0
認定状況別	要支援認定あり	743 100.0	72 9.7	59 7.9	50 6.7	42 5.7	21 2.8	20 2.7	14 1.9	14 1.9	54 7.3	58 7.8
	要支援認定なし	837 100.0	42 5.0	52 6.2	37 4.4	24 2.9	11 1.3	9 1.1	5 0.6	3 0.4	56 6.7	51 6.1

※上段：回答者数（人）、下段：割合（％）  
 ※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

## 9 住まいや暮らしの環境

### (1) 現在の住まいに住み続けたいか

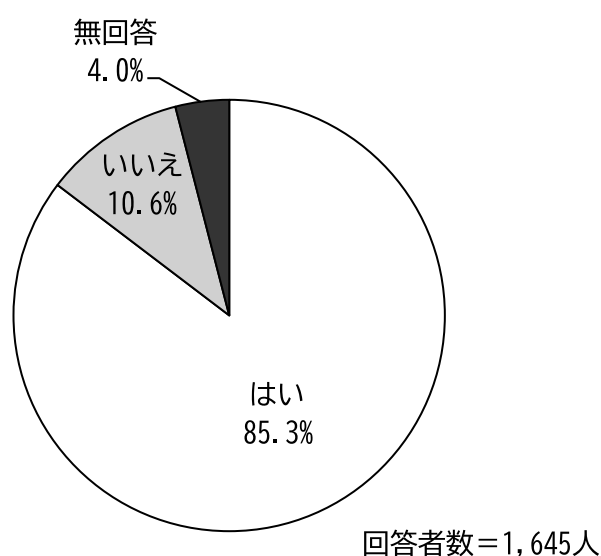
問8 (1) あなたは現在の住まいに住み続けたいと思いますか (1つを選択)

現在の住まいに住み続けたいかについては、全体では「はい」85.3%、「いいえ」10.6%となっています。

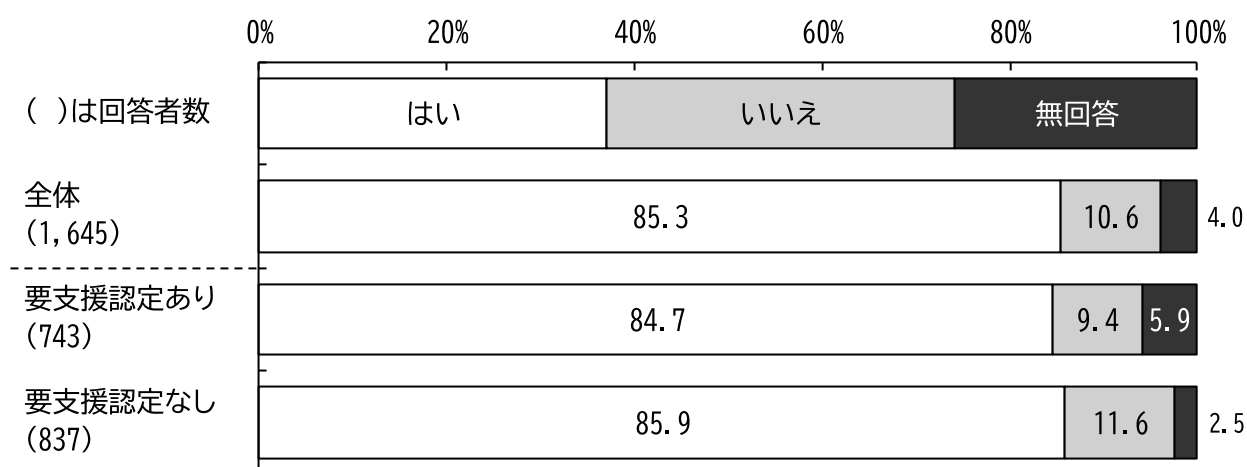
要支援認定ありでは、「はい」84.7%、「いいえ」9.4%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」85.9%、「いいえ」11.6%となっています。

図表 1-149 現在の住まいに住み続けたいか



図表 1-150 現在の住まいに住み続けたいか【認定状況別】



## (2) 住み続けたい理由

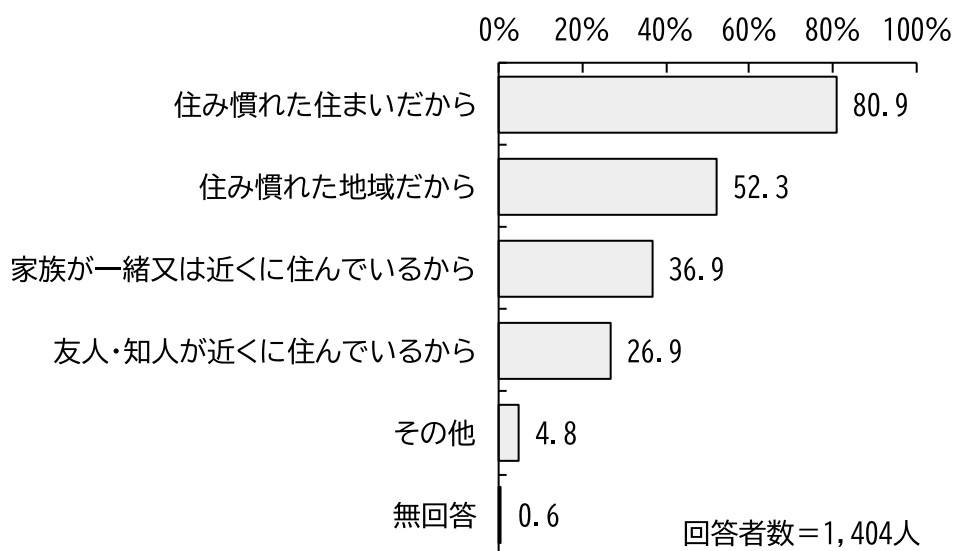
問8 (1) ①【(1)で「1. はい」(現在の住まいに住み続けたい)の方のみ】  
住み続けたい理由は次のどれですか(いくつでも)

現在の住まいに住み続けたいと思う人に、今の場所に住み続けたい理由をたずねたところ、全体では「住み慣れた住まいだから」80.9%が最も高く、次いで「住み慣れた地域だから」52.3%、「家族が一緒又は近くに住んでいるから」36.9%、「友人・知人が近くに住んでいるから」26.9%となっています。

要支援認定ありでは、「住み慣れた住まいだから」79.8%が最も高くなっています。

要支援認定なしでは、「住み慣れた住まいだから」81.6%が最も高くなっています。

図表 1-151 住み続けたい理由(複数回答)



図表 1-152 住み続けたい理由【認定状況別】

		回答者数	住み慣れた住まい だから	住み慣れた地域 だから	家族が一緒又は 近くに	友人・知人が 近くに	その他	無 回答
全体		1,404 100.0	1,136 80.9	734 52.3	518 36.9	377 26.9	67 4.8	8 0.6
認定 状況 別	要支援認定 あり	629 100.0	502 79.8	306 48.6	243 38.6	170 27.0	31 4.9	3 0.5
	要支援認定 なし	719 100.0	587 81.6	408 56.7	258 35.9	197 27.4	34 4.7	4 0.6

※上段：回答者数(人)、下段：割合(%)  
※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

### (3) 住み続けたいと思わない理由

問8 (1) ②【(1)で「2. いいえ」(現在の住まいに住み続けたいと思わない)の方のみ】

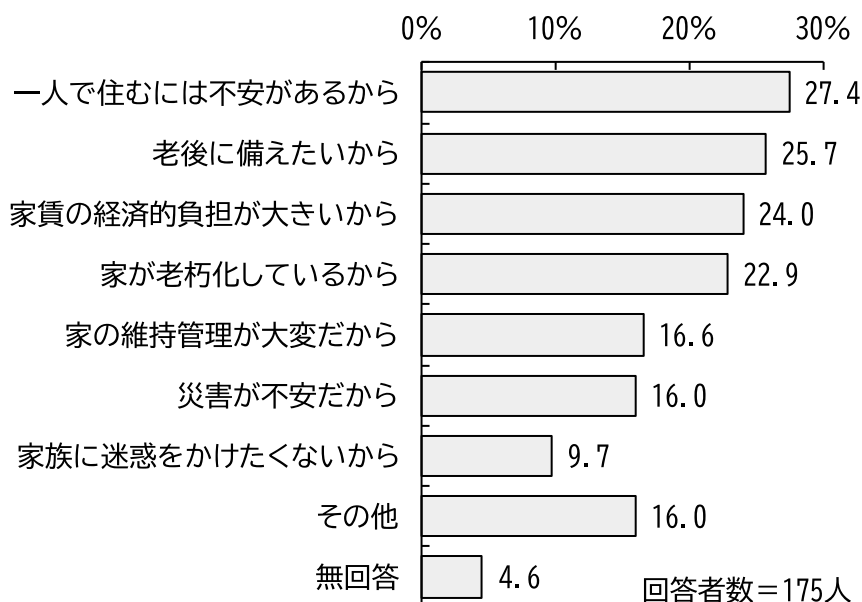
住み続けたいと思わない理由は次のどれですか (いくつでも)

現在の住まいに住み続けたいと思わない人に、その理由をたずねたところ、全体では「一人で住むには不安があるから」27.4%が最も高く、次いで「老後に備えたいから」25.7%、「家賃の経済的負担が大きいから」24.0%、「家が老朽化しているから」22.9%が続いています。

要支援認定ありでは、「一人で住むには不安があるから」32.9%が最も高くなっています。

要支援認定なしでは、「老後に備えたいから」27.8%が最も高くなっています。

図表 1-153 住み続けたいと思わない理由 (複数回答)



図表 1-154 住み続けたいと思わない理由【認定状況別】

		回答者数	一人で住むには不安があるから	老後に備えたいから	家賃の経済的負担が大きいから	家が老朽化しているから	家の維持管理が大変だから	災害が不安だから	家族に迷惑をかけたくないから	その他	無回答
全体		175	48	45	42	40	29	28	17	28	8
		100.0	27.4	25.7	24.0	22.9	16.6	16.0	9.7	16.0	4.6
認定状況別	要支援認定あり	70	23	15	17	17	10	16	8	10	5
		100.0	32.9	21.4	24.3	24.3	14.3	22.9	11.4	14.3	7.1
	要支援認定なし	97	22	27	24	20	17	12	9	16	3
		100.0	22.7	27.8	24.7	20.6	17.5	12.4	9.3	16.5	3.1

※上段：回答者数 (人)、下段：割合 (%)

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

#### (4) 今後暮らしたいと思う場所

問8 (1) ③【(1)で「2. いいえ」(現在の住まいに住み続けたいと思わない)の方のみ】  
 今後どのような場所で暮らしたいと思いますか (いくつでも)

現在の住まいに住み続けたいと思わない人に、今後どのような場所で暮らしたいと思うかをたずねたところ、全体では「高齢者向け住宅(※)」37.1%が最も高く、次いで「自宅を住み替えたい」21.7%、「介護施設(老人ホーム等)」18.3%が続いています。

要支援認定ありでは、「高齢者向け住宅(※)」38.6%、「介護施設(老人ホーム等)」31.4%、「自宅を住み替えたい」20.0%が上位3位となっています。

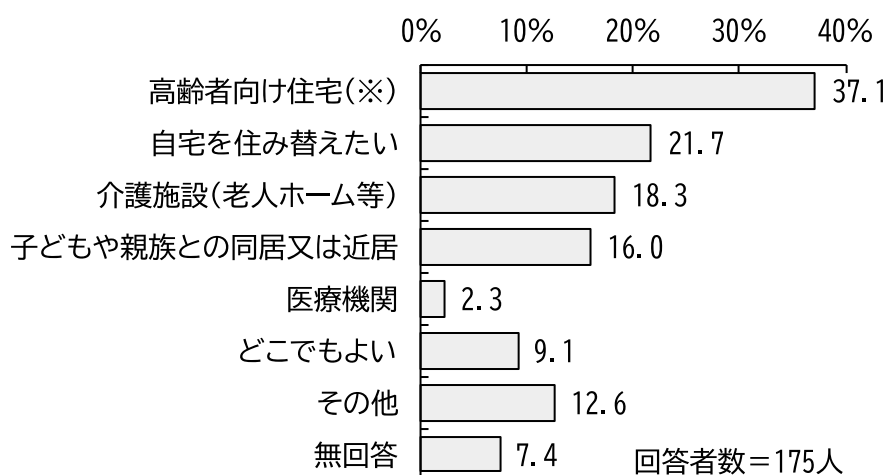
要支援認定なしでは、「高齢者向け住宅(※)」36.1%、「自宅を住み替えたい」23.7%、「子どもや親族との同居又は近居」19.6%が上位3位となっています。

##### ※高齢者向け住宅

手すりや緊急通報システム装置等、高齢者に配慮した設備を備えている住宅です。

(具体例)シルバーピア住宅、高齢者向け優良賃貸住宅、サービス付き高齢者向け住宅、シニア向けマンション等

図表 1-155 今後暮らしたいと思う場所 (複数回答)



図表 1-156 今後暮らしたいと思う場所【認定状況別】

		回答者数	高齢者向け住宅	自宅を住み替えたい	介護施設(老人ホーム等)	子どもや親族との同居又は近居	医療機関	どこでもよい	その他	無回答
全体		175	65	38	32	28	4	16	22	13
		100.0	37.1	21.7	18.3	16.0	2.3	9.1	12.6	7.4
認定状況別	要支援認定あり	70	27	14	22	7	3	3	8	9
		100.0	38.6	20.0	31.4	10.0	4.3	4.3	11.4	12.9
認定状況別	要支援認定なし	97	35	23	8	19	1	13	12	3
		100.0	36.1	23.7	8.2	19.6	1.0	13.4	12.4	3.1

※上段：回答者数 (人)、下段：割合 (%)

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

## (5) 現在の住まいに住み続ける上での不安

### 問8 (1) ④【すべての方にお伺いします】

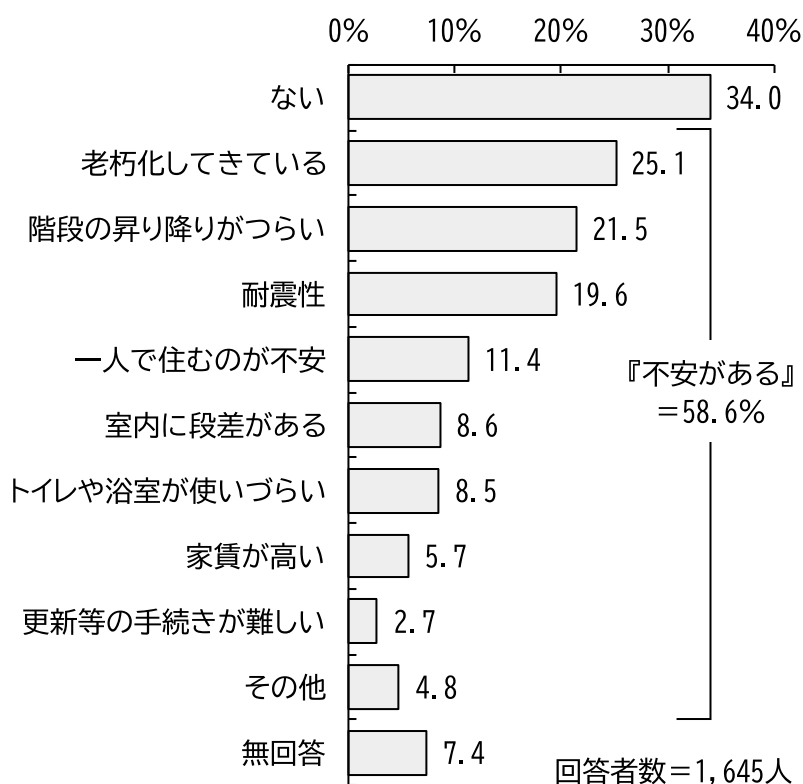
現在の住まいに住み続ける上での不安はありますか（いくつでも）

現在の住まいに住み続ける上での不安については、不安は「ない」34.0%が最も高く、次いで「老朽化してきている」25.1%、「階段の昇り降りがづらい」21.5%、「耐震性」19.6%、「一人で住むのが不安」11.4%が続いています。

要支援認定ありでは、「ない」31.0%、「階段の昇り降りがづらい」26.5%、「老朽化してきている」23.4%が上位3位となっています。

要支援認定なしでは、「ない」37.5%、「老朽化してきている」26.4%、「耐震性」20.3%が上位3位となっています。

図表 1-157 現在の住まいに住み続ける上での不安（複数回答）



※『不安がある』(%) = 全体(%) - 「ない」(%) - 「無回答」(%)

図表 1-158 現在の住まいに住み続ける上での不安【認定状況別】

		回答者数	ない	老朽化してきている	階段の昇り降りがつらい	耐震性	一人で住むのが不安	室内に段差がある	トイレや浴室が使いづらい	家賃が高い	更新等の手続きが難しい	その他	無回答
全体		1,645 100.0	559 34.0	413 25.1	353 21.5	322 19.6	187 11.4	142 8.6	140 8.5	93 5.7	45 2.7	79 4.8	121 7.4
認定状況別	要支援認定あり	743 100.0	230 31.0	174 23.4	197 26.5	140 18.8	112 15.1	74 10.0	76 10.2	37 5.0	23 3.1	30 4.0	73 9.8
	要支援認定なし	837 100.0	314 37.5	221 26.4	135 16.1	170 20.3	67 8.0	60 7.2	58 6.9	54 6.5	19 2.3	46 5.5	41 4.9

※上段：回答者数（人）、下段：割合（％）

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

住み続けたいか別でみると、住み続けたいでは、不安は「ない」38.7%、「老朽化してきている」25.1%、「階段の昇り降りがつらい」20.9%が上位3位となっています。

住み続けたくないでは、「老朽化してきている」「階段の昇り降りがつらい」がともに 32.6%、「一人で住むのが不安」24.6%が上位3位となっています。

図表 1-159 現在の住まいに住み続ける上での不安【住み続けたいか別】

		回答者数	ない	老朽化してきている	階段の昇り降りがつらい	耐震性	一人で住むのが不安	室内に段差がある	トイレや浴室が使いづらい	家賃が高い	更新等の手続きが難しい	その他	無回答
全体		1,645 100.0	559 34.0	413 25.1	353 21.5	322 19.6	187 11.4	142 8.6	140 8.5	93 5.7	45 2.7	79 4.8	121 7.4
住み続けたいか別	はい	1404 100.0	543 38.7	353 25.1	293 20.9	281 20.0	143 10.2	118 8.4	117 8.3	60 4.3	26 1.9	57 4.1	55 3.9
	いいえ	175 100.0	16 9.1	57 32.6	57 32.6	40 22.9	43 24.6	24 13.7	20 11.4	33 18.9	18 10.3	22 12.6	6 3.4

※上段：回答者数（人）、下段：割合（％）

※網掛けはそれぞれの属性で最も高い項目

## 10 認知症にかかる相談窓口の把握

### (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか

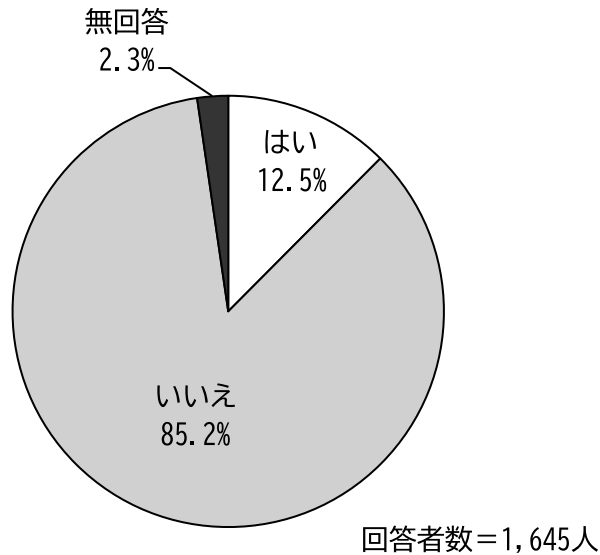
問9 (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか  
(1つを選択)

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについては、全体では「はい」12.5%、「いいえ」85.2%となっています。

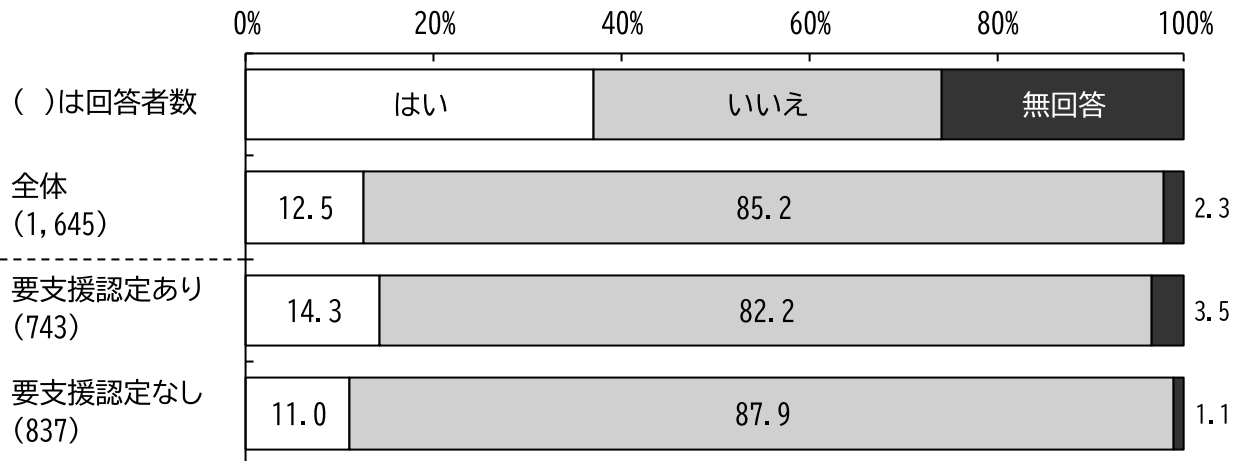
要支援認定ありでは、「はい」14.3%、「いいえ」82.2%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」11.0%、「いいえ」87.9%となっています。

図表 1-160 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか



図表 1-161 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか【認定状況別】





## (2) 認知症に関する相談窓口を知っているか

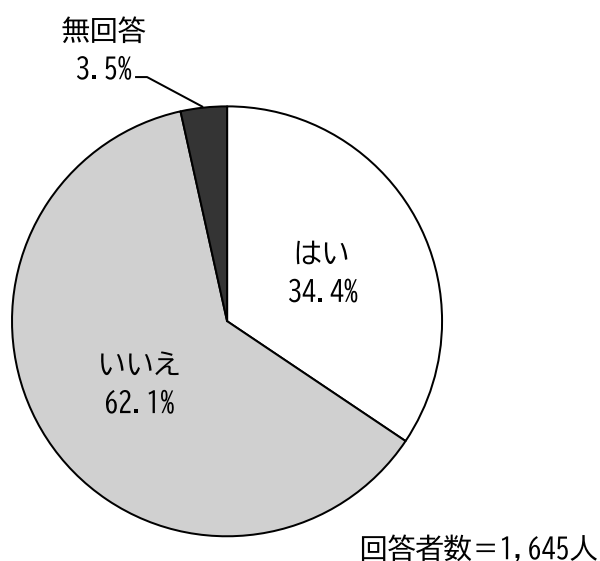
問9 (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (1つを選択)

認知症に関する相談窓口を知っているかについては、全体では「はい」34.4%、「いいえ」62.1%となっています。

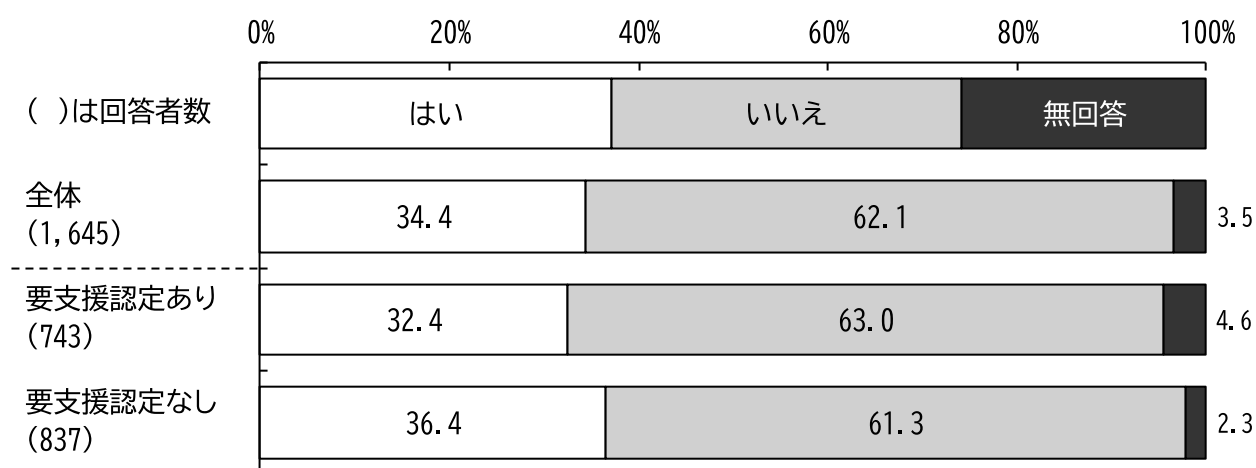
要支援認定ありでは、「はい」32.4%、「いいえ」63.0%となっています。

要支援認定なしでは、「はい」36.4%、「いいえ」61.3%となっています。

図表 1-162 認知症に関する相談窓口を知っているか



図表 1-163 認知症に関する相談窓口を知っているか【認定状況別】



# 11 高齢者総合相談センター

## (1) 高齢者総合相談センターの認知度

問 10 (1) 高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）を知っていますか  
(1つを選択)

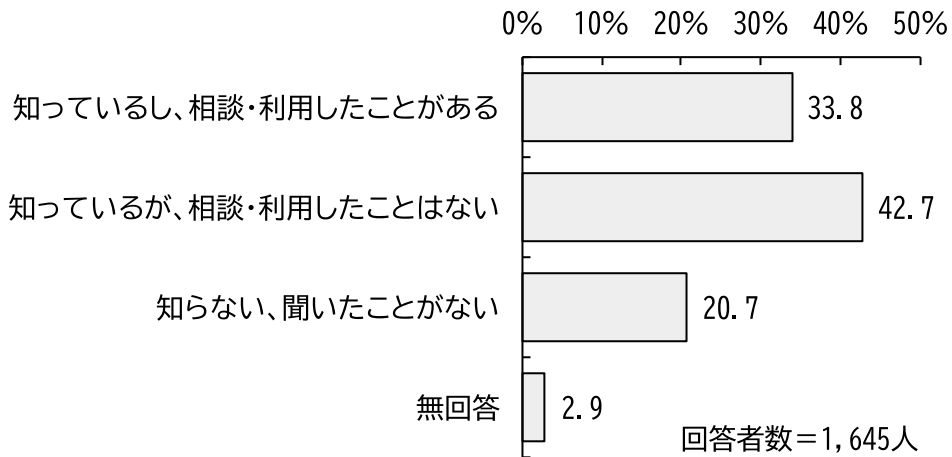
高齢者総合相談センターを知っているかについては、全体では「知っているが、相談・利用したことはない」42.7%が最も高く、次いで「知っているし、相談・利用したことがある」33.8%、「知らない、聞いたことがない」20.7%となっています。

要支援認定ありでは、「知っているし、相談・利用したことがある」55.2%が最も高く、「知っているが、相談・利用したことはない」28.0%となっています。

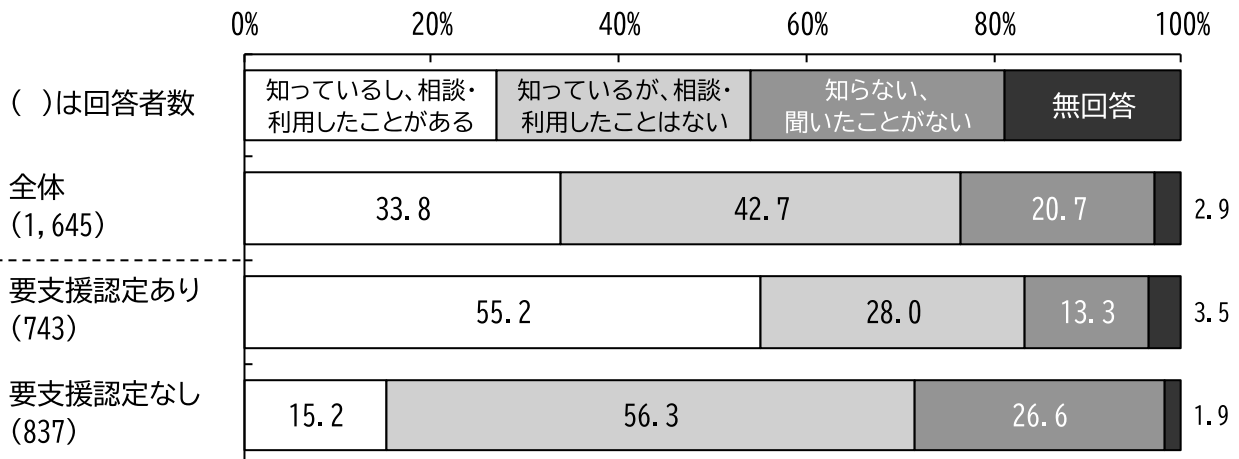
要支援認定なしでは、「知っているが、相談・利用したことはない」56.3%が最も高く、「知らない、聞いたことがない」26.6%となっています。

※葛飾区では、地域包括支援センターが高齢者の方の相談窓口であることがわかるよう、「高齢者総合相談センター」という通称名を使用しています。

図表 1-164 高齢者総合相談センターの認知度



図表 1-165 高齢者総合相談センターの認知度【認定状況別】



## 12 各種リスクの状況

本調査は、厚生労働省が示す介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引きに基づき実施しており、次ページ以降に、以下の7つのリスクについて該当する回答者の割合を算出しています。

7つのリスク	
(1) 運動器について	(5) 口腔機能について
(2) 転倒について	(6) 認知機能について
(3) 閉じこもりについて	(7) うつ傾向について
(4) 低栄養状態について	

7つのリスクについては、それぞれ以下①②③を集計しています。

### ①認定状況別、日常生活圏域別リスク状況

本年度調査の結果です。

### ②過去3年間の全体比較

過去3年間の「全体」について比較をしています。

### ③過去3年間のリスクあり該当者の認定状況別、日常生活圏域別比較

リスクあり該当者の割合だけを抜粋して、全体、認定状況別、日常生活圏域別を掲載しています。％の基数となる回答者数は下表のとおりです。

<年度ごとの回答数>

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
全 体	1,645	1,735	1,714
要支援認定あり	743	815	776
要支援認定なし	837	836	866
立石・四つ木地区	283	260	290
南綾瀬・お花茶屋・堀切地区	234	250	249
亀有・青戸地区	197	228	203
奥戸・新小岩地区	256	275	258
柴又・高砂地区	277	301	290
金町・新宿地区	223	233	232
水元地区	175	188	190

## (1) 運動器について

以下の5つの設問で運動器の機能低下に該当しているか判定します。3問以上、該当する選択肢が回答された場合は、運動機能の低下している高齢者になります。

＜運動機能の低下している高齢者：下記5項目中、3項目以上該当する人＞

問2(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

問2(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

問2(3) 15分位続けて歩いていますか

問2(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

問2(5) 転倒に対する不安は大きいですか

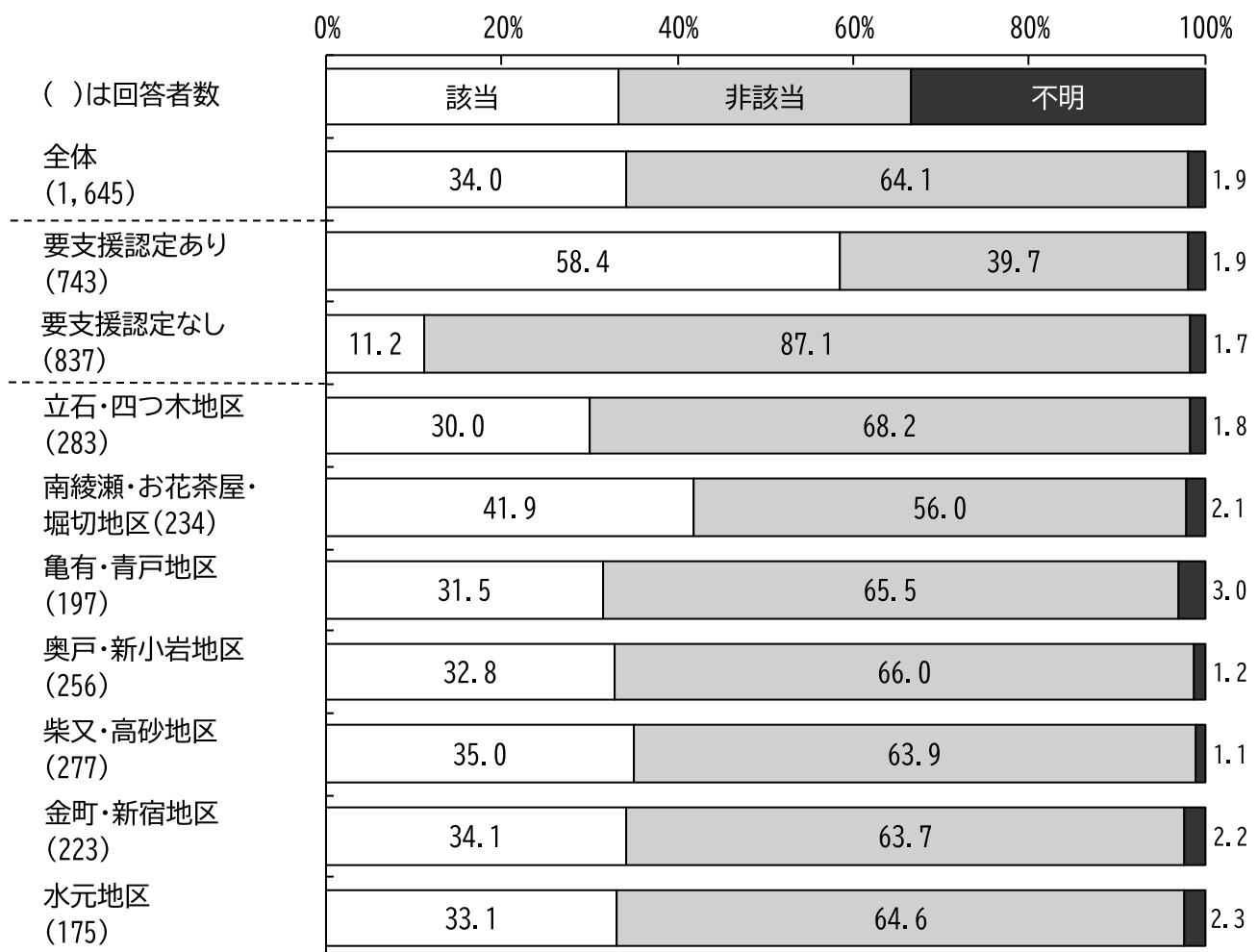
### ①運動器の機能低下リスクの状況

運動器の機能低下リスクの状況については、リスクありに該当する割合が全体で34.0%となりました。

リスクありに該当する割合を要支援認定状況別にみると、要支援認定あり58.4%、要支援認定なし11.2%であり、要支援認定ありは要支援認定なしに比べて+47.2ポイントとなっています。

日常生活圏域別にみると、リスクありが最も高い地区は南綾瀬・お花茶屋・堀切地区の41.9%となっています。

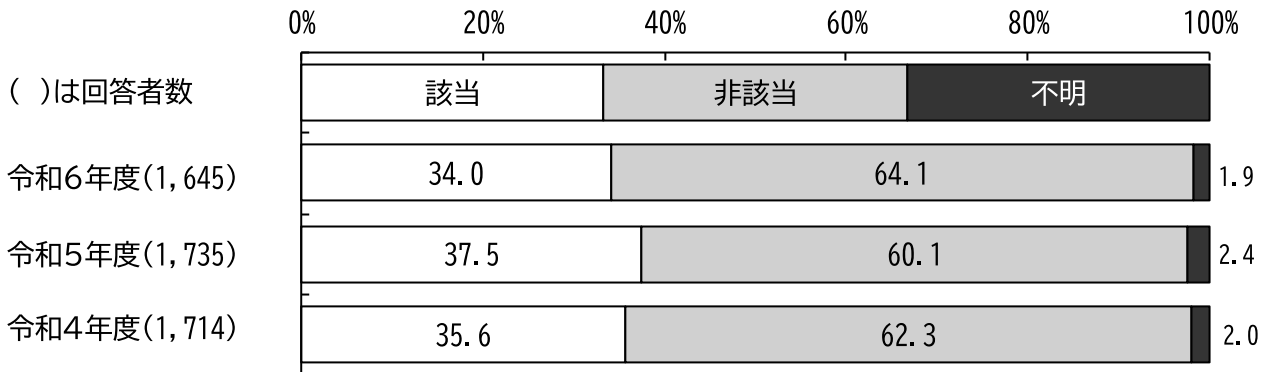
図表 1-166 運動器の機能低下リスク【認定状況別／日常生活圏域別】



## ②過去3年間の全体比較

リスクありに該当する割合の3年間の推移をみると、全体では令和4年度 35.6%、令和5年度 37.5%、令和6年度 34.0%となっています。

図表 1-167 運動器の機能低下リスク【過去3年間の全体比較】

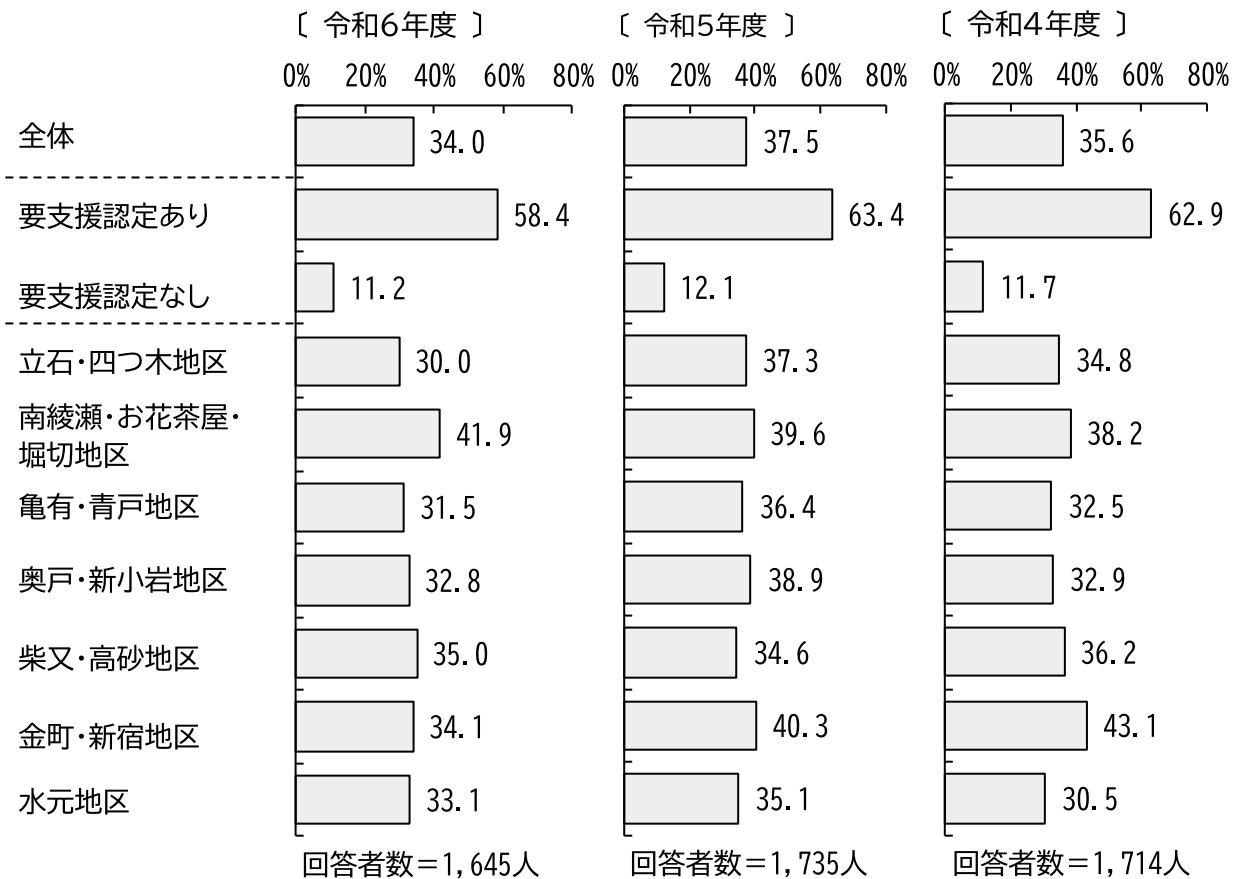


## ③過去3年間の認定状況別／日常生活圏域別比較

リスクあり該当者の割合について、要支援認定ありでは62.9%→63.4%→58.4%、要支援認定なしでは11.7%→12.1%→11.2%で推移しています。

リスクあり該当者の割合が最も高い地区は、令和4年度と令和5年度は金町・新宿地区で43.1%→40.3%、令和6年度は南綾瀬・お花茶屋・堀切地区で41.9%となっています。

図表 1-168 運動器の機能低下リスク【過去3年間の認定状況別／日常生活圏域別比較】



## (2) 転倒について

以下の設問で転倒のおそれがあるか判定します。該当する選択肢が回答された場合は、転倒のおそれがある高齢者になります。

＜転倒のおそれがある高齢者：「何度もある」「1度ある」に該当する人＞  
問2(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

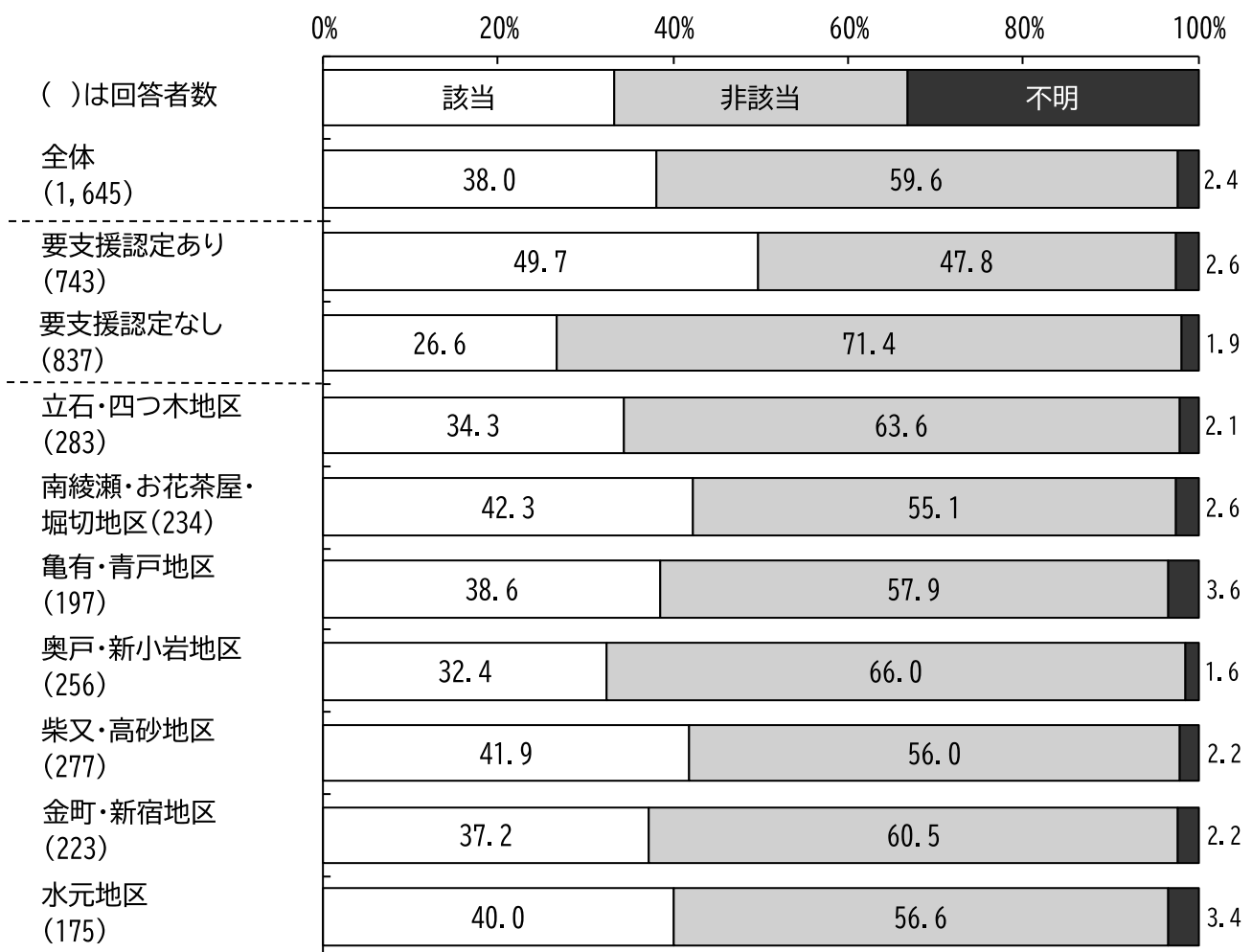
### ①転倒リスクの状況

転倒については、リスクありに該当する割合が全体で38.0%となりました。

リスクありに該当する割合を要支援認定状況別にみると、要支援認定あり49.7%、要支援認定なし26.6%であり、要支援認定ありは要支援認定なしに比べて+23.1ポイントとなっています。

日常生活圏域別にみると、リスクありが最も高い地区は南綾瀬・お花茶屋・堀切地区の42.3%となっています。

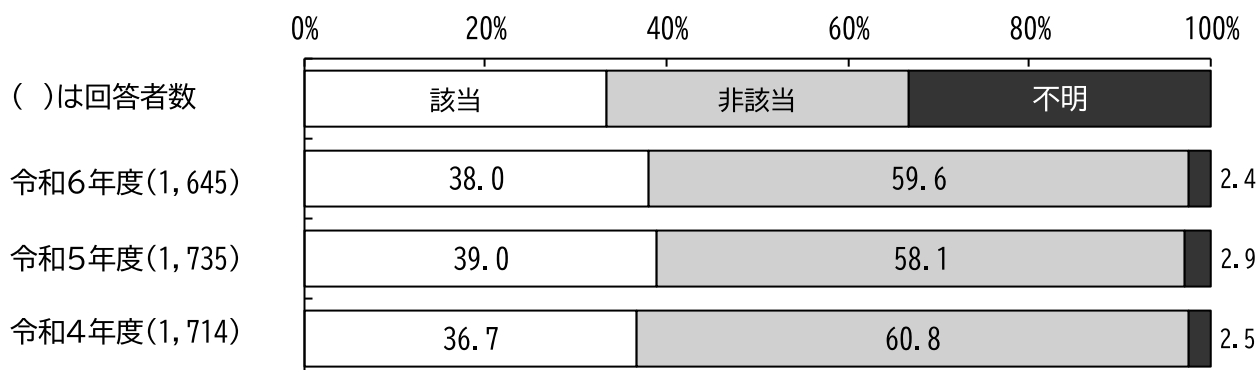
図表 1-169 転倒リスク【認定状況別／日常生活圏域別】



## ②過去3年間の全体比較

リスクありに該当する割合の3年間の推移をみると、全体では令和4年度 36.7%、令和5年度 39.0%、令和6年度 38.0%となっています。

図表 1-170 転倒リスク【過去3年間の全体比較】

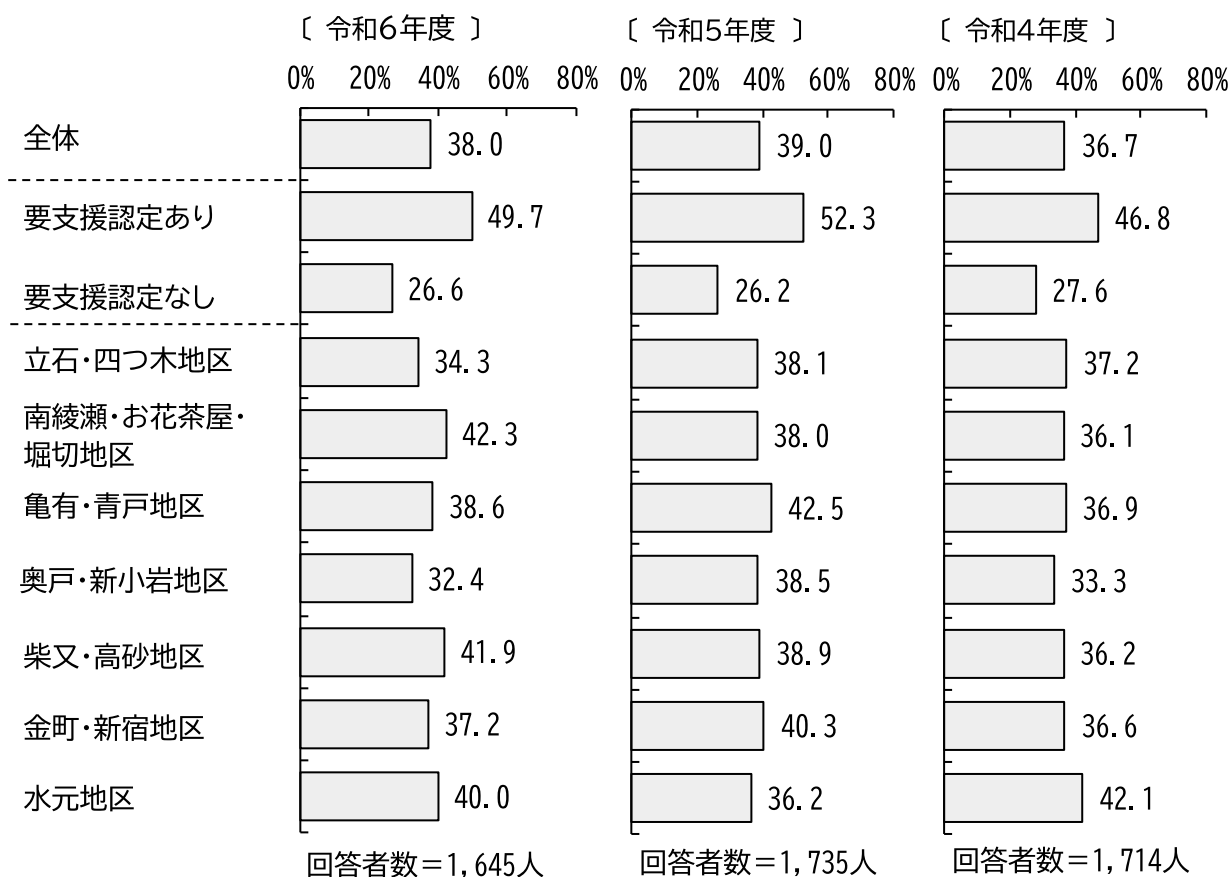


## ③過去3年間の認定状況別／日常生活圏域別比較

リスクあり該当者の割合について、要支援認定ありでは46.8%→52.3%→49.7%、要支援認定なしでは27.6%→26.2%→26.6%で推移しています。

リスクあり該当者の割合が最も高い地区は、令和4年度は水元地区 42.1%、令和5年度は亀有・青戸地区 42.5%、令和6年度は南綾瀬・お花茶屋・堀切地区 42.3%となっています。

図表 1-171 転倒リスク【過去3年間の認定状況別／日常生活圏域別比較】



### (3) 閉じこもりについて

以下の設問で閉じこもり傾向について判定します。該当する選択肢が回答された場合は、閉じこもり傾向のある高齢者になります。

<閉じこもり傾向のある高齢者：「ほとんど外出しない」「週1回」に該当する人>  
問2（6）週に1回以上は外出していますか

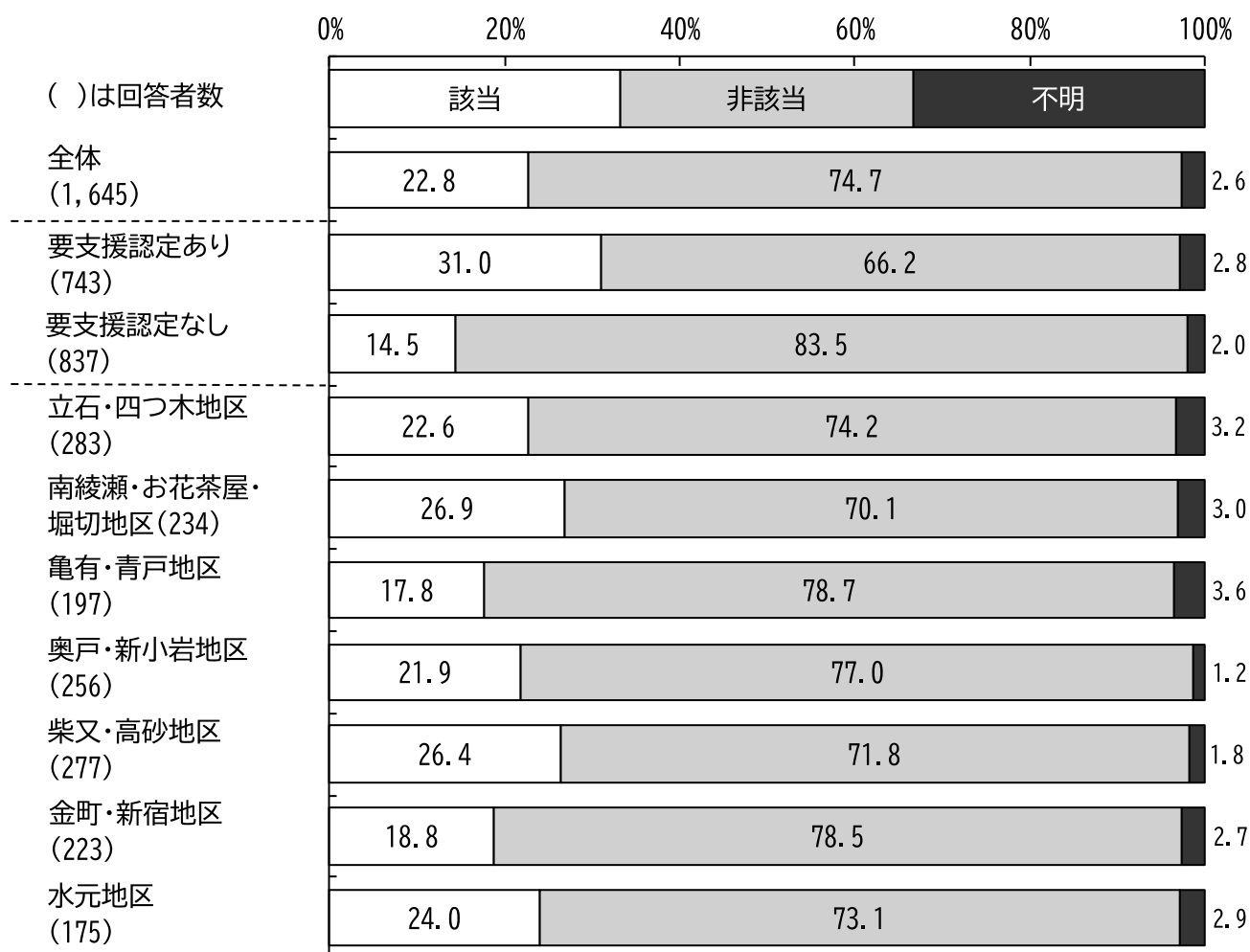
#### ①閉じこもりリスクの状況

閉じこもりについては、リスクありに該当する割合が全体で22.8%となりました。

リスクありに該当する割合を要支援認定状況別にみると、要支援認定あり31.0%、要支援認定なし14.5%であり、要支援認定ありは要支援認定なしに比べて+16.5ポイントとなっています。

日常生活圏域別にみると、リスクありが最も高い地区は南綾瀬・お花茶屋・堀切地区の26.9%となっています。

図表 1-172 閉じこもりリスク【認定状況別／日常生活圏域別】

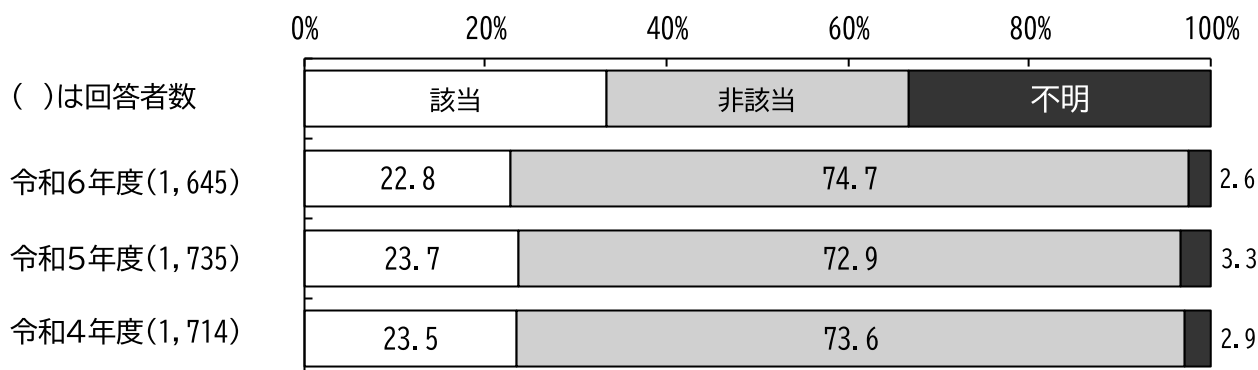




## ②過去3年間の全体比較

リスクありに該当する割合の3年間の推移をみると、全体では令和4年度 23.5%、令和5年度 23.7%、令和6年度 22.8%となっています。

図表 1-173 閉じこもりリスク【過去3年間の全体比較】

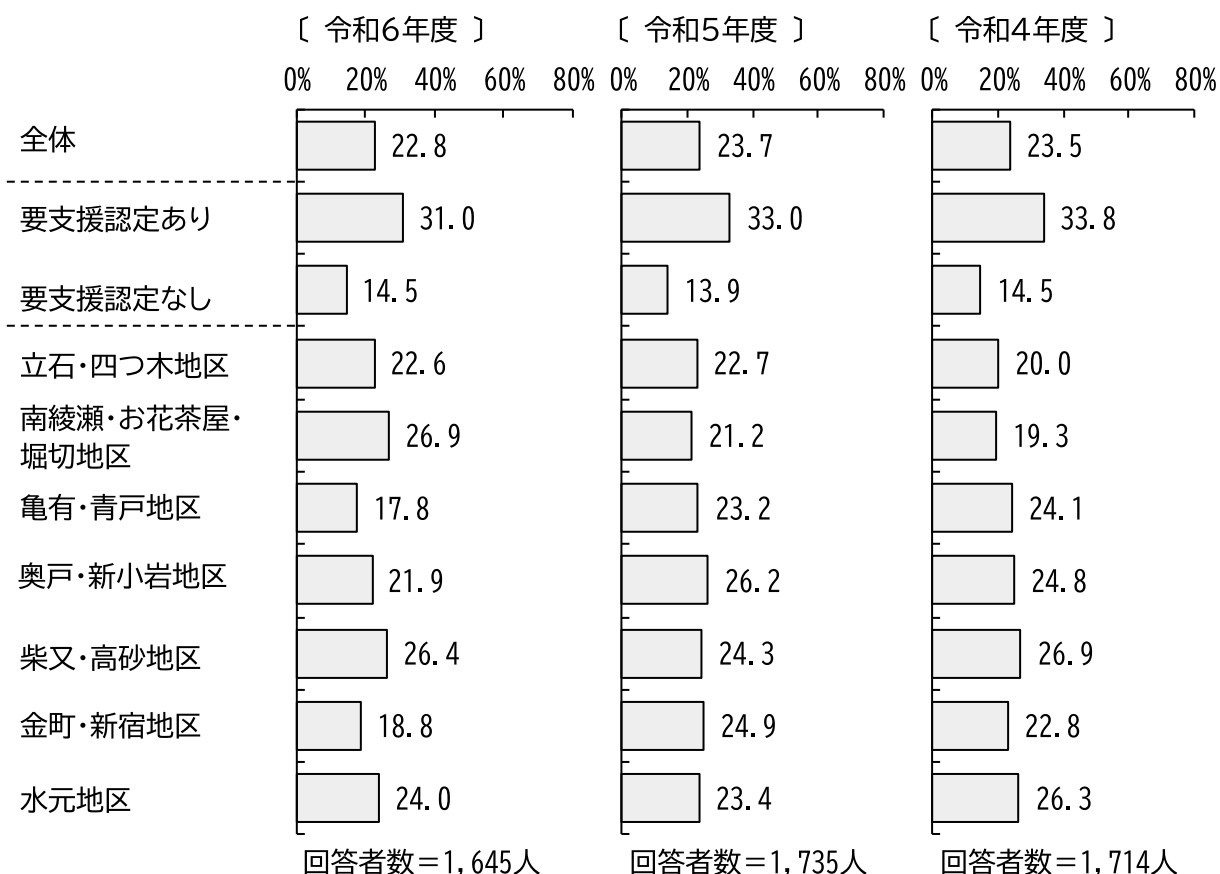


## ③過去3年間の認定状況別／日常生活圏域別比較

リスクありに該当する割合について、要支援認定ありでは 33.8%→33.0%→31.0%、要支援認定なしでは 14.5%→13.9%→14.5%で推移しています。

リスクあり該当者の割合が最も高い地区は、令和4年度は柴又・高砂地区 26.9%、令和5年度は奥戸・新小岩地区 26.2%、令和6年度は南綾瀬・お花茶屋・堀切地区 26.9%となっています。

図表 1-174 閉じこもりリスク【過去3年間の認定状況別／日常生活圏域別比較】



#### (4) 低栄養状態について

以下の設問で低栄養の傾向について判定します。どちらも該当する選択肢が回答された場合は、低栄養状態にある高齢者になります。

＜低栄養状態にある高齢者：下記2項目、どちらも該当する人＞

問3(1) 身長・体重 (BMI 18.5 以下)

問3(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

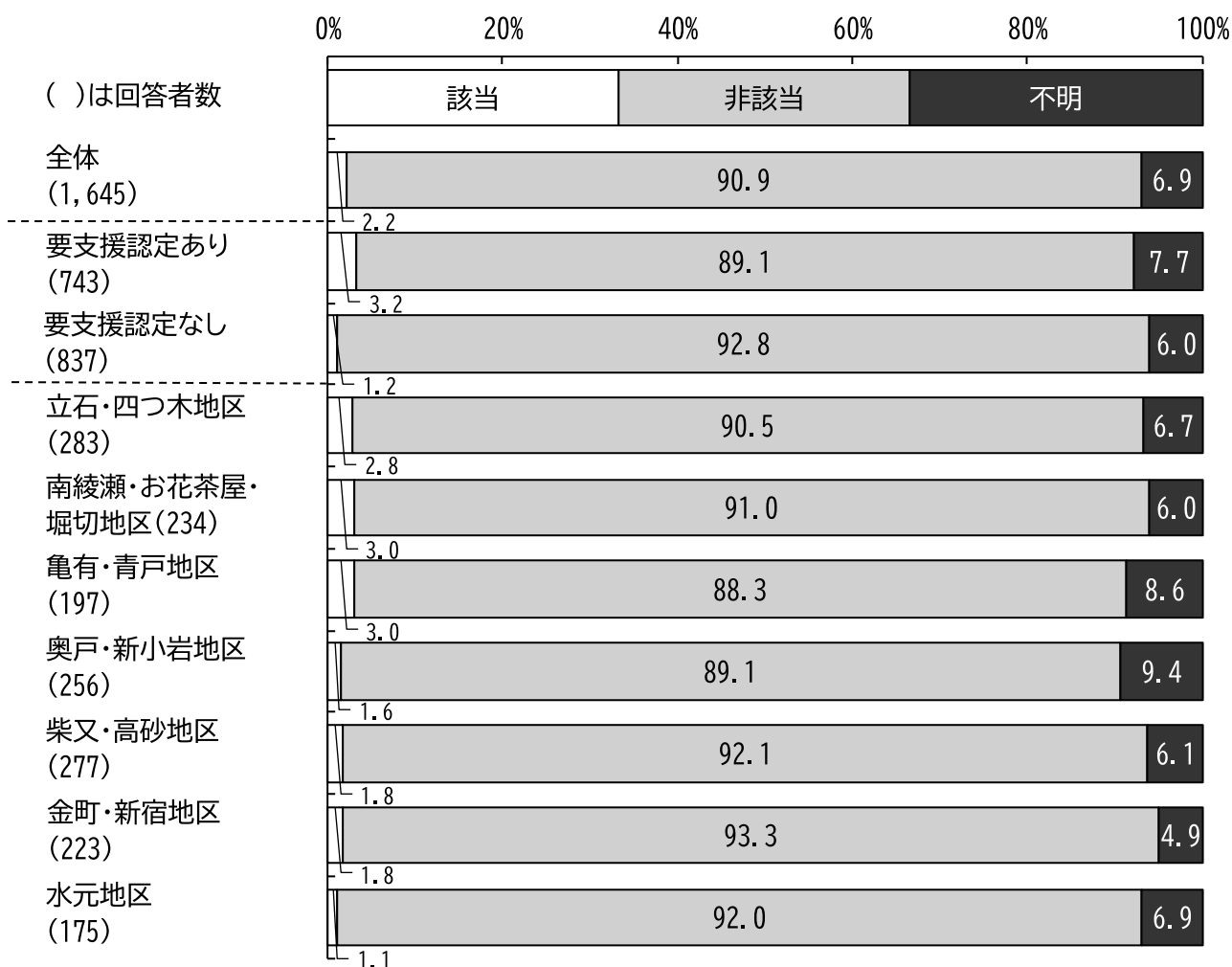
##### ①低栄養リスクの状況

低栄養状態については、リスクありに該当する割合が全体で2.2%となりました。

リスクありに該当する割合を要支援認定状況別にみると、要支援認定あり3.2%、要支援認定なし1.2%であり、要支援認定ありは要支援認定なしに比べて+2.0ポイントとなっています。

日常生活圏域別にみると、リスクありが最も高い地区は南綾瀬・お花茶屋・堀切地区と亀有・青戸地区でともに3.0%となっています。

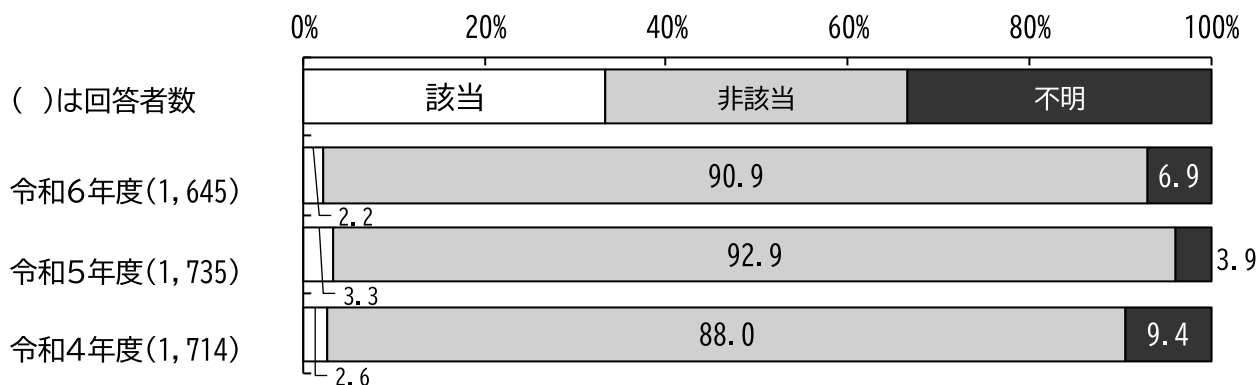
図表 1-175 低栄養リスク【認定状況別／日常生活圏域別】



## ②過去3年間の全体比較

リスクありに該当する割合の3年間の推移をみると、全体では令和4年度 2.6%、令和5年度 3.3%、令和6年度 2.2%となっています。

図表 1-176 低栄養リスク【過去3年間の全体比較】

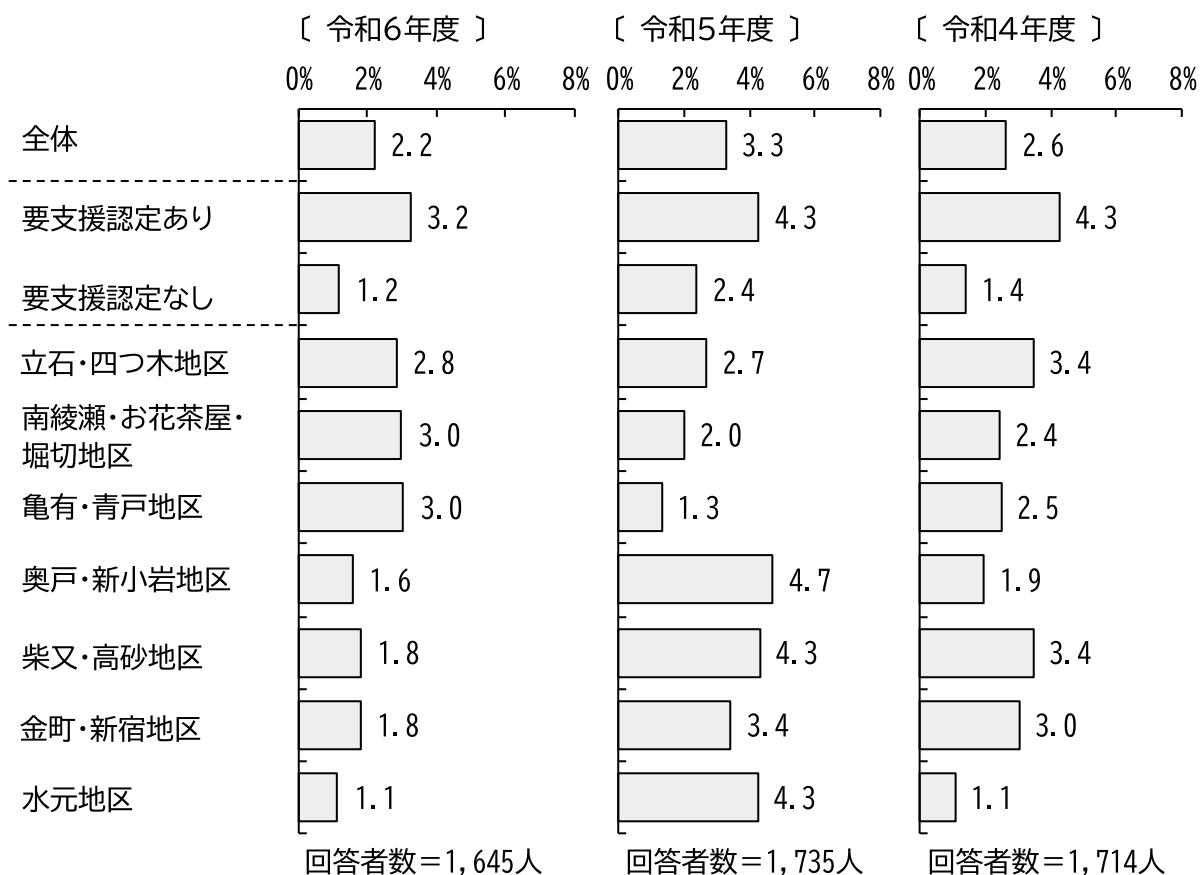


## ③過去3年間の認定状況別／日常生活圏域別比較

リスクありに該当する割合について、要支援認定ありでは 4.3%→4.3%→3.2%、要支援認定なしでは 1.4%→2.4%→1.2%で推移しています。

リスクあり該当者の割合が最も高い地区は、令和4年度は立石・四つ木地区、柴又・高砂地区 3.4%、令和5年度は奥戸・新小岩地区 4.7%、令和6年度は南綾瀬・お花茶屋・堀切地区と亀有・青戸地区でともに 3.0%となっています。

図表 1-177 低栄養リスク【過去3年間の認定状況別／日常生活圏域別比較】



## (5) 口腔機能について

以下の3つの設問で口腔機能の低下に該当しているか判定します。2問以上、該当する選択肢が回答された場合は、口腔機能の低下している高齢者になります。

＜口腔機能の低下している高齢者：下記3項目中、2項目以上該当する人＞

問3（2）半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

問3（3）お茶や汁物等でむせることがありますか

問3（4）口の渇きが気になりますか

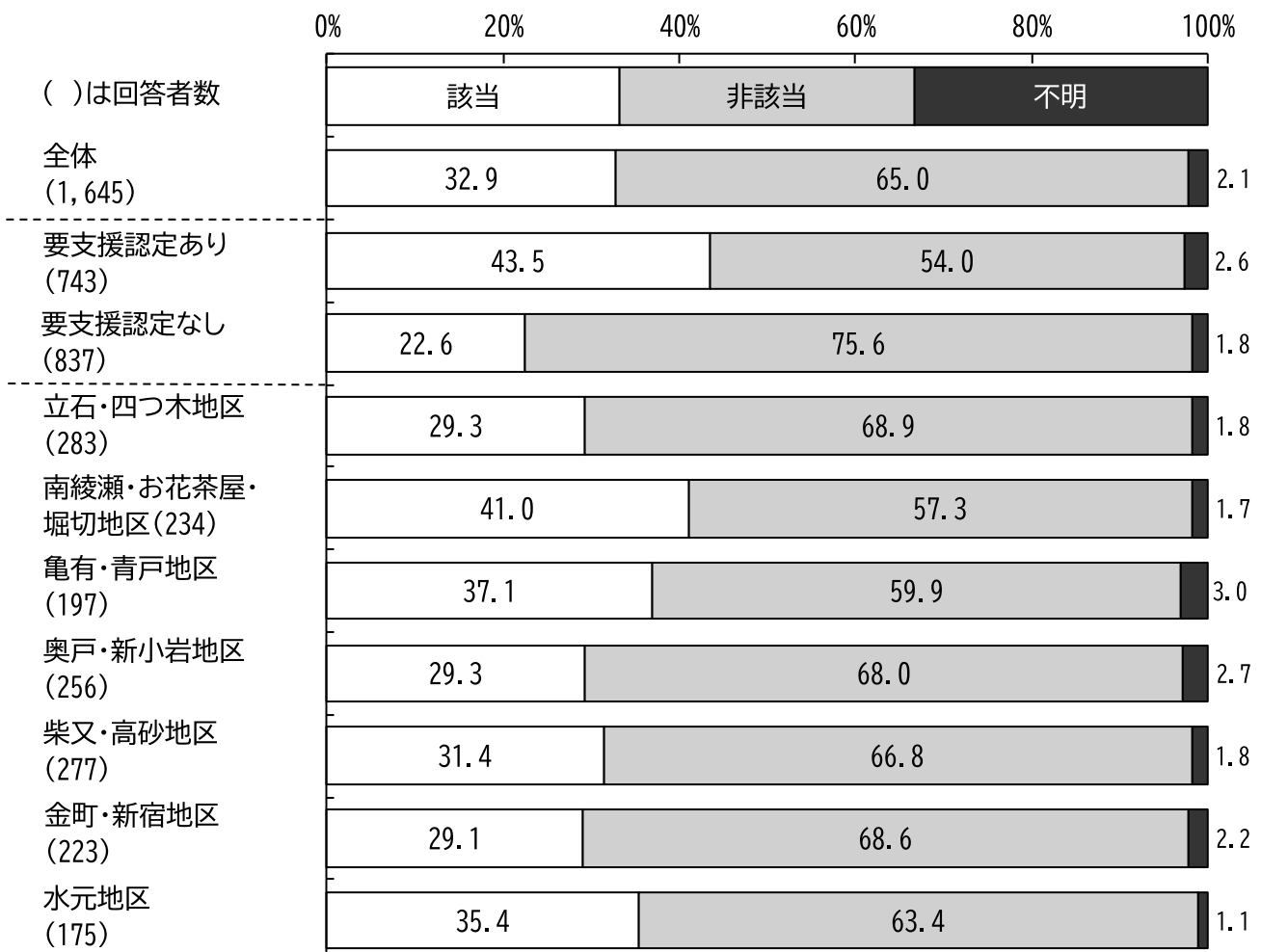
### ①口腔機能の低下リスクの状況

口腔機能については、リスクありに該当する割合が全体で32.9%となりました。

リスクありに該当する割合を要支援認定状況別にみると、要支援認定あり43.5%、要支援認定なし22.6%であり、要支援認定ありは要支援認定なしに比べて+20.9ポイントとなっています。

日常生活圏域別にみると、リスクありが最も高い地区は南綾瀬・お花茶屋・堀切地区の41.0%となっています。

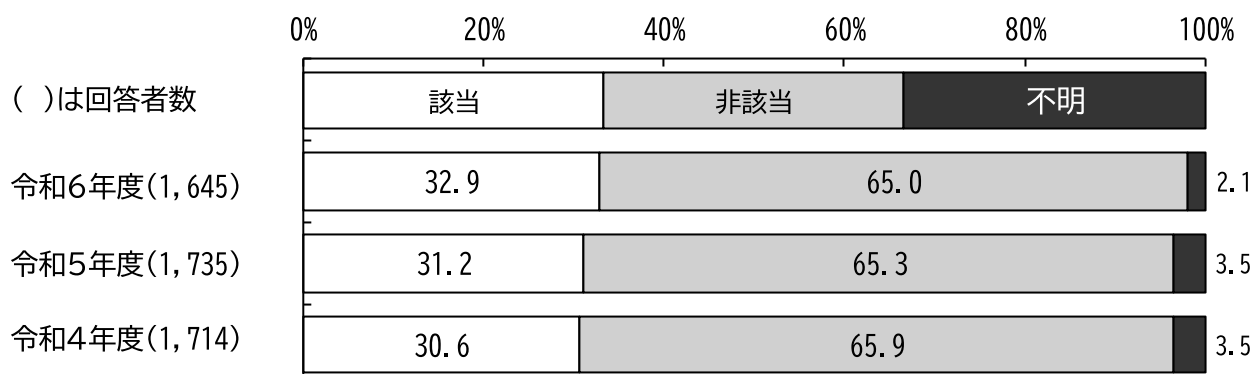
図表 1-178 口腔機能の低下リスク【認定状況別／日常生活圏域別】



## ②過去3年間の全体比較

リスクありに該当する割合の3年間の推移をみると、全体では令和4年度 30.6%、令和5年度 31.2%、令和6年度 32.9%となっています。

図表 1-179 口腔機能の低下リスク【過去3年間の全体比較】

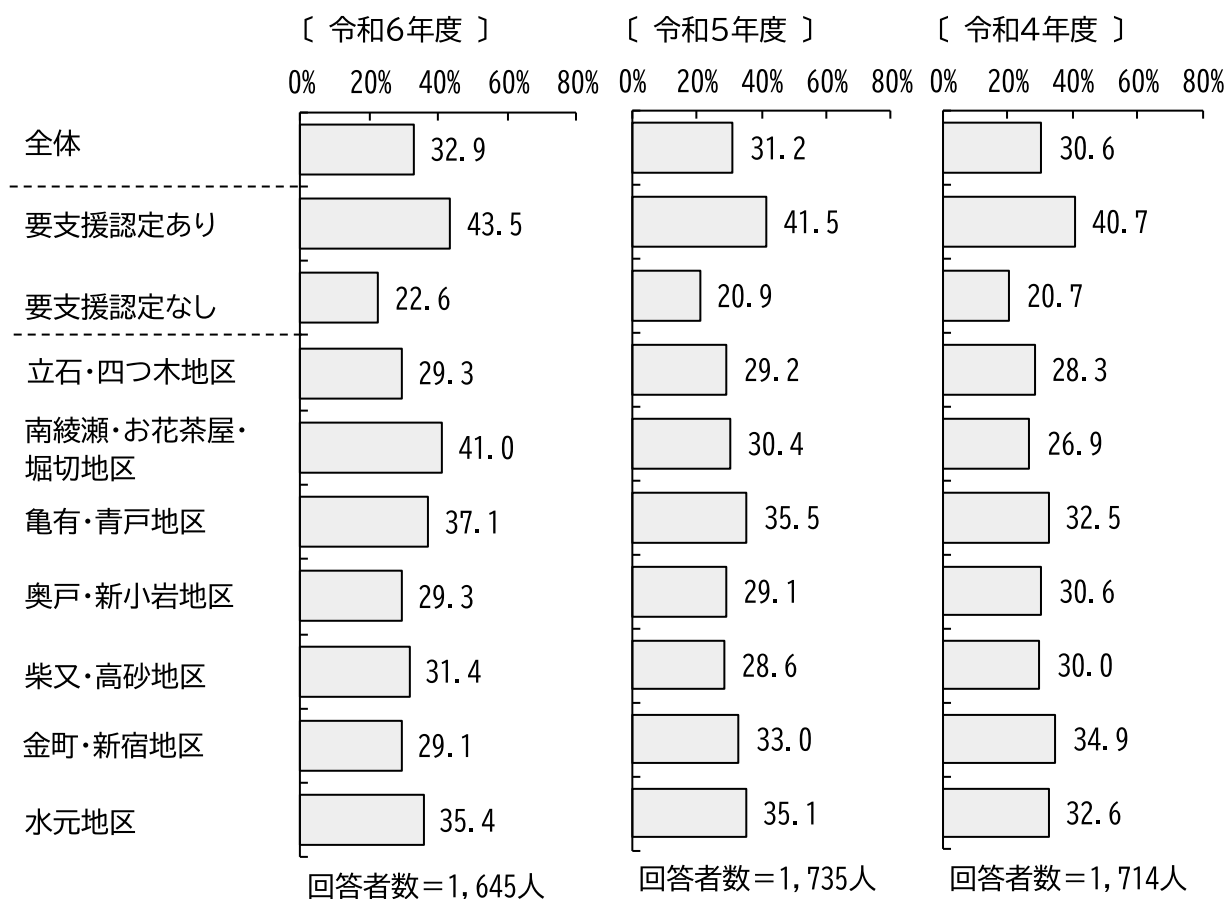


## ③過去3年間の認定状況別／日常生活圏域別比較

リスクありに該当する割合について、要支援認定ありでは 40.7%→41.5%→43.5%、要支援認定なしでは 20.7%→20.9%→22.6%で推移しています。

リスクあり該当者の割合が最も高い地区は、令和4年度は金町・新宿地区 34.9%、令和5年度は亀有・青戸地区 35.5%、令和6年度は南綾瀬・お花茶屋・堀切地区 41.0%となっています。

図表 1-180 口腔機能の低下リスク【過3年間の認定状況別／日常生活圏域別比較】



## (6) 認知機能について

以下の設問で認知機能の低下について判定します。該当する選択肢が回答された場合は、認知機能の低下がみられる高齢者になります。しかしながら、もの忘れが多いと感じるかどうかは自己の判断によるものなので、認知機能低下の程度は測れません。

<認知機能の低下がみられる高齢者：「はい」に該当する人>  
問4 (1) もの忘れが多いと感じますか

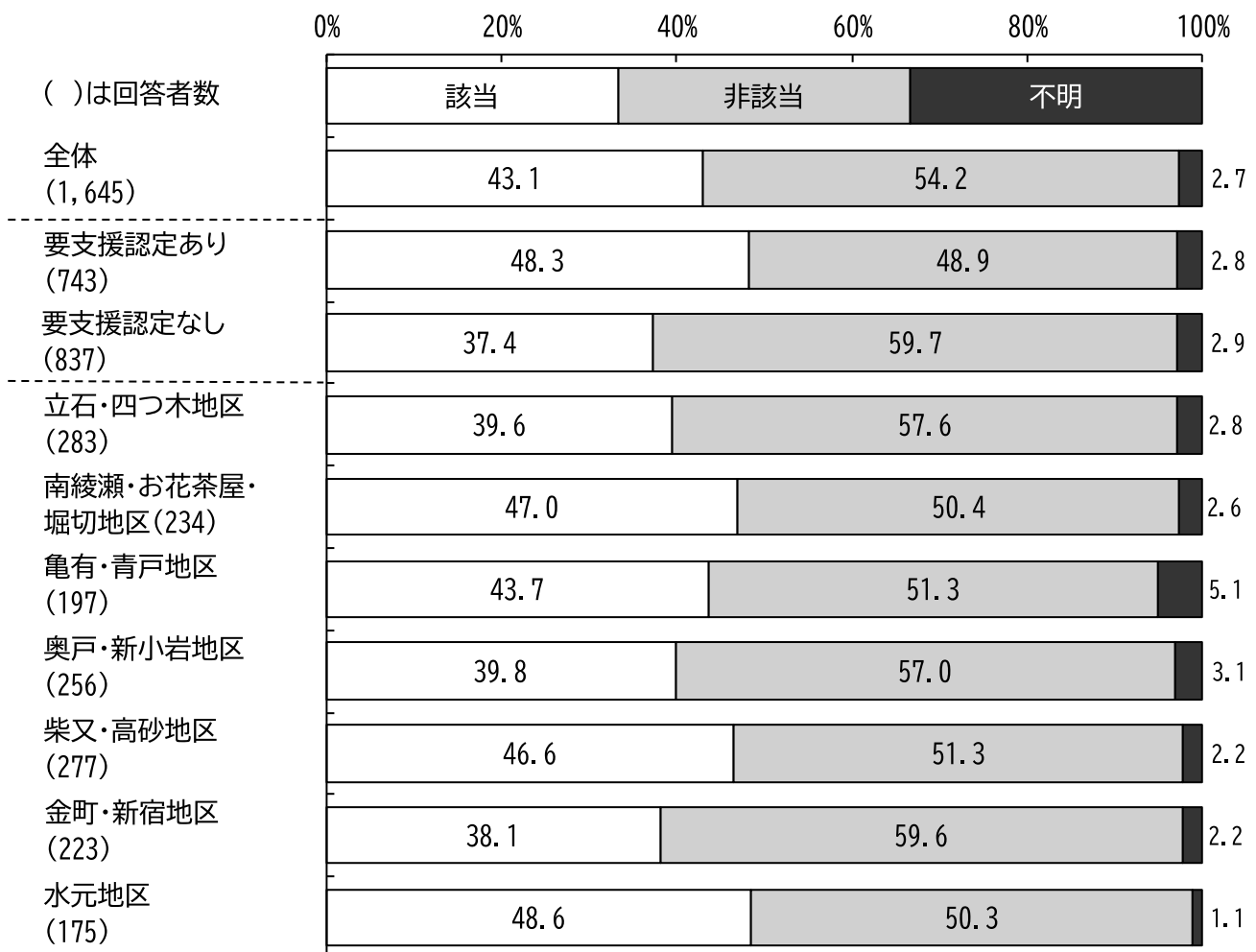
### ①認知機能の低下リスクの状況

認知機能については、リスクありに該当する割合が全体で43.1%となりました。

リスクありに該当する割合を要支援認定状況別にみると、要支援認定あり48.3%、要支援認定なし37.4%であり、要支援認定ありは要支援認定なしに比べて+10.9ポイントとなっています。

日常生活圏域別にみると、リスクありが最も高い地区は水元地区の48.6%となっています。

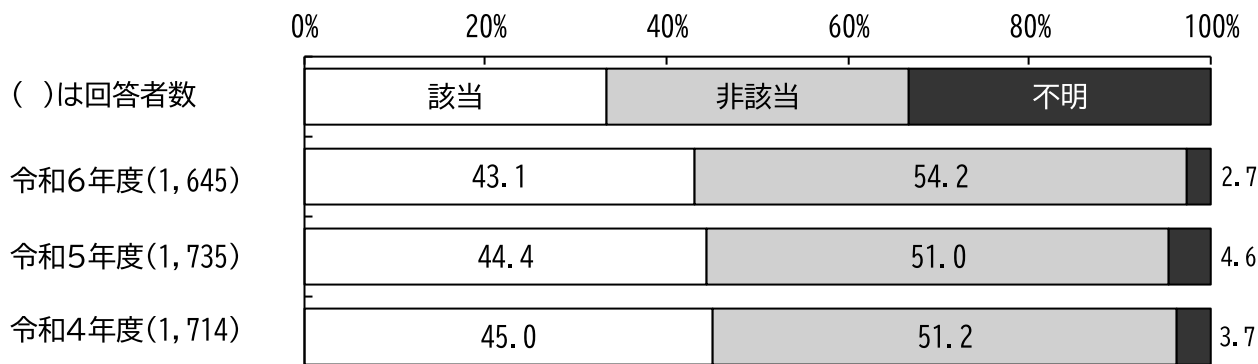
図表 1-181 認知機能の低下リスク【認定状況別/日常生活圏域別】



## ②過去3年間の全体比較

リスクありに該当する割合の3年間の推移をみると、全体では令和4年度 45.0%、令和5年度 44.4%、令和6年度 43.1%となっています。

図表 1-182 認知機能の低下リスク【過去3年間の全体比較】

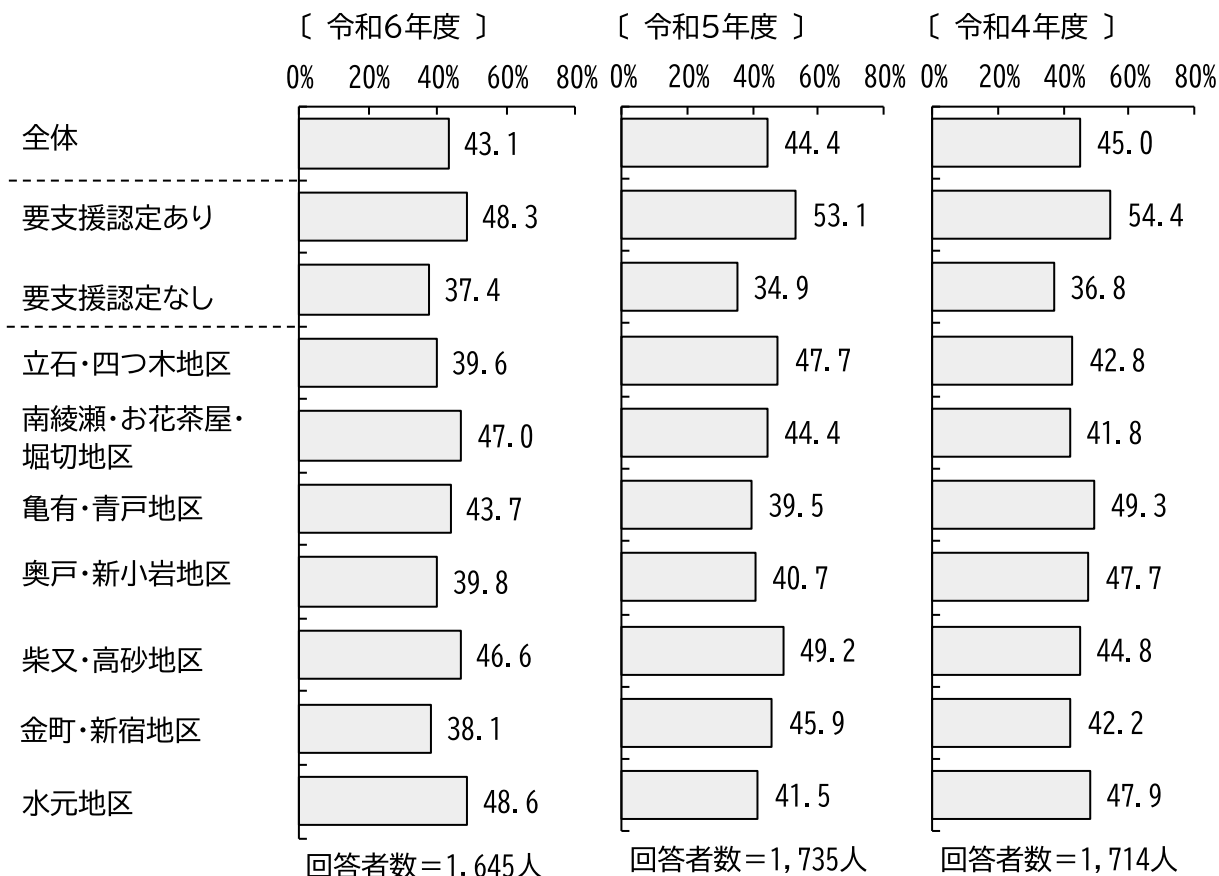


## ③過去3年間の認定状況別／日常生活圏域別比較

リスクあり該当者の割合について、要支援認定ありでは 54.4%→53.1%→48.3%、要支援認定なしでは 36.8%→34.9%→37.4%で推移しています。

リスクあり該当者の割合が最も高い地区は、令和4年度は亀有・青戸地区 49.3%、令和5年度は柴又・高砂地区 49.2%、令和6年度は水元地区 48.6%となっています。

図表 1-183 認知機能の低下リスク【過去3年間の認定状況別／日常生活圏域別比較】



## (7) うつ傾向について

以下の2つの設問でうつ傾向について判定します。いずれか1つでも該当する選択肢が回答された場合は、うつ傾向のみられる高齢者になります。

＜うつ傾向のみられる高齢者：下記2項目中、いずれか1つでも該当する人＞  
 問7（3）この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか  
 問7（4）この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

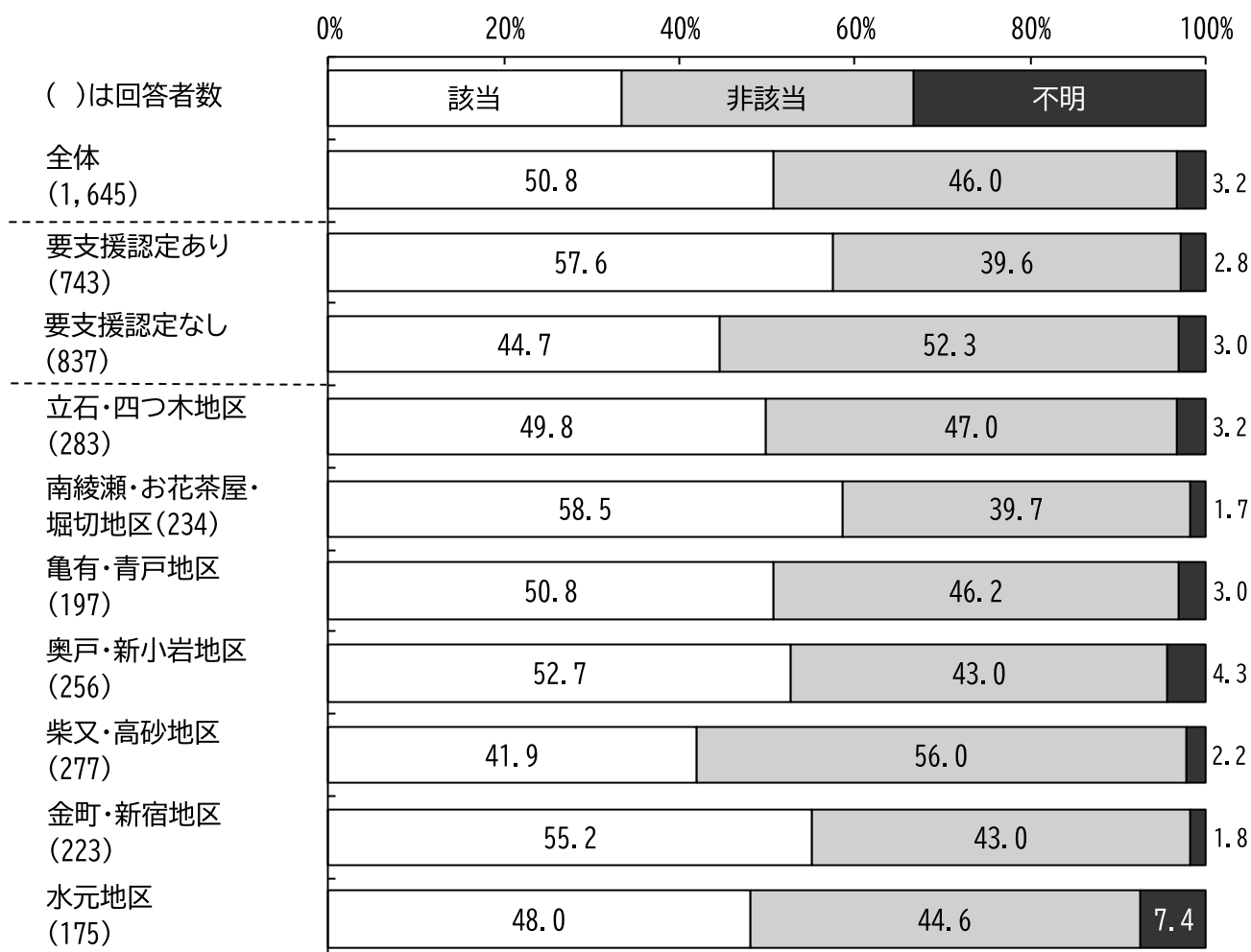
### ①うつ傾向リスクの状況

うつ傾向については、リスクありに該当する割合が全体で50.8%となりました。

リスクありに該当する割合を要支援認定状況別にみると、要支援認定あり57.6%、要支援認定なし44.7%であり、要支援認定ありは要支援認定なしに比べて+12.9ポイントとなっています。

日常生活圏域別にみると、リスクありが最も高い地区は南綾瀬・お花茶屋・堀切地区の58.5%となっています。

図表 1-184 うつ傾向リスク【認定状況別／日常生活圏域別】

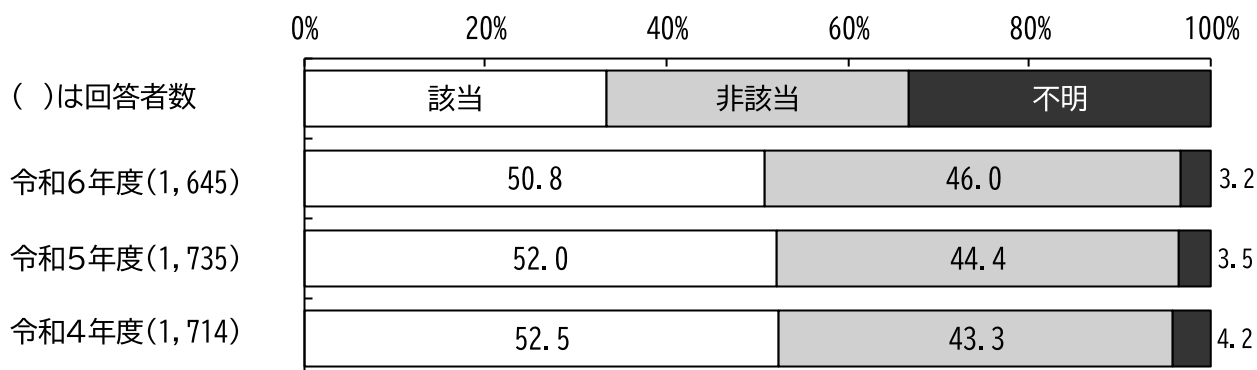




## ②過去3年間の全体比較

リスクありに該当する割合の3年間の推移をみると、全体では令和4年度 52.5%、令和5年度 52.0%、令和6年度 50.8%となっています。

図表 1-185 うつ傾向リスク【過去3年間の全体比較】



## ③過去3年間の認定状況別／日常生活圏域別比較

リスクあり該当者の割合について、要支援認定ありでは63.0%→59.8%→57.6%、要支援認定なしでは43.3%→43.9%→44.7%で推移しています。

リスクあり該当者の割合が最も高い地区は、令和4年度は奥戸・新小岩地区 54.7%、令和5年度は立石・四つ木地区 55.4%、令和6年度は南綾瀬・お花茶屋・堀切地区 58.5%となっています。

図表 1-186 うつ傾向リスク【過去3年間の認定状況別／日常生活圏域別比較】

